

民間ビジネススクールに 関する研究

高等教育研究叢書

82 2005年3月

小方直幸・福留東土・串本 剛



広島大学

高等教育研究開発センター

民間ビジネススクールに関する研究

小方 直幸・福留 東土・串本 剛

広島大学高等教育研究開発センター

はしがき

この研究の基礎となったのは、2004年の冬に行った、ある民間ビジネススクール終了者に対するアンケート調査である。名前は出せないが、調査の実施にあたって様々な形で協力していただいたスクールの方々に、お礼を申し上げたい。また調査に回答していただいた終了生の方々に、心から感謝する次第である。

またこの調査研究は、2001年から2002年にかけて、東京大学の本田由紀氏をリーダーとする社会人大学院修了者の調査研究プロジェクトに参画させていただいたことがきっかけになっている。本書の後半部分は、その社会人大学院修了者調査との比較分析である。貴重な研究の機会を与えていただき、またデータの使用をご快諾いただいた本田氏にこの場を借りて深謝したい。

本書に収録した分析は、福留東土（一橋大学）、串本剛（広島大学大学院）と私の、あわせて3人の研究者の共同研究の成果である。社会人大学院の実態に関する調査研究は1990年代半ば以降、蓄積が着実に進んでいる。しかし、正規の大学・大学院ではない民間の教育機関に関する実証研究は数少ない。そうした現状に鑑み、不備な点も少なくないが、あえて公表することにした。各方面の方々のご批判をいただければ幸である。

なお本書の編集にあたっては、執筆者の一人である、串本剛君の協力を得た。ここに記して労をねぎらいたい。

2005年3月
小方 直幸

目 次

| | | |
|--|-------|----|
| はしがき | 小方 直幸 | i |
| 序章 研究の背景 | 小方 直幸 | 1 |
| 第1節 問題の所在 | | |
| 第2節 調査の概要 | | |
| 第3節 報告書の構成と概要 | | |
| 第1章 調査結果の概略 | 串本 剛 | 7 |
| 第1節 受講者の特徴 | | |
| 第2節 学習与件・学習過程 | | |
| 第3節 学習成果など | | |
| 第4節 まとめ | | |
| 第2章 学習経験と教育成果 | 串本 剛 | 17 |
| 第1節 本論の位置付けと目的 | | |
| 第2節 学習経験の概要 | | |
| 第3節 成績 | | |
| 第4節 能力の習得 | | |
| 第5節 仕事・生活上の変化 | | |
| 第6節 満足度 | | |
| 第7節 結論と残された研究課題 | | |
| 第3章 民間ビジネススクールの効果－社会人大学院との比較 | 小方 直幸 | 27 |
| 第1節 分析の視点 | | |
| 第2節 学習者の属性と学習の動機 | | |
| 第3節 学習の効果とその要因 | | |
| 第4節 社会人ビジネス教育の行方 | | |
| 第4章 民間ビジネススクール終了者の志向性－自由記述回答に みる社会人大学院修了者との比較 | 福留 東土 | 41 |
| 第1節 分析の目的と方法 | | |
| 第2節 分類項目の設定 | | |
| 第3節 全般的回答傾向 | | |
| 第4節 項目ごとの回答の分析 | | |
| 第5節 まとめと課題 | | |
| 資料 | | |
| A 基礎集計表 | | 57 |
| B 自由記述 | | 75 |

序章 研究の背景

小方 直幸

この章では、民間ビジネススクールの研究を行う意義と（第1節）、民間ビジネススクールの終了者調査の概要を述べた後（第2節）、各章の内容を概観する（第3節）。

1. 問題の所在

図表 0-1 社会科学系修士課程の在学者数の推移

| | 修士課程全体 | | | 社会科学 | | | | |
|------|---------|----------|--------|--------|----------|-------|-------|-------|
| | 計 | (対前年伸び率) | 社会人 | 計 | (対前年伸び率) | 社会人 | | |
| | | | | | | 計 | 男子 | 女子 |
| 1990 | 61,884 | | | 6,366 | | | | |
| 91 | 68,739 | (11.1%) | | 7,310 | (14.8%) | | | |
| 92 | 76,954 | (12.0%) | | 8,341 | (14.1%) | | | |
| 93 | 86,891 | (12.9%) | | 9,468 | (13.5%) | | | |
| 94 | 99,449 | (14.5%) | | 11,321 | (19.6%) | | | |
| 95 | 109,649 | (10.3%) | | 13,161 | (16.3%) | | | |
| 96 | 115,902 | (5.7%) | | 14,277 | (8.5%) | | | |
| 97 | 119,406 | (3.0%) | | 15,380 | (7.7%) | | | |
| 98 | 123,255 | (3.2%) | | 17,090 | (11.1%) | | | |
| 99 | 132,118 | (7.2%) | | 19,313 | (13.0%) | | | |
| 2000 | 142,830 | (8.1%) | 15,077 | 21,457 | (11.1%) | 7,181 | 5,388 | 1,793 |
| 01 | 150,797 | (5.6%) | 18,122 | 23,383 | (9.0%) | 8,028 | 5,966 | 2,062 |
| 02 | 155,267 | (3.0%) | 19,579 | 23,457 | (0.3%) | 8,111 | 5,907 | 2,204 |
| 03 | 159,481 | (2.7%) | 19,795 | 22,738 | (-3.1%) | 7,784 | 5,619 | 2,165 |
| 04 | 162,712 | (2.0%) | 19,946 | 21,536 | (-5.3%) | 7,267 | 5,154 | 2,113 |

出所: 文部科学省『学校基本調査報告書』各年版。

図表 0-1 は、社会科学系修士課程の在学者の推移をみたものである。1990 年以降 2000 年初めまで、社会科学系修士課程は一貫して拡大をとげてきた。しかしここ数年、増加率が鈍化し、1 昨年からは減少傾向に転じている。社会科学系修士課程の在学者数の 3 人に 1 人を占める社会人も同様に減少に転じている。

もちろん減少の背景には、専門職大学院の登場もある。平成 16 年度の学校基本調査によれば、専門職学位課程在学者 7,866 人のうち、95%にあたる 7,512 人が社会科学系である¹⁾。そして社会科学系在学者の 54%にあたる 4,040 人が社会人である。このようにみれば、社会科学系の大学院で学ぶ社会人は、減少ではなく今後も増加する可能性がある。

こうした動向を背景に、いわゆる社会人大学院を対象とした調査研究が蓄積されつつある²⁾。それらが扱う内容は多岐にわたるが、例えば本田（2001）は、学習者自身の主観的評価の高さ（＝内部有意性）に比して、雇用者の教育成果に対する評価（＝外部有意性）は低く、学位の社会的評価が定着していないと指摘している。ただし学習者の方も、必ずしも職業実践的な教育を期待しているわけではない。金子（2004）の枠組みに従えば、社会人大学院に対する需要は「価値・理論志向」であって「対処志向」ではないのである。

ここに、2年間の完成教育で機能的にも職業志向的な大学院でありながら、提供される授業内容や学習動機は学術的であるという、学位の修得と職業とが直結しない日本の社会人大学院のネジレがみてとれる。その意味で、現在の社会人大学院は必ずしも安定した基盤の上に成り立っているわけではない。そうした状況を見越してか、金子のいう「対処志向」かつ「非拘束型学習」、つまり特定の職業に要求される知識のかたまりを1つのモジュールとして設定し、短い期間で成人学生が利用可能な範囲で獲得させる民間の教育機関が登場しつつある。

しかし、こうした民間の教育機関の実態についてはほとんど知られていない。原理的には大学院とは明らかに異なるわけだが、学習者や教育の特性、その教育効果にも明らかな相違が認められるのか、それとも類似する部分があるのか。こうした点を明らかにすることは、今後の社会人大学院を考える上でも、また民間の教育機関の方向性を考える上でも重要である。

2. 調査の概要

上述の問題への試論的アプローチとして、本報告では民間のビジネススクール（以下民間BS）と社会人大学院の比較研究を行う。用いるのは、ある民間BSの終了者を対象に行った質問紙調査である。この民間BSは、1科目を3ヶ月間の受講で終了することになっており、1科目からの受講が可能である。また、所定の科目を積み重ねて終了していけば、MBAプログラムにも繋がるルートを設けている。調査票の項目は、社会人大学院との比較が行えるように、社会人大学院修了者調査を実施した本田編（2003）に準じて作成した³⁾。

調査の概要を紹介しておこう。この民間BS終了者調査は、2004年2月に受講終了後1年以上経過した者（終了後3年目まで）にwebによる調査を実施したものである。有効回答数は704名で回収率は13.2%だった。回収率が非常に低い点が問題であり、例えば民間BSでの学習経験を肯定的に評価する者が中心に回答している可能性がある。また今回は1機関のみを対象としており、その意味からも結果を一般化することは慎重であらねばならない。なお、この民間BSは経営学系の教育を行っていることから、比較対象である社会人大学院の場合も、経営学・商学系に対象を限定している。質問項目と基礎集計は、巻末資料として掲載している。

3. 報告書の構成と概要

本報告書は3つのパートから構成されている。第1は民間BS調査の結果報告、第2は社会人大学院との比較分析、そして第3は基礎集計表と自由記述の資料である。

第1章と第2章は、民間ビジネススクール終了者調査の分析を行っている。

第1章は、主として巻末の基礎集計表に依拠して、民間BS調査の結果の概要を報告している。この基礎集計表を作成するにあたっては3つの変数に着目した。まずは受講前の職階である。職階により職務上おかれた状況が異なり、学習の動機や学習経験の受け止め方に相違があるかもしれないからである。次に受講科目数である。受講科目数は学習コストや学習経験の評価、学習動機など、様々な要因を背景に決まってくるが、例えば科目の累積が学習効果の変化とどう連動しているかを検証できるからである。そして最後は、受講形態（会社派遣か個人受講か）である。これも学習の動機や学習に対する評価の基準を左右すると考えられるからである。

Web調査への回答者から判断すると、この民間BSのコアを形成しているのは、管理的な仕事が要求され始める30～40代で、会社派遣による少数科目の受講者である。なお、工学系の出身者が多いという特徴を持つ。こうした学習者の特性は、社会人大学院との異同を考える上でも重要である。ただし、個人受講や多数科目の受講者など、相対的に少数派に属する者で、積極的に学ぶ姿勢がみられ、学習者の質と量が二層化している可能性がある。なお、回答率の低さによるバイアスの影響を排除できないが、学習経験に対する満足度は非常に高くなっている。

第2章は、民間BSでの学習の実態と学習の成果との関連を考察している。具体的には、予習や復習など授業に直接関わる学習経験と、勉強会やセミナー参加など授業の枠を超えた学習経験が、成績、獲得能力、仕事・生活上の変容、満足度とどのように関連しているかを検証している。

学習効果を分析する際に一般的に用いられる枠組みは、「インプット→プロセス→アウトプット」⁴⁾というモデルであるが、本章はプロセスとアウトプットの関連に限定して考察している。その際、学習経験と学習成果との関係を、それを構成する個々の項目同士の関係として捉えている点を特徴とする。具体的には、どういった学習経験が、どういった学習成果を促進するのか、といった視点に立っている。もちろん、学習経験を構成する項目同士、学習成果を構成する項目同士の関連もあって、そこまでは踏み込んでいないが、設問項目の見直しも含めて、こうした分析を積み重ねることで、教育目標に照らした具体的な教育実践のあり方を考えることが可能となる。

続く第3章と第4章は、民間ビジネススクールと社会人大学の比較を行っている。第3章は両者の比較が可能という立場からの考察であるのに対して、第4章は両者のおかれた文脈の相違を意識した分析となっている。

第3章は、民間ビジネススクール終了者調査と社会人大学院修了者調査の双方を用いて、同一質問項目部分について比較分析を行っている。第4章で詳しく触れるように、両者の教育・学習上の文脈はかなり異なる。その意味で試論にとどまるものの、身に付く能力に相違があるのか、機能面で競合するのか補完するのかという点に着目して考察している。

そもそも両者で受講者層は異なり、民間BSは、既にマネジメントポジションにある者を社費で短期的に学習する傾向にあるのに対して、社会人大学院は、マネジメントポジション予備軍が社費で派遣されたり個人で受講したりしている。身に付いた能力は学習密度の相違を反映して社会人大学院の方が高い。しかし、民間BSは教育の質を保証する取り組みを実践しており、両者の格差は教育形態の差ほど大きくないことが示唆される。この点で両者には競合の可能性がある。他方で民間BSでの学習経験を踏まえて大学院進学を志望する者が少なからずおり、その点で民間BSは社会人大学院を補完する機能も果たしている。これらの結果を踏まえて最後に、各々の長所を活かした役割分担の可能性が提唱される。

第4章は、民間ビジネススクール終了者調査と社会人大学院修了者調査の双方を用いて、自由記述部分の比較分析を行っている。従来、質問紙調査における自由記述部分は、資料としての掲載にとどまることが多かった。その意味で、自由記述内容を分析者の設定した枠組みに沿って丹念に再分類し、両者の教育・学習がおかれた文脈の相違を抽出しようとしたチャレンジングな考察である。質問紙調査等における自由記述部分の分析のあり方を考える上でも参考となる論考である。

社会人大学院の場合は、受講者は企業・職場における処遇により敏感で、複数の教員との接触機会がありカリキュラムの体系性よりも個々の教員の力量に依存しており、教員に対する不満が少なくないことが指摘される。民間BSの場合は、フルタイム就労者が多く学習経験を職場での実践と結び付けて考えやすいこと、受講科目数が少なく選抜もないため、またカリキュラムが標準化され授業スタイルに参加型のものが多いため、授業の質は教員よりもむしろ学生に依存していることが指摘される。これらを踏まえて、社会人大学院における教育内容・カリキュラムの改善の必要性と、両者の学習がおかれた文脈の相違を考慮した学習成果の捉え方の必要性が提示される。

4つの章の概要と意義は以上のようなものである。今回は、社会人大学院との比較を意識して取りまとめたため、民間ビジネススクール終了者調査そのものの分析としては、十分に取り扱えていない領域も多い。また、できるだけ1つの報告書としてのまとまりを意識して執筆したものの、各章はそれぞれの執筆者の関心を優先させて書かれており、読者には1つのまとまりのある報告書としては読みづらい側面があるかもしれない。それはひとえに、筆者の編集能力や力量不足からくるもので、読者の方の忌憚のないご批判を賜れば幸いである。

注

- 1) 専門職学位課程在学者の 77%が法学・政治学系、つまり法科大学院関係であり、今回分析対象とする経営・商学系分野にはほぼ相当する商学・経済学系は 19%と専門職学位課程の中では少数派である。
- 2) 社会人大学院の調査研究の動向については本田（2003）を参照。
- 3) 民間 BS に対する調査票を作成するにあたっては、社会人大学院調査との対応を可能な限り意識すると同時に、協力していただいた民間 BS の意向も組み入れる形で進めた。両者の質問項目を比較していただくとわかると思うが、本来ならば双方で設定されることが望ましい項目が一方でしか扱われていないといったことが生じており、不十分な側面もかなりある。これは、社会人大学院調査が先行して存在し、それとの比較を試みるという立場で民間 BS 調査を実施したためである。当初から双方の比較を当初から視野に入れた分析枠組み作りや共通の質問項目の設定などは、今後に残された課題である。
- 4) I-E-O モデル(Input-Environment-Outcome)と呼ばれることもある(Astin 1991)。

参考文献

Astin, A. W., 1991, *Assessment for Excellence*, ACE/Macmillan.

金子元久 2004「高等教育の地殻変動と大学の戦略的経営」『高等教育研究紀要』第 19 号、高等教育研究所、87-100 頁。

本田由紀 2001「社会人教育の現状と課題」日本高等教育学会編『高等教育研究』第 4 集、玉川大学出版部、93-112 頁。

本田由紀編 2003『社会人大学院修了者の職業キャリアと大学院教育のレリバンス（分析編）』東京大学社会科学研究所研究シリーズ No.7、東京大学社会科学研究所。

第1章 調査結果の概略

串本 剛

本章では、民間ビジネス・スクールの受講終了者に関する調査結果の概略を解説する。まず第1節では受講者の特徴として、性別や学歴などの基本的な情報を整理すると共に、受講前後での業種や職種、あるいは労働条件の変化等について言及する。続く第2節では、受講形態や学習動機といった学習の与件になる部分と、学習姿勢に代表される学習過程を分析する。そして第3節では、学習成果の自己評価と、受講の感想および満足度について考察する。なお各項の見出しには対応する質問番号を付記しているの、適宜参照されたい。調査結果の記述に当たっては、単純集計をした結果と共に、付表の表頭に示した3つの変数（受講前の職階、受講科目数、会社派遣か個人受講か）との間に顕著な傾向が見られる場合には、随時指摘している。

1. 受講者の特徴

性別、年齢および学歴（問29、30）

はじめに受講者の性別、及び年齢の内訳であるが、図表1-1に示しているように大多数が男性であり、また年齢層としては30～44才が全体の8割弱を占めている。最終学歴では大卒者が75%以上を占める一方で、大学院修士課程まで修了している者も16%ほどいる。さらに専攻分野の内訳を見てみると、経営学・商学、経済学がそれぞれ15%弱であるのに対し、工学を専攻していた者が全体の4分の1を超える割合で存在するのは注目に値する。

3変数との関係において統計的に有意な差（カイ2乗検定で危険率が1%水準。以下特に言及が無い場合はこれに準ずる）がみられる傾向としては、職階が上がるにつれ女性が占める割合が小さくなること、並びに役職なしで30～34才にあった最頻値が、職階が上がるにつれ上昇し、課長以上では40～44才になっていることが指摘できる。

図表1-1 受講者の性別と年齢

| | [人 (%)] | | | | | | |
|---|----------|-----------|-----------|-----------|----------|---------|------------|
| | ～29才 | 30～34才 | 35～39才 | 40～44才 | 45～49才 | 50才～ | 計 |
| 男 | 33(5.5) | 127(21.3) | 170(28.5) | 162(27.1) | 72(12.1) | 33(5.5) | 597(100.0) |
| 女 | 18(16.8) | 39(36.4) | 35(32.7) | 9(8.4) | 6(5.6) | 0(0.0) | 107(100.0) |
| 計 | 51(7.2) | 166(23.6) | 205(29.1) | 171(24.3) | 78(11.1) | 33(4.7) | 704(100.0) |

就職および転職経験など（問1～5）

全ての受講者は就職経験を持ち、調査が実施された時点でもほぼ全員（98.4%）が仕事に就いていた。転職に関しては、受講開始前・受講中・受講終了後の3時点について聞いているが、いずれにおいても経験者はそれほど多くない（それぞれ15.5%、3.0%、10.7%）。また離職、開業等のその他の変化についても、経験者は少数派であり、受講前では10%強、受講後でも20%弱（ただし、多くは配置換えなどの比較的小さな変化）にとどまる。

有意な傾向としては、いずれも実数は少ないものの、受講科目数が多いほど、また会社派遣の場合よりも個人受講の場合において、受講中および受講後の転職経験者の割合が大きいことがあげられる。

職業や労働条件（問6）

本調査では、職業及び労働条件の情報として、①業種、②規模、③職種、④役職等、⑤外資系か否か、⑥収入の諸点について聞いている。本項ではこれらを順次みていきたい。

・業種

受講開始前における受講者の業種として、一番多かったのは製造業（37.2%）であり、それに情報サービス業（16.7%）が続き、少し離れて運輸・通信業、卸売・小売・飲食店、金融保険業（それぞれ10%弱）となる。最も少ないのは法律・会計サービス業で全体の1%にも満たない。質問紙回答時点での業種についても聞いているが、前項で転職者が少なかったことから分かるように、順位の変動はほとんどない。

受講前後に共通する傾向として特徴的なのは、会社派遣か個人受講かとの関係であり、製造業、運輸・通信業では会社派遣の割合が大きいのに対し、卸売・小売・飲食店、情報サービス業では個人受講の割合が有意に大きい。

・規模

受講者の勤務先の規模は、受講開始前で1,000人以上の場合が7割以上を占めており、比較的大きな企業に勤めていた者が多いことが分かる。受講後でも大勢には変わりはないが、若干小規模の方へと流れているところに、少数ではあるものの開業者の動向が反映されていると考えられる。

傾向としては職階と派遣か否かとの関係に有意な特徴が見られ、100～299人規模の企業では役職のない者が、また5,000人以上の大企業では主任・係長クラスの者が多く受講している。そして小規模の企業では個人受講の割合が大きい、規模が大きくなるにつれ、会社派遣の者の割合が増えていることが分かる。コスト負担の可能性から考えれば、当然の結果であるといえる。

・職種

受講前の職種で多いものは上から順に、営業・購買・販売職（27.4%）、研究・技術職（22.4%）、企画・総務・広報関係事務職（17.7%）で、質問紙回答時では研究・技術職が4番目になり、

第3位として管理職が浮上している。本調査の対象者には3年以上前に修了している者も含まれているため、この変化はある意味必然的なものといえる。この項目では、特筆に価する回答傾向はない。

・役職等および外資系か否か

受講前では無期限の役職無し正社員（25.4%）につぎ、課長相当職（24.5%）が多い。回答時ではこの順位が逆になり（それぞれ18.4%、27.8%）、また部長相当職（7.4%→14.5%）も増えている。受講者のうち外資系の企業に勤めていた者は、一貫して17%前後である。

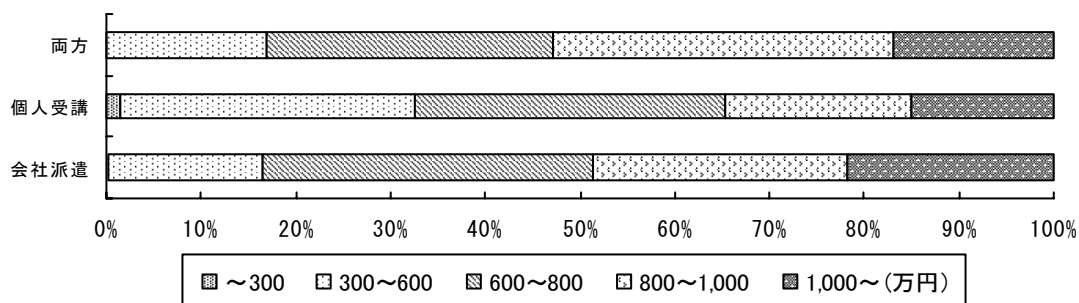
有意差のある傾向は、派遣か個人かとの関係で見られ、外資系企業では個人受講の方が多く、非外資系では会社派遣の方が多く。さらに職階との関係では、職階が高くなるにつれ会社派遣の者の割合が高くなっている。

・年収

年収に関しては、500万円から1,000万円の範囲では100万円毎に、その前後では200ないし300万円毎に、細かく11個の範疇を設定した。受講前の最頻値は、600万円以上700万円未満および700万円以上800万円未満で、ともに16.8%であった。回答時点での最頻値は1,000万円以上1,200万円以下で15.8%を占める。

また受講前の年収と、会社派遣か個人受講かとの関係を調べると、図表1-2に見られるように、低所得層の方に個人受講者が多いことが分かる（危険率は5%水準）。

図表 1-2 受講前の年収の分布



満足度と今後の働き方（問7、8）

現状に対する満足度については5段階で尋ねており、満足としている者（「非常に満足」+「ある程度満足」）が6割弱、不満としている者（「非常に不満」+「やや不満」）が2割強であった。今後の働き方では、昇進願望と専門性の向上のいずれかの理由によって、現在の職場にとどまりたいとする者が59.2%、その他を含めて転職、起業を希望する者が40.8%となった。

これらの項目で特徴的な点として、4科目以上を履修した場合や個人受講の場合に、「非常に満足」としている者が顕著に多いことがあげられる。また会社派遣では現在の職場に留まりた

いとする者が多いのに対し、個人受講では転職や企業を目指す者が多い。一見当たり前の様ではあるが、職場を変えるか否かの意思が、必ずしも受講以前に決まっていたとは限らない点を考慮すると、より踏み込んだ考察が期待される結果ではある。

2. 学習与件・学習過程

受講期間（問9）

図表 1-3 は、調査対象者の受講開始年と終了年の関係を示したものであり、セルの色が濃くなるにつれ、受講期間が長いことを示している。受講者の半数以上は単発の受講（開始年と終了年が一致）であるが、5年以上にわたり受講している者もわずかに存在する。

開始年の特徴として指摘できるのは、当初は実数として個人受講者の方が多かったのが、2001年を境に会社派遣の方が多くなり、2002年では後者の方が倍近い数になっているということである。

図表 1-3 受講開始年と終了年

(人)

| | | 開始年 | | | | | | 計 |
|-----|------|---------|------|------|------|------|------|-----|
| | | 1997 以前 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | |
| 終了年 | 2000 | 8 | 11 | 22 | 57 | | | 98 |
| | 2001 | 7 | 10 | 21 | 58 | 142 | | 238 |
| | 2002 | 8 | 6 | 14 | 40 | 75 | 223 | 366 |
| 計 | | 23 | 27 | 57 | 175 | 217 | 223 | 702 |

受講者の学習条件（問10、11、18～20）

受講者の学習条件として、ここでは5つの項目に言及する。まずは、受講形態（通学か通信かの別）であるが、92.3%が通学で、併用している者も3.0%いた。受講科目数は、半数弱が1科目のみで、70%以上が3科目までの履修である。次に就学タイプ（受講中の仕事状況）では、残業を通常通りしながらフルタイムで働いていた者がほとんどで、パートタイムでの就業や、仕事をしていなかった者は1.0%ほどであった。また会社派遣か個人受講かに関しては、約半数が会社派遣で、個人受講の者が4割、残りの1割は両方という選択肢を選んでいる。最後に費用負担であるが、39.5%が受講者本人、56.2%が職場負担、残りの少数が奨学金や家族、その他としている。

これらの項目間で注目に値するのは、受講科目数と派遣か否か、及び費用負担の関係である。1単位のみを受講者の内、ほとんどが会社派遣で費用を職場が負担しているのに対し、4科目以上受講した者では、その多くが個人受講であり、費用も個人で賄っている。

民間機関での学習動機（問 14～17）

本調査では学習動機として、民間の教育機関を選んだ理由と、調査対象となった当該機関を選んだ理由の2点についてそれぞれ、当てはまるものを全て選ぶ多答式と、もっとも重要な理由を選ぶ択一式で尋ねている。図表 1-4 は、多答式で回答者の割合が多かった順に質問項目を並べた上で、その項目を選んだ者の全体に占める割合と、当該の質問項目を最も重要な理由とした者の割合を示したものである。

最も重要な理由に関する回答傾向で特徴的だった点としては、民間の機関を選んだ理由において、職階で課長以上、あるいは受講科目数で1科目の場合には、「職場が自分を指名して派遣した」に最頻値があるのに対し、役職無しまたは主任・係長相当、受講科目2～3ないし、4科目以上では、「将来マネジメントのポジションで仕事がしたい」を選んだ者が多かったことが指摘できる。また当該教育機関を選んだ理由でも同様に、課長以上、1科目では「職場に学習先を指定された」の割合が一番大きく、係長相当職以下、2科目以上では「講義内容が魅力的だった」が最も選ばれた。

図表 1-4 学習動機

| | | (%) | | | |
|----------------|------|------|---------------|------|------|
| 民間の機関を選んだ理由 | 選択者 | 最重要 | 当該の教育機関を選んだ理由 | 選択者 | 最重要 |
| チャレンジ精神 | 44.5 | 12.1 | 講義内容が魅力的 | 45.5 | 24.6 |
| 仕事経験の理論的整理 | 43.2 | 14.9 | 職場による指定 | 37.6 | 24.3 |
| マネジメント職志望 | 38.4 | 16.1 | 好都合な授業時間帯 | 36.4 | 5.8 |
| 職場による派遣 | 33.9 | 16.6 | 1科目から受講可能だった | 31.4 | 6.0 |
| 仕事上の必要 | 31.3 | 13.7 | 場所が利便性 | 24.5 | 2.3 |
| 自己改革 | 30.4 | 7.3 | 知人等の勧め | 22.2 | 10.8 |
| 人脈作り | 19.2 | 1.3 | 講義種類の多様さ | 16.1 | 3.3 |
| 転職や独立開業のため | 16.8 | 5.5 | 講師陣が魅力的 | 15.4 | 3.1 |
| 部門移動や配置転換のため | 10.5 | 2.0 | 本やホームページで知った | 15.2 | 2.1 |
| 知人等の勧めや誘い | 9.7 | 1.3 | パートタイムで学習できる | 13.2 | 3.7 |
| 仕事がつまらなかった | 7.7 | 1.0 | 掲げるビジョンに共鳴 | 10.7 | 3.1 |
| その他 | 7.7 | 5.4 | 講義レベルの多様さ | 9.8 | 1.4 |
| 大学院での学習の足がかり | 7.1 | 0.4 | その他 | 8.7 | 6.1 |
| 大学院の修了資格(MBA等) | | | MBAが取得できる | 6.3 | 3.0 |
| までは必要ないから | 6.7 | 2.4 | 学費の安さ | 2.8 | 0.3 |

学習姿勢（問 27）

受講期間中の学習姿勢に関しては 8 項目について質問しており、実践者が多かったもの（「ある程度当てはまる」＋「よく当てはまる割合」）は、上から順に「予習をしっかりとした」（85.6%）、「授業中発言や質問を積極的にした」（72%）、「テキスト以外の関連書物も学習した」（71.1%）、「学習したことを職場ですぐに実践した」（69.5%）、「復習をしっかりとした」（47.5%）、「メーリングリストを積極的に活用した」（41.7%）、「勉強会を積極的に活用した」（34.9%）、「当該機関の提供する各種セミナーに参加した」（17.1%）という結果であった。

受講科目が多いほどメーリングリストの活用や勉強会、セミナーへの参加率が高く、また役職に就いている者の方がより多く学習したことを職場で実践している、という 2 点が有意な回答傾向として見られた。

3. 学習成果など

成績（問 12）

成績は、学習成果を測る上で最も客観的な指標のひとつである。ここでは受講者本人に平均成績の印象を 4 段階で尋ねており、その結果は、「非常に悪い」5.3%、「あまり良くない」31.1%、「ある程度良い」55.8%、「非常に良い」7.8%となった。

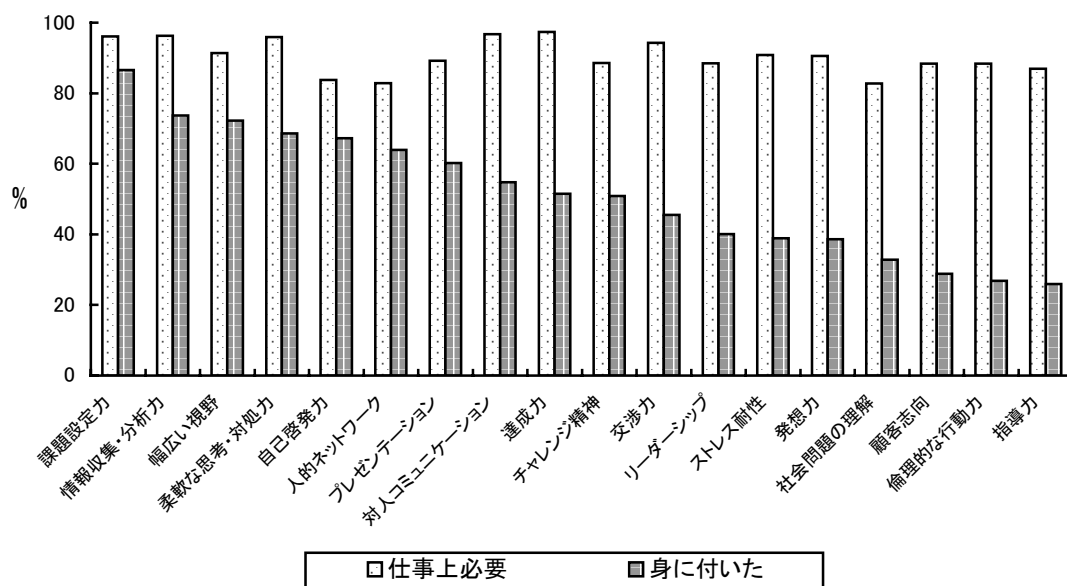
成績についての印象と、職階、受講科目数、派遣か個人かの間には、顕著な傾向は見られなかった。

能力の習得（問 23）

学習成果を測る上で、学習者の主観的な判断を求めるという方法は、必ずしも相応しいものとはいえない。しかし、客観的評価が難しい場合の次善の策としては、最も有効な手段のひとつである。本調査では、仕事をしていく上で必要と思われる能力が教育を通じて身に付いたか否かを、受講生が 5 段階で評価しており、図表 1-5 はその結果を肯定的回答（「ある程度身に付く」＋「身に付く」）が多かった順に並べたものである。またこれと併せて、同様の能力が仕事上必要であるかについても聞いている。全ての能力に関し、8 割以上の者が比較的必要（「ある程度必要」＋「必要」）であると答えているのに対し、実際に身に付く程度には格差があることがわかる。

能力の習得と 3 変数の間で見られる有意な傾向は多くないが、指導・助言・育成する力（「指導力」）、リーダーシップ、プレゼンテーション、幅広い視野を持つこと（「幅広い視野」）、および顧客志向では、職階が高くなるにつれ必要性を訴える者の割合が高くなっている。

図表 1-5 必要な能力とその習得



仕事上、生活上の変化（問 23、24）

前項では仕事に関連する能力の習得について論じたが、ここではもう少し広い範囲を考察の対象とする。ひとつは仕事上の客観的な変化で、転職や昇進について。もうひとつは、仕事に限らず生活一般における行動・認識の変化である。質問の形式としては、まず経験の有無を聞き、経験したと答えた項目については、当該教育機関での学習がどの程度その変化に貢献したか（「あまり貢献せず」－「少し貢献」－「密接に貢献」－「わからない」）を自己評価するよう求めた。図表 1-6 は、2 種類の変化それぞれについて経験者の割合が多い項目順に並べ、その中で貢献の度合いを高く評価している者が占める割合を示している。

仕事上の変化は経験者の割合自体が少なく、貢献の度合いに関してもあまり高く評価されていない。これに対し生活上の変化は、比較的多くの者が経験しており、教育機関での学習が密接に貢献したと評価している者の割合も大きい。ただし、この違いが事実を正確に反映しているかどうかは、判断が難しい問題である。実際その証拠に、貢献度を「わからない」としている者が、仕事上の変化ではどの項目でも 10 数%に上る（就職に限っては 50%）のに対し、生活上の変化では、「周囲の人々の自分に対する対し方」（＝他者の行動、7.7%）を除き、ごくわずかしかない。

顕著な傾向としては、受講科目が 4 科目以上の場合に、仕事上の変化では昇進や収入増加、また生活上の変化では仕事行動、物事の考え方、自己認識への貢献度が高く評価されている。

図表 1-6 仕事・生活上の変化

(%)

| | 仕事上の変化 | | | 人格的な変化 | |
|------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | 経験者 | 密接に貢献 | | 経験者 | 密接に貢献 |
| 収入増 | 46.6 | 7.3 | 物事の考え方 | 80.1 | 45.5 |
| 昇進 | 37.8 | 10.9 | 仕事行動 | 71.2 | 44.6 |
| 部門移動 | 37.5 | 15.2 | 自己認識 | 51.0 | 41.1 |
| 転職 | 11.5 | 28.4 | 生活行動 | 31.8 | 35.9 |
| 独立開業 | 2.7 | 26.3 | 他者の態度 | 27.6 | 25.8 |
| 就職 | 2.4 | 12.5 | | | |

受講の感想（問 21）

調査対象者には利用した教育機関に対する感想を、13 項目にわたって聞いており、各質問項目の内容を感じた度合いを 4 段階で評価することを求めている。その内、同意した者が多かった項目（やや感じた＋強く感じたの割合が大きい）を 3 つ挙げると、上から順に「教育内容に比べて学費が高すぎる」（37.4%）、「教育内容が高度すぎてついて行くのが難しい」（36.7%）

「もっと個人的な指導をしてほしい」（33.2%）となり、反対に同意した者が少なかった項目（同じく小さい）は、「教育内容の水準が低すぎてもの足りない」（8.3%）、「開講科目の種類が少なすぎる」（8.4%）、「もっと教育内容を理論的、アカデミックにしてほしい」（9.1%）となった。

受講科目数と開講科目に対する感想には有意な関係が見られ、開講科目が少ないとの指摘が、受講科目数が多い層から出されている一方で、補習科目に対する要望は、受講科目数が少ない層から出されている。

満足度（問 25、26）

満足度については、ふたつの問いを立てている。ひとつは、教育の各側面に対する満足度を 5 段階で評価させるものであり、もうひとつの問いでは、当該教育機関を他の人に勧めるか否かを聞いている。教育の側面別の満足度では、講師や開講科目に対する満足度が高い（82.3% と 79.8%。共に「満足」＋「非常に満足」の値）のに対し、「各種セミナーの開催」では、満足としている者は 3 割程度であった（ただし、「どちらともいえない」が 6 割いる）。他の人に勧めるかという問いには、9 割以上の者が肯定しており、当該の教育機関が総じて好評であったことが窺える。

回答傾向としては、必ずしも全ての項目で有意差が見られるわけではないが、各側面に対する評価を職階別に見た場合に、主任・係長職層の評価が高くなっていることが多い点を指摘できる。

4. まとめ

以上調査の結果を概観してきたが、最後に各節の主要な結論をまとめると共に、本文では扱わなかった質問項目について若干ふれておきたい。

第1節では、調査対象者の基本情報を確認した。回答者の大部分は30代～40代前半の男性で大卒、専門分野は工学を専攻していた者が多かった。また職業や労働条件に関して最頻値により典型像を記述するとすれば、従業員1,000以上の規模の製造業で営業職に就き、年収が600～800万円程度の、役職のない正社員ということになる。仕事に対しては満足している者の方が多く、将来的に同じ職場で働きたいと思っている者の割合が、そうでない者の割合を上回る結果となった。

次に第2節では、学習の期間・動機・姿勢などについての質問から、学習の与件、過程について調べた。受講生の多くは、普段と変わらない量の仕事をしながら、単発的な科目履修のために通学していた。費用は個人的に捻出している場合よりも、職場が負担していることが多く、そのためか民間機関で学習した最も重要な動機として、職場による派遣が挙げられていた。ただし、職階が低い者や、多くの科目を履修している者は、より積極的な動機を選んでいる。学習姿勢としては、予習を行った者の割合が最も大きく、85.6%に上った。

第3節においては、学習者の主観的な判断から学習の成果を推定し、それと同時に教育を受けての感想、満足度を明らかにした。選択肢が設けられた職務上の能力は、全てについて必要性が認識されていたが、実際に身に付いた程度には格差が見られた。また仕事上の変化に比べ、生活一般にかかわる変化の方が経験者が多く、当該教育機関の貢献度もより良く評価されていた。受講者の感想からは、教育内容が高度過ぎたという意見も見られたが、満足度は教育の多くの側面が高く、他の人に推薦したいとする者は90%を超えた。

本章では、民間の教育機関で学んだ社会人学生に対する調査結果の概要を論じてきたが、最後に彼／彼女らが、これまで社会人学生の学習の場として主流であった大学院についてどう考えているかについて少し見ておきたい。本調査では問13において大学院の受験経験を尋ね、また問28では今後の学習機会のひとつとして、「大学院」という選択肢を設けている。しかし、どちらも該当者は多くはなく、受験経験者は1割程度、大学院での学習希望者は全体の4分の1という結果になった。つまり、民間の教育機関と大学院とでは、学習者層が多少異なることが予想されるのである。大学院で学ぶ社会人学生に対する調査に比べ、民間教育機関におけるそれはまだ緒に就いたばかりであるが、今後並行して研究が進められ、両者が相互に比較される際には、この点に注意が必要となるであろう事を指摘し、章の結びとしたい。

第2章 学習経験と教育成果

串本 剛

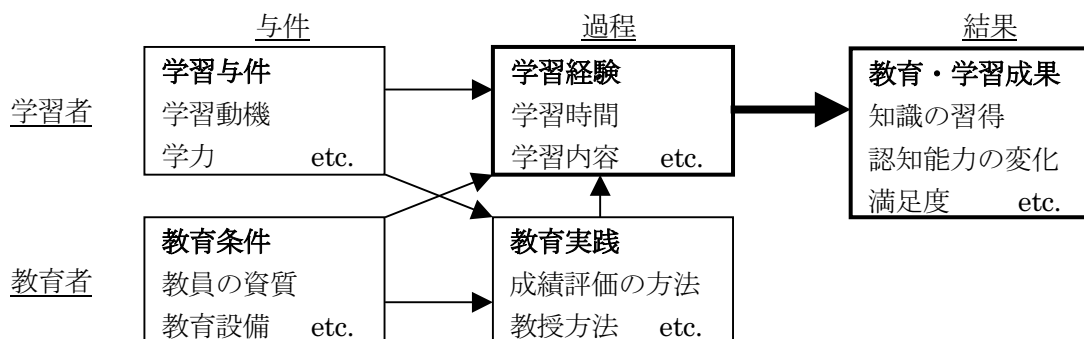
学習経験と教育・学習成果の間には如何なる関係が見出されるか。これを明らかにすることが本章の目的である。以下では、はじめに本論の位置付けを明らかにした上で、学習経験の概要を記述し、分析の枠組みを提示する。次にその枠組みを用いて、成績（第3節）、能力の習得（第4節）、仕事・生活上の変化（第5節）、満足度（第6節）の各教育・学習成果が、学習経験の有無によりどのように異なるかを分析する。そして最後に、全体を通しての結論を述べると共に、今後の研究課題について言及する。

1. 本論の位置付けと目的

社会人学生という従来とは質的に異なった学習者が増えていく中で、その教育を対象とした研究が近年徐々に増えてきている。しかしこれまでの研究には、ふたつの偏った特徴が見られる。第1点は、教育機関として、大学あるいは大学院といった学位授与を前提とした教育機関のみが取り上げられていることである。本研究が民間のビジネス・スクールを研究対象とした理由の一端は、この点にある。第2点は、社会人学生を対象としたものに限らず、高等教育研究全般についても指摘できることであるが、教育・学習の成果を最も直接的に規定すると考えられる、学習経験への関心の希薄さである。社会人学生の研究においては当初、例えば労働問題リサーチセンター編（1996）や本田（2001）に見られる様に、学生の実像や意識を明らかにすることを目的とする場合が多かった。それが最近になって、本田編（2003）に収録されている諸論文で、学習成果や満足度がどのような条件と関連しているかが論じられ、あるいは小池・佐々木（2004）で学生と教員の意識格差の問題が取り上げられるなど、研究の種類が多様化してきてはいる。だが依然として、学生の学習経験に関しては、多くは語られていない¹⁾。

そこで本章では、学習経験と教育・学習成果の間に如何なる関係がみられるのかを明らかにすることを目的として、前章で示した調査結果の一部をより詳しく検討する。ちなみに次頁の図表 2-1 は、教育という機会において、学習者と教育者の双方に起因する要素間の関連を、概念的に示したものである。本章が注目するのは、太枠で描かれている部分ということになる。

図表 2-1 教育・学習の与件、過程および結果



2. 学習経験の概要

本調査では受講生の学習経験について、「学習姿勢」という問いを立て、8つの項目を設定した。図表 2-2 はその概要を示している。回答傾向の特徴としては、各項目の平均値（「まったくあてはまらない」を 1、「よくあてはまる」を 4 として算出）を見ても分かるように、「予習」（予習をしっかりと）、「質問」（授業中発言や質問を積極的にした）、「関連図書」（テキスト以外の関連書も学習した）、「職場実践」（学習したことを職場ですぐに実践した）の 4 項目については、多くの者が経験している反面、残りの「復習」（復習をしっかりと）、「メール」（メ

図表 2-2 学習経験

| | [人 (%)] | | | | | | | |
|---------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 予習 | 質問 | 復習 | メール | 勉強会 | セミナー | 関連図書 | 職場実践 |
| よく | 232 | 196 | 57 | 88 | 88 | 19 | 144 | 122 |
| あてはまる | (33.0) | (27.9) | (8.1) | (12.5) | (12.5) | (2.7) | (20.5) | (17.4) |
| ある程度 | 370 | 310 | 227 | 205 | 148 | 101 | 356 | 366 |
| あてはまる | (52.6) | (44.1) | (39.4) | (29.2) | (21.1) | (14.4) | (50.6) | (52.1) |
| 肯定的回答 計 | (85.6) | (72.0) | (47.5) | (41.7) | (34.7) | (17.1) | (71.1) | (69.5) |
| あまり | 86 | 156 | 310 | 262 | 207 | 212 | 146 | 182 |
| あてはまらない | (12.2) | (22.2) | (44.1) | (37.3) | (29.4) | (30.2) | (20.8) | (25.9) |
| まったく | 15 | 41 | 59 | 148 | 251 | 371 | 57 | 33 |
| あてはまらない | (2.1) | (5.8) | (8.4) | (21.1) | (35.7) | (52.8) | (8.1) | (4.7) |
| 否定的回答 計 | (14.4) | (28.0) | (52.5) | (58.3) | (65.1) | (82.9) | (28.9) | (30.6) |
| 平均 | 3.17 | 2.94 | 2.47 | 2.33 | 2.13 | 1.67 | 2.83 | 2.82 |
| 標準偏差 | .71 | .86 | .76 | .95 | 1.05 | .82 | .84 | .77 |

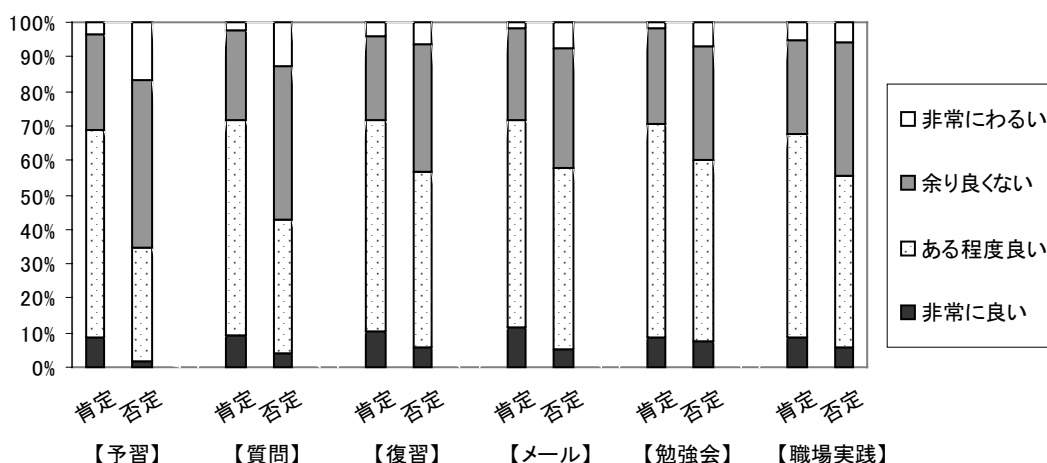
ーリングリストを積極的に活用した)、「勉強会」(勉強会を積極的に活用した)、「セミナー」(当該教育機関が提供する各種セミナーに参加した)に取り組んだ者の割合は小さい。特に「予習」の平均値が3を超えるのに対し、「セミナー」では2以下であることから、項目間での格差が見て取れる。

質問紙では各項目に対し4段階評価を求めているが、以下では、「ある程度あてはまる」及び「よくあてはまる」に対する回答を肯定的回答、「まったくあてはまらない」及び「あまりあてはまらない」に対する回答を否定的回答として2つに分類し、教育・学習成果に関わる項目である、成績、能力の習得、仕事・生活上の変化、満足度との関係を順に考察していく。なお分析に先立ち、学習経験間の関係として、ほとんどの項目で当該項目に肯定的に答えているの方が他の項目でも肯定的に答えるという傾向が見られる中、「関連図書」に関しては、有意な関係が認められるものが復習、セミナー、職場実践に限られていたことを付言しておく²⁾。

3. 成績

教育・学習成果についての最も基本的な情報である成績には、セミナーと関連図書以外の学習経験との間に有意な関係(5%水準)が見られた。図表2-3は有意差が見られた6つの項目に関してそれぞれ、肯定的回答と否定的回答の別によって、成績の自己評価の分布がどのように異なるかを表している。

図表 2-3 学習経験の有無による成績分布の違い



項目ごとに「肯定」の場合と「否定」の場合の差異を見てみると、概して学習経験を肯定している者の方が、成績が良かったとしている割合が大きい。特に「予習」と「質問」に関しては、他の項目に比べ違いが顕著で、共に30%前後の開きがある。これらのことから、成績との間に有意差が見られた学習経験においては、学習経験がある場合の方が成績が良い傾向にあり、予習をしたり授業中に質問をしたりする者では、それがより顕著であるということが言える。

4. 能力の習得

能力の習得には、学習経験の有無と関連があるのか、またあるとすれば、どのような学習経験が特に有効なのか。本節の関心はこれらの点にある。質問紙では、18種類の能力について、当該教育機関での学習を通して身に付いた程度を、5段階で評価するよう求めた。図表2-4は、各能力が身に付くと判断（「ある程度身に付く」＋「身に付く」）した者の割合の、学習経験の有無による違いを示している。例えば、予習の実施について肯定的回答した者の内、88.4%は課題設定能力が身に付くと答えたのに対し、否定的回答では76.2%にとどまり、その差は12.2%になるということである。なお、5%水準で有意であった関係についてのみ値が入れられており、また15%以上の大きな差異があったところはセルに薄く網かけがしてある。

能力の違いから出発し行方向に検討してみると、それぞれの能力に関して、習得に影響すると考えられる学習経験の多寡が読み取れる。対人コミュニケーション能力（「コミュ」）やストレス耐性では、半分を超える学習経験に有意な関連があるのに対し、倫理的な行動をとること（「倫理的」）は勉強会への参加との間でのみ違いが見られ、また自己啓発力では関連がある学習経験が見られない。顕著な傾向は、人的ネットワークの形成（「ネット」）如何に見られ、関連する4種の学習経験すべてに関して、それを実施した場合とそうでない場合とでは15%以上の開きがある。特にメーリングリストの利用、勉強会、セミナーへの参加は、正規の授業を超えた部分であり、そのような学習経験がある種の能力習得に密接な関係を持つことは、特筆に値する。

学習経験を基に縦方向へと目を走らせると、各経験がどのような能力の習得と関係を持つのが分かる。半分以上の能力と関連する学習経験としては、数の多い項目から順に、予習（11）、セミナーへの参加（11）、学習内容の職場での実践（9）が挙げられる。その一方で、ほとんどの学習経験と数種類の能力習得との間に関連が見られるにもかかわらず、関連図書の学習の有無は、いずれの能力習得に対しても、有意な関係性を持たない。ただしこの結果は、そもそも質問紙において、当該教育機関での学習による能力習得について聞いているために、関連図書の学習は必ずしもそれに該当しないと判断した者が多かったことによる可能性もある。

図表 2-4 学習経験の有無による能力習得者の割合 (%)

| | 予習 | | 質問 | | 復習 | | メール | | 勉強会 | | セミナー | | 関連図書 | | 職場実践 | | | | |
|------|------|------|------|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | 肯 | 否 | | | |
| 課題設定 | 88.4 | 76.2 | 12.2 | | | | | | | | | | | | 90.3 | 78.1 | 12.2 | | |
| 情報収集 | 77.0 | 53.5 | 23.5 | | | | | | | | | | | | 76.8 | 66.5 | 10.3 | | |
| 達成力 | | | | | 57.2 | 46.2 | 11.0 | 61.1 | 44.5 | 16.6 | 59.8 | 46.9 | 12.9 | 60.8 | 49.5 | 11.3 | | | |
| 発想力 | 40.4 | 26.7 | 13.7 | | | | | | | | | | | | 41.3 | 32.1 | 9.2 | | |
| 柔軟さ | 70.9 | 54.5 | 16.4 | | 73.7 | 63.9 | 9.8 | | | | | | | | 71.5 | 61.9 | 9.6 | | |
| 指導力 | | | | | 28.4 | 23.6 | 4.8 | | | | | | | | 31.7 | 24.7 | 7.0 | | |
| 自己啓発 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自己啓発 | 47.6 | 33.7 | 13.9 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交渉力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交渉力 | 57.7 | 37.6 | 20.1 | | 57.8 | 47.2 | 10.6 | 61.4 | 50.1 | 11.3 | 62.7 | 50.7 | 12.0 | 67.5 | 52.2 | 15.3 | | | |
| ネット | | | | | 68.3 | 52.8 | 15.5 | 74.5 | 55.7 | 18.8 | 79.9 | 55.5 | 24.4 | 82.5 | 60.1 | 22.4 | | | |
| リーダー | 42.4 | 26.7 | 15.7 | | | | | | | | 46.7 | 36.7 | 10.0 | 46.7 | 38.3 | 8.4 | 43.9 | 31.6 | 12.3 |
| プレゼン | 62.9 | 44.6 | 18.3 | | 64 | 50.8 | 13.2 | 65.5 | 56.5 | 9.0 | 67.6 | 56.3 | 11.3 | 68.3 | 58.6 | 9.7 | 63.4 | 53.0 | 10.4 |
| 広い視野 | 74.7 | 57.4 | 17.3 | | 75.6 | 63.5 | 12.1 | 77.1 | 68.7 | 8.4 | 76.2 | 70.1 | 6.1 | | | | | | |
| 挑戦精神 | 52.9 | 39.6 | 13.3 | | | | | 58.0 | 46.0 | 12.0 | | | | 60.0 | 49.1 | 10.9 | 54.2 | 43.7 | 10.5 |
| 倫理的 | | | | | | | | | | | 30.3 | 24.7 | 5.6 | | | | | | |
| 顧客志向 | 30.4 | 19.8 | 10.6 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ストレス | | | | | 42.0 | 31.5 | 10.5 | 48.1 | 32.5 | 15.6 | 46.3 | 35.2 | 11.1 | 49.2 | 36.9 | 12.3 | 34.7 | 15.8 | 18.5 |
| 社会理解 | | | | | 35.0 | 27.4 | 7.6 | 36.8 | 29.3 | 7.5 | | | | 42.5 | 30.9 | 11.6 | | | |

5. 仕事・生活上の変化

本来ここで目的とされるべきは、どの様な学習経験が仕事や生活上の変化をもたらすのか、という問いに答えることであるが、質問紙の構造上そこまで厳密に分析することはできない。というのは、変化の有無およびその変化に当該教育機関での学習が貢献したか否かについては聞いているものの、具体的にどの学習が貢献したのかを特定することまでは求めていないから

図表 2-5 仕事・生活上の変化と学習経験

(%)

| | | 予習 | 質問 | 復習 | メール | 勉強会 | セミナー | 関連図書 | 職場実践 |
|---------------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| <u>仕事上の変化</u> | | | | | | | | | |
| 転職 | 有無 | | | | | 6.7 | 18.3 | 25.2 | |
| [48] | 貢献 | | | | | | | | |
| 昇進 | 有無 | | 11.0 | 10.0 | | | | 11.0 | 10.3 |
| [151] | 貢献 | | | | 15.5 | 12.9 | 22.2 | | 25.2 |
| 収入増加 | 有無 | 11.7 | | | | | | | 9.6 |
| [158] | 貢献 | | 12.4 | | 17.0 | 12.1 | | | 22.7 |
| 独立開業 | 有無 | | | | | | 3.7 | | |
| [10] | 貢献 | | | | | | | | |
| 部門移動 | 有無 | | 9.1 | | | | | | |
| [141] | 貢献 | 20.8 | | | 16.8 | | | | 23.8 |
| 就職 | 有無 | | | | 2.9 | 3.2 | 4.1 | | |
| [6] | 貢献 | | | | | 54.5 | | | |
| <u>生活上の変化</u> | | | | | | | | | |
| 仕事行動 | 有無 | | 8.7 | 12.5 | 12.4 | 10.3 | 11.5 | | 30.3 |
| [482] | 貢献 | | | | | | | | 6.6 |
| 生活行動 | 有無 | | 31.2 | 14.0 | 20.8 | 16.9 | 25.9 | 12.2 | 13.8 |
| [190] | 貢献 | 19.4 | 14.4 | | | 13.6 | | | |
| 考え方 | 有無 | | | | | | | | 15.0 |
| [550] | 貢献 | 4.0 | 3.0 | | | | | | |
| 自己認識 | 有無 | | | 8.8 | 12.5 | 11.2 | 15.8 | 10.9 | 9.9 |
| [335] | 貢献 | | | | | | | | |
| 他者態度 | 有無 | | | 11.3 | 14.1 | 10.9 | 18.0 | 9.0 | 13.0 |
| [158] | 貢献 | | | | | | | | 17.6 |

である。そこで本節では、学習経験の有無により仕事・生活上の変化を認めた者の割合に違いが見られるか、また変化があった場合に、学習の貢献を認める者の割合が、特定の学習経験の有無により異なるのかを考察する。

図表 2-5 では、学習経験の肯否と、変化の有無（無色のセル）ならびに学習の貢献（網かけのセル）の関係を、図表 2-4 と同じ要領で算出し、その差の値のみを表示している。数値は5%水準で有意差が認められた関係についてのみ示されており、また表中 [] 内の値は、当該の変化を経験、なおかつ教育機関での学習の貢献を認めた者（「少し貢献」＋「密接に貢献」）の実数である。

変化の有無に着目すると、仕事上の変化よりも生活上の変化において、学習経験の肯否による違いが多く見られる。物事に対する考え方（「考え方」）は例外であるが、その他の項目においては、学習経験がある場合の方が、変化を感じる者が多い傾向にあることがわかる。他方、貢献に関して注目されるのは、復習や関連図書ではどの変化との関係も見られない反面、勉強会や職場実践をしている場合には、それを否定している場合に比べ、学習の貢献を認める者の割合が、多くの変化において大きくなっていることである。

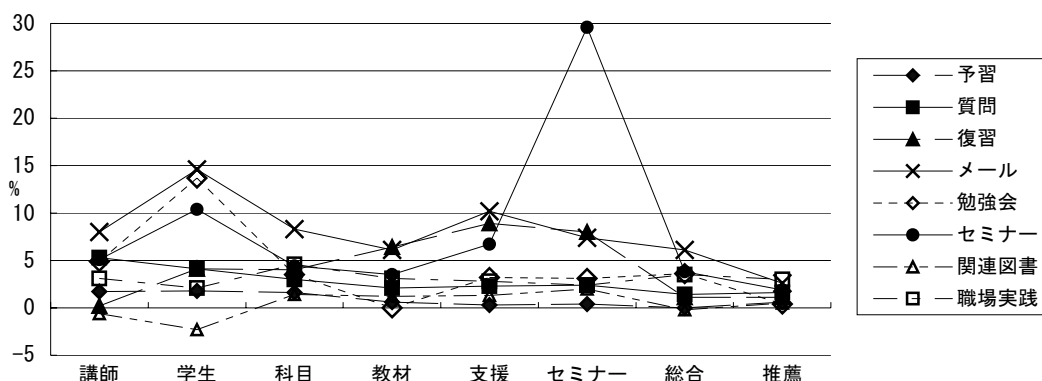
これらの知見から、学習経験は仕事上の変化よりも生活上のそれに影響する、あるいは勉強会に参加したり、学んだことを職場で実践している者ほど、教育機関での学習を実際の変化に役立てることができる、というような結論を短絡的に導くことはできない。しかし、例えば仕事行動や自己認識の変化のように、変化の有無には学習経験の肯否が多く関連しているにもかかわらず、変化を経験した者が認知する貢献の程度には学習経験があまり影響を持たない項目がある一方で、収入増加や部門移動のように、その反対の傾向を示す項目があることは興味深い点である。

6. 満足度

教育・学習の成果として最後に検討されるのは満足度である。前章でも指摘しているように、受講生の満足度は総じて高く、5段階評価で相対的に不満としている者（「非常に不満」＋「不満」）の割合は、どの側面に関しても、10%前後にしかならない。そこで以下では、学習経験の有無が、相対的に満足とした者の割合（「非常に満足」＋「満足」）にどのような違いをもたらすかを見てみたい。

図表 2-6 は、X 軸（0%）を各項目に関する受講者全体での満足度（相対的に満足とした者の割合）を示す基準点として、学習経験毎に肯定的回答者の満足度を示したものである。従って基準点の値は、実際には項目により異なり、例えば最も高い他の人に勧めるか否か（「推薦」）では 92.4%だが、最も低い各種セミナー等の開催（「セミナー」）では 31.1%になる。グラフの形状に着目すると、幾つかの特徴が看取できる。

図表 2-6 学習経験による満足度の違い



まず、全体としてほとんどが正の値を取っていることから、いずれの学習経験にしる、ある方がない場合よりは満足度が高くなることがわかる。ただ唯一、関連図書に対する肯定的回答者の満足度には、全体を下回る項目があり、特に他の受講学生（「学生」）へのそれは-2.4%であった。教育機関に対する満足度が必ずしも高くない者は、自力で勉強するというのだろうか。次に最も顕著なのは、セミナー経験者におけるセミナーへの満足度で、全体での値より30%程度大きい。これは、もともと全体での満足度が、セミナー参加者が少ないために低かったことによるものと思われる。さらに、他の受講生に対する満足度が、メール、勉強会、セミナーでの肯定的回答者の場合に、高くなっているということが読み取れる。原因として、これらの機会においては他の学生とより頻繁に交流を持つため、その分満足度も高まったということが考えられる。そしてもうひとつ指摘できるのは、メーリングリストの利用者の満足度は、ほとんどの項目において最も高くなっていることである。

7. 結論と残された研究課題

以上、学習経験と教育・学習成果の諸側面との関係を考察してきたが、全体を通じた主な知見として、2点ほど指摘できることがある。ひとつは、関連図書の学習の特殊性である。これは2節の最後に言及した学習経験間の関係からもある程度予想された結果であるが、いずれの教育・学習成果においても有意差が見られる項目が見られない、あるいはあっても少ないことは、他の学習経験とは一線を画する特徴である。もう一点として、成績を除いた学習者の主観的判断に基づく成果においては、肯定的回答者の割合が少ない学習経験が、好ましい方向に働いていることが挙げられる。メーリングリストの利用やセミナー・勉強会への参加などは、予習や復習などに比べ、教育・学習機会への一歩踏み込んだ関与が必要とされる学習経験であるが、その分、学習成果や満足度に対する自己評価を高めていると考えられる。

このような見解は、それなりに有益なものではあるが、最後に本章における分析の限界にも言及しておかなくてはならない。ひとつは、学習経験に関する情報の乏しさである。この度の質問紙で尋ねた8つの学習経験は、民間のビジネス・スクールが対象であることを考慮した上で、必要最小限に抑えられたものである。しかし教育・学習成果との関係を論じるには、不十分であったことは否めない。何をしたかだけでなく、その質や量にも注意を払った研究が行われていく必要がある。もうひとつの問題は、教育・学習成果に関する情報の多くが、学習者の主観的評価に頼ったものであったことである。この点は、本研究の関心を考えた場合やむを得ないが、研究の実証性を高めるという意味では、省みられて然るべき部分である。これらの点を配慮した研究の進展は、社会人教育だけでなく、わが国の高等教育研究一般にとっても、今後の課題であるといえる。

注

1) 以上で挙げた参考文献の詳細は次の通りである。

小池源吾・佐々木保孝 2004「大学における社会人学生の受容と学習支援」『大学教育学会誌』、第26巻、第1号、74-81頁。

本田由紀 2001「社会人教育の現状と課題－修士課程を中心に－」『高等教育研究』、第4集、93-112頁。

本田由紀編 2003『社会人大学院修了者の職業キャリアと大学院教育のレリバンス 分析編』、東京大学社会科学研究所。

労働問題リサーチセンター編 1996『社会人大学院生の実像発見』、大蔵省印刷局。

2) 図表2-注は学習経験間の関係を表している。数値は、統計的に有意(5%水準)な傾向が見られる関係について、(表頭肯定/表側肯定)－(表頭肯定/表側否定)の値を百分率で示したものである。例えば*印のあるセルには、予習の肯定者のうち質問についても肯定した者が77.9%おり、予習はしていないが復習はした者は36.6%であったため、その差である41.3%という値が入っている。従って値が大きいほど、表頭の学習経験に関して表側にある学習経験の有無の関連が強いことが予想される。

図表2-注 学習経験間の関係

| | 予習 | 質問 | 復習 | メール | 勉強会 | セミナー | 関連図書 | 職場実践 |
|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 予習 | | *41.3 | 16.1 | 32.4 | 22.3 | | | 14.0 |
| 発言 | 25.2 | | 11.7 | 36.1 | 23.7 | 8.9 | | 9.7 |
| 復習 | 8.0 | 9.4 | | 23.8 | 8.3 | | 16.8 | 20.0 |
| メール | 16.4 | 29.9 | 24.5 | | 42.1 | 15.2 | | 12.7 |
| 勉強会 | 12.1 | 21.1 | 9.2 | 45.0 | | 18.3 | | 7.5 |
| セミナー | | 12.7 | | 26.1 | 29.4 | | 15.8 | |
| 関連図書 | | | 20.4 | | | 10.8 | | 18.6 |
| 職場実践 | 8.1 | 19.2 | 23.5 | 14.5 | 8.0 | | 18.0 | |

第3章 民間ビジネススクールの効果－社会人大学院との比較

小方 直幸

この章では、民間ビジネススクール終了者調査と社会人大学院修了者調査（本田編 2003a、2003b）の双方を用いて、特に学習の効果という点から両者の特徴や相違を考察する。用いているのは、双方の調査で同一の質問項目を設定した部分で、社会人大学院調査については、修士課程で経営・商学系を専攻した者（372名）を対象とした。なお、2つの調査の自由記述部分の比較分析は次の第4章で扱う。

1. 分析の視点

社会人大学院との比較の留意点

今回調査の対象とした民間ビジネススクール（以下、民間BS）は、学位の授与を前提とした教育機関ではない。大学院との提携によりMBA取得につながるコースは提供しているが、提供科目をいくつかの群で構成するモジュール方式を採用し、1科目からの受講も可能になっている。そのため、今回の調査への回答者においても、1科目受講者が45%と最も多く、7割までが3科目以下の少数科目の受講者である。また、入学にあたっては特に選抜はなく、クラスに空きがある限り自由に受講できる。

このように、学位の授与という点で明らかに大学院とはシステムが異なる、また提供科目の総体としては経営系大学院と大きな相違はないかもしれないが、1科目～数科目しか受講しない者が大半を占め、そして入学者選抜もない教育機関を、大学院と単純に比較することにはもちろん課題や限界がある。

しかし他方で、わが国には両者を比較する条件も存在している。それは一言で表せば、資格社会・専門職社会が確立していないということである。社会人大学院の場合、入試という選抜面での能力証明機能だけでなく、学位が持つ能力証明機能も希薄であるため（本田 2001）、処遇等に反映する形での企業からの需要は明確でない¹⁾。それ自体、わが国の社会科学系大学院の発展を考える上で重要な課題だが、教育と仕事の結び付きを構成する、「選抜カップリング」や資格カップリングではない、学んだ内容そのものの仕事における効果としての「実質カップリング」（小方 1998）の側面の比較はむしろ行いやすい。学位が処遇と結び付いている場合には、「実質カップリング」の評価も高くなるというバイアスも働く可能性があるからである。

分析の課題

こうした日本的な文脈の下で社会人に対するビジネス教育の比較考察を行う際の検証課題として、本章では以下の2点を設定した。

第1の検証課題は、経営・商学系大学院で身につく能力と民間BSで身につく能力は異なるのか、という点である。この問いに対する常識的な反応は、「違う」というものかもしれない。だが、例えば複数の科目つまり学習時間が長ければ、自ずと身につく能力も異なる、高まるといえるのだろうか。あるいは、ある能力は時間をかけないと身につかないかもしれないが、別の能力は比較的短期間の学習でも身につくかもしれない。

もちろん、例えばAという能力が身についたという評価のレベルが同じでも、1科目の受講と複数科目の受講とでは、評価の水準が異なる可能性がある。この点は、例えば客観的な試験や雇用者などの第三者による評価などを通して検証していくしかない。何れにせよこの問題は、そもそも教育の質や評価の判断基準が違うという印象論ではなく、数量的に客観的に実証される必要がある。

第2の検証課題は、経営・商学系大学院と民間BSは競合関係にあるのか補完関係にあるのか、という点である。例えば、どちらの機関で学習しても、修了（終了）後の職場での処遇に相違がなければ、また例えば、2年間の長期的な学習ではなく短期的な学習でも同様の効果が得られるのであれば、学習者は費用対効果等を勘案して両者を天秤にかけるかもしれない。この場合、両者は競合関係にある。

これに対して、例えば民間BSでまず学習経験を積んだ後に、経営・商学系大学院を目指すという場合、あるいはある一定の属性や学習動機の持ち主は経営・商学系大学院を選択し、他の属性や学習動機の持ち主は民間BSを選択するという場合、両者の間には補完関係が成立する。

以上の問題意識に立ち、続く第2節では学習者の属性と学習動機、第3節では学習の効果とその要因を分析し、最後に第4節でわが国の社会人ビジネス教育の行方を展望する。

2. 学習者の属性と学習の動機

学習者の属性

学習者の基本属性が異なれば、学習動機や学習経験の評価も異なる可能性がある。この点について、社会人大学院と民間BSを比較してみよう（図表3-1）。

まず異なるのが年齢構成である。両者ともに30代が過半数を占めるが、社会人大学院は20代の若い層が次いで多いのに対して、民間BSでは40代が多い。このため、社会人大学院では役職のない正社員が多いのに対して、民間BSでは役職者が相対的に多くなっている。収入が社会人大学院では低い層に、民間BSでは高い層に分布しているのも、年齢層の相違を反映した結果と考えられる。

図表 3-1 社会人大学院と民間 BS の基本属性

| | (%) | | (%) | |
|------------|--------|------|--------------------|------|
| | 社会人大学院 | 民間BS | 社会人大学院 | 民間BS |
| 年齢 | | | | |
| 20代 | 27 | 17 | | |
| 30代 | 54 | 56 | | |
| 40代 | 11 | 24 | | |
| 50代以上 | 7 | 3 | | |
| 専門分野(最終学歴) | | | | |
| 経営・商学系 | 34 | 15 | | |
| 経済系 | 17 | 15 | | |
| 法学系 | 15 | 12 | | |
| 工学系 | 11 | 25 | | |
| 文学系 | 7 | 7 | | |
| 業種 | | | | |
| 製造業 | 30 | 37 | | |
| 金融・保険 | 15 | 9 | | |
| 教育・研究サービス | 11 | 2 | | |
| 情報サービス | 8 | 17 | | |
| その他サービス | 8 | 6 | | |
| 卸売・小売・飲食 | 7 | 7 | | |
| 職種 | | | | |
| 営業・販売 | 31 | 27 | | |
| 企画・総務・広報 | 17 | 18 | | |
| 研究・技術 | 14 | 22 | | |
| 管理 | 9 | 10 | | |
| | | | 役職 | |
| | | | 役職のない正社員 | 36 |
| | | | 主任 | 11 |
| | | | 係長 | 21 |
| | | | 課長 | 12 |
| | | | 従業員数 | |
| | | | 100～299人 | 5 |
| | | | 300～999人 | 9 |
| | | | 1,000～4,999人 | 29 |
| | | | 5,000人以上 | 37 |
| | | | 外資系出身 | 13 |
| | | | 収入 | |
| | | | 300万円以上500万円未満 | 15 |
| | | | 500万円以上600万円未満 | 18 |
| | | | 600万円以上700万円未満 | 16 |
| | | | 700万円以上800万円未満 | 12 |
| | | | 800万円以上900万円未満 | 9 |
| | | | 900万円以上1,000万円未満 | 7 |
| | | | 1,000万円以上1,200万円未満 | 7 |

注:何れも入学直前の状況

また入学以前の最終学歴の専門分野も大きく異なる。社会人大学院では経営・商学系が最多であるのに対して、民間 BS では工学系が最も多い。民間 BS の場合、業種で情報サービス業の、職種で研究・技術職の割合が高くなっている背景には、出身分野の相違があると思われる。なお次表になるが、受講における費用負担面では、社会人大学院は自己負担が過半数であるのに対して、民間 BS では職場が負担するケースの方が多い。

このように、両者の学習者の属性には相違がある。社会人大学院は若年層、経営・商学系出身者で費用は自己負担の者がコアであるのに対して、民間 BS は中堅層で会社からの派遣も多く、しかも自然科学系出身者を多く受け入れている。

学習動機

図表 3-2 は学習動機と費用負担を年齢別にみたものである。社会人大学院の場合、学習動機は「理論整理」のためが 6 割と最も多く、「何かにチャレンジ」「学位があると有利」と続く。また 20 代は学位の取得を重視しているのに対して、30 代以上ではむしろ理論的な整理が主たる学習動機となっている。学位を活かすためであろうか、「転職・独立」を動機とする者も 20 代では 3 割に上る。ただし、50 代でも再び多くなるという U 字型を形成している。20 代では学位による、50 代では経験を学習で裏付けての転職・独立という

図表 3-2 学習動機と費用負担（年齢別）

| (N) | 社会人大学院 | | | | | 民間BS | | | | | 計 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-----------|---|--|
| | 計 | 20代 | 30代 | 40代 | 50以上 | 計 | 20代 | 30代 | 40代 | 50以上 | | |
| | (361) | (99) | (196) | (40) | (26) | (701) | (122) | (394) | (165) | (20) | | |
| 学習動機 | | | | | | | | | | | | |
| 理論整理 | 59.3 | 48.5 | 61.2 | 72.5 | 65.4 ** | 43.2 | 31.1 | 44.7 | 46.7 | 60.0 ** | | |
| 何かにチャレンジ | 50.7 | 53.5 | 49.0 | 55.0 | 46.2 | 44.5 | 52.5 | 44.9 | 39.4 | 30.0 * | | |
| 学位があると有利 | 40.4 | 47.5 | 40.8 | 32.5 | 23.1 **** | - | - | - | - | - | | |
| 将来マネジメントの仕事 | - | - | - | - | - | 38.5 | 41.8 | 41.6 | 31.5 | 15.0 ** | | |
| 自分を変える | 27.7 | 26.3 | 28.6 | 30.0 | 23.1 | 30.4 | 36.9 | 34.3 | 19.4 | 5.0 **** | | |
| 知識獲得 | 25.8 | 17.2 | 28.1 | 32.5 | 30.8 | 31.4 | 23.0 | 33.5 | 32.1 | 35.0 | | |
| 転職・独立 | 20.8 | 31.3 | 16.8 | 10.0 | 26.9 *** | 16.7 | 27.9 | 15.7 | 11.5 | 10.0 *** | | |
| 職場がつまらない | 14.7 | 15.2 | 16.3 | 12.5 | 3.8 | 7.7 | 17.2 | 7.6 | 1.8 | - **** | | |
| 人脈づくり | - | - | - | - | - | 19.0 | 25.4 | 20.3 | 12.1 | 10.0 **** | | |
| 職場派遣 | 19.9 | 24.2 | 24.0 | - | 3.8 *** | 34.0 | 16.4 | 30.7 | 52.1 | 55.0 **** | | |
| 費用負担 | | | | | | | | | | | | |
| 主に自分 | 61.3 | 56.3 | 54.2 | 89.7 | 88.5 **** | 40.7 | 56.6 | 42.6 | 26.7 | 30.0 | | |
| 主に職場 | 38.7 | 43.8 | 45.8 | 10.3 | 11.5 | 57.1 | 39.3 | 53.6 | 73.3 | 65.0 | | |

注:1)費用負担の「主に自分」には、「主に奨学金」「主に家族」(共に若干名)を含む。

2)*10%、**5%、***1%、****0.1%で有意。

ことだろうか。転職・独立の背景にある学位の意味づけは年齢で異なるのかもしれない。

なお、どの年齢層においても費用を自己負担する者が多いものの、20代や30代では職場が負担するケースも少なくない。この層で「職場派遣」を学習動機に挙げる者が少なからず存在するのはこのためである。この他、表中には示していないが、学習動機のうち「職場派遣」を理由とする者は営業・販売職や企画・総務職で多い。また、営業・販売職では「理論整理」をあまり期待しておらず、研究・技術職では「知識獲得」を意図した入学者が多くなっている。

民間BSの場合も、学習動機の上位には「理論整理」や「何かにチャレンジ」するものを挙げた者が多い。また、費用負担の面に現れていたように、3人に1人は「職場派遣」を理由としている。なお、社会人大学院調査では尋ねていないが、「将来マネジメントの仕事」に就きたいという者も4割弱と少なくない。

年齢による学習動機の相違も明確である。40代、50代などの年齢の高い層で顕著なのは、「理論整理」や「職場派遣」を動機とする者が多い点で、逆に20代、30代では「何かにチャレンジ」「将来マネジメントの仕事」「自分を変える」「人脈づくり」を動機に挙げる者が多い。30代以上で「理論整理」を、20代で「転職・独立」を動機とする者が多い点は、社会人大学院と同様である。

費用負担の構造も、年齢層で明らかに異なる。20代では自己負担の者が多いのに対して、30代以上では職場の負担、つまり「職場派遣」タイプが多くなっている。若年層ほど職場負担が多かった社会人大学院とは逆の傾向である。企業は社会人大学院と民間BSとを次のように使い分けているのかもしれない。即ち、社会人大学院へは、将来マネジメントを担う可能性のある若年層を社費で派遣しているのに対して、民間BSへは、既にマネジメ

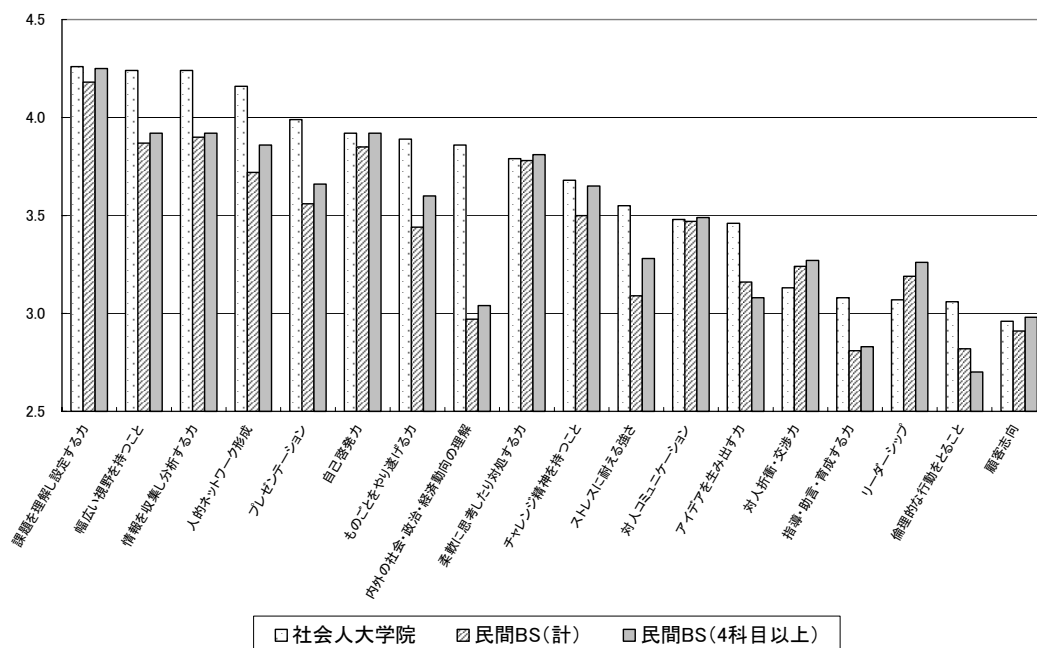
ントのポジションにある中高年齢層を社費で派遣している、という解釈である。前者は、経営の基礎からしっかりと身につけさせるための利用であり、後者は足りない側面を部分的に補う形での利用といえる。事実、民間BSの場合、会社から派遣された者ではその他の者と比べて1科目受講にとどまる者が多く、また管理職ほど「職場派遣」を理由とする者が多くなっている。

3. 学習の効果とその要因

身についた能力

図表 3-3 は、学習を通じて獲得した能力を示している。数値は 5 点満点（1「身につかない」～5「身につく」）の平均値で、民間BSの場合には、科目受講数の影響をみるために、回答者全体の値に加えて、4 科目以上受講した者の値も掲載している。なお、図を見やすくするために棒グラフの縦軸の最小値を 2.5 に設定している。最小値を 0 とした時よりも棒の高低差が大きいようにみえてしまうので注意して欲しい。

図表 3-3 学習を通じて獲得した能力



学習を通じて獲得した能力として高い評価を得ているのは、社会人大学院の場合も民間BSの場合も、「課題設定力」「情報収集力」「幅広い視野」などで共通している。両者

とも教育の目指す方向性には大差がないと解釈してよいかもしれない。だが、身についた能力に対する評価は全般的に社会人大学院の方が高い。特に差が大きいのは「内外の社会・政治・経済動向の理解」で、0.8 ポイントの開きがある。「幅広い視野」「情報収集力」「人的ネットワーク」「プレゼンテーション」「物事をやり遂げる力」「ストレス耐性」「アイデア」の面でも、両者の評価には0.3 ポイント以上の格差がある。

この格差を生み出す背景には、個々の授業における教育の質の相違や、受講科目数自体の相違といった理由が考えられる。残念ながら、前者についての検証はデータからは行えないが、少なくとも民間 BS では受講科目数が少なく、学習の密度の点で社会人大学院とは決定的に異なることが関与しているとみてよいだろう。なぜならば民間 BS の場合、4 科目以上の受講者になると、多くの項目で能力の獲得に対する評価が高まるからである。

このようにみれば、社会人大学院と民間 BS とでは、学習成果の点で明確な相違があるといえるかもしれない。しかし、両者における「内外の社会・政治・経済動向の理解」以外の評価の相違は、果たして大きいといえるのだろうか。科目受講数の相違に比べると、両者の格差は小さいとみなすことも可能である。むしろ民間 BS は健闘している、という解釈である。第 1 節で述べたように、両者の到達水準は異なる可能性があるが、到達水準は変わらないと仮定した場合には、両者で差のない能力項目もいくつか存在する。

この点の検証可能性があるとするれば、それは、民間 BS と社会人大学院双方の経験者を考察することだろう。今回の民間 BS の調査対象者にも何人かはそれに該当する者がいる。だが、調査項目や自由記述の上で十分な捕捉ができておらず、今後の課題である。

教育の質を保証する取組

民間 BS は検討していると判断する根拠は他にもある。それは、教育の質を保証する取り組みがなされている点である（図表 3-4）。

図表 3-4 学習成果を支える仕組み

| 要素（教員） | 取組 | | |
|--------|------|--------|------|
| 採用 | 知識面 | 教授スキル面 | |
| 配置と構成 | 導入教育 | 常勤と非常勤 | |
| 評価 | 授業観察 | 授業評価 | 成績評価 |

この民間 BS は、教員の採用、配置と構成、評価の 3 つの側面で、教育の質を高める具体的な取り組みを行っている。まず、教員の採用面では、経営学に関する知識面のチェックをもちろん行う。結果的に MBA ホルダーが多くなっているという。また、教授スキル

面のチェックもしており、採用にあたっては模擬授業を実施している。1回の模擬授業でパスする確率はあまり高くないという。

次に配置と構成面では、基礎的・導入的な科目、つまり学習者が最初に受講する可能性の高い科目については、ベテランの教員を配置しているという。また、常勤と非常勤のバランスについても考慮している。具体的な話までは聞いていないが、コンサルタントなど別の業務を実践しながら教える場合の方が、教えることのみを業務としている場合よりも問題が生じにくいという。大学院の場合、教員は研究をしながら教えており、こういう教育における二面性は、民間BSにおいても重要と見なされている。

最後に評価の面である。まず、初任者や問題があると思われる教員に対して授業観察を実施しているという。また、受講者による授業評価も行っている。一般的に授業評価の水準が高いため、かなり高めの基準を設定して、それ以下の評価がくださった講師に対しては指導がなされるという。加えて、厳格な成績評価も行っており、受講者の中には同一科目を受け直す者が少なくないという。

これらの取組の中には、大学院レベルで十分に実践されているとは言い難いものもある。こうした教育の質を高める取組が、社会人大学院とは明らかに学習密度が異なるにもかかわらず、学習を通じて獲得した能力に対してある程度高い評価を得る要因となっていると考えられる。

修了（終了）後の変化と学習の効用

従来の社会人大学院研究は、学習の効果は昇進や給与という仕事上の客観的側面の変化よりも、価値観や態度という主観的な側面の変化が大きいことを指摘しているが（本田編2003aなど）、民間BSの場合にもこのことはあてはまる（図表3-5）。

図表 3-5 学習修了（終了）後の変化

| | 社会人大学院 | | | | 民間BS | | | | 計 |
|----------------|--------|--------|------|-----------|------|-------|-------|-----------|---|
| | 計 | 修了後の年数 | | | 計 | 受講科目数 | | | |
| | | 3-5年 | 6-8年 | 9-12年 | | 1科目 | 2~3科目 | 4科目以上 | |
| 仕事上の客観的变化 | | | | | | | | | |
| 収入増 | 67.2 | 52.0 | 69.2 | 87.9 **** | 46.6 | 43.8 | 47.7 | 49.7 | |
| 昇進 | 58.7 | 41.1 | 64.3 | 76.7 **** | 37.8 | 32.3 | 34.2 | 49.7 **** | |
| 部門移動 | 53.8 | 37.1 | 58.1 | 72.7 **** | 37.5 | 32.6 | 39.9 | 42.6 * | |
| 転職 | 33.2 | 31.5 | 38.5 | 29.7 | 11.5 | 5.4 | 13.0 | 19.8 **** | |
| 独立 | 9.7 | 7.3 | 13.3 | 7.8 | 2.7 | 1.3 | 1.6 | 4.6 **** | |
| 価値観・態度などの主観的变化 | | | | | | | | | |
| 仕事行動の変化 | 84.1 | 82.5 | 85.6 | 84.9 | 71.2 | 65.2 | 75.1 | 77.2 *** | |
| 物事に対する考え方 | 83.2 | 85.7 | 83.3 | 82.8 | 80.1 | 77.3 | 79.8 | 84.8 | |
| 自分への見方 | 71.1 | 69.8 | 75.0 | 67.7 | 51.0 | 44.1 | 51.3 | 61.9 **** | |
| 仕事以外の行動変化 | 58.6 | 59.5 | 65.2 | 50.5 * | 31.8 | 23.0 | 34.2 | 43.7 **** | |
| 周囲の対し方 | 52.2 | 47.6 | 55.3 | 54.8 | 27.6 | 19.2 | 28.5 | 40.1 **** | |

注:1)「経験した」「変化した」と回答した者の比率。

2)*10%、**5%、***1%、****0.1%で有意。

社会人大学院の場合、仕事上の客観的な変化として、過半数の者が「収入増」、「昇進」、「部門移動」を経験しており、「転職」経験者も3割いる。価値観や態度などの主観的変化感はさらに大きい。「仕事行動の変化」「物事に対する考え方」は8割の、「自分への見方」も7割の者が変化したと感じている。民間BSでは、経験した項目の特性は社会人大学院と同様であるが、仕事上の客観的変化の面では何れの項目も経験者が過半数に満たないし、価値観や態度などの主観的な変化感においても、変化したと感じる者の割合が低い。なお、受講科目数が多い者ほど、変化を肯定する割合が高くなっている。

ところで、社会人大学院と民間BSの相違の解釈をめぐっては、いくつか留意が必要である。まず、仕事上の客観的変化が社会人大学院で大きい点だが、「収入増」「昇進」「部門移動」は、修了後の年数を経た者で大きい。要するに、修了後に長く仕事をしているという年数効果で、これらの項目を肯定する割合が高い可能性がある。民間BSの調査対象者は終了後1-3年であり、社会人大学院の修了後3-5年の者と比較すれば、仕事上の客観的変化における相違はかなり縮小する。ただし、「転職」経験者の差は大きいままである。

価値観や態度などの主観的な変化の面でも、民間BSで受講科目数が4科目以上の者になると、社会人大学院との相違は縮小する。身についた能力の評価と同様に、学習修了（終了）後の効用についても、両者の間には明らかな相違が存在するとは言い切れないのである。ただし、「仕事以外の生活での行動」や「周囲の人々の自分への対し方」については、両者の間にある程度大きな相違が残っている。

では、こうした変化に学習が貢献したと認識されているのだろうか（図表3-6）。まず、社会人大学院、民間BSともに、仕事上の客観的変化の経験者が相対的に多かった「収入増」「昇進」「部門移動」では、学習の貢献度が低いことがわかる。むしろ、学習が貢献していると判断されているのは、「転職」や「独立」の経験である。社会人大学院の場合は、特に「学位取得」の「転職」に対する貢献度が高い。また民間BSの場合には、受講科目数が4科目以上になると、学習の貢献度の認識は急激に高まる。

仕事上の客観的変化と比べて、価値観や態度などの主観的な変化に対しては、社会人大学院、民間BSともに学習の貢献を高く評価している。少なくとも、考え方や行動の仕方に対しては、学習のインパクトがあったと判断しているのである。またここでも、民間BSにおいて受講科目数が4科目以上になると、貢献度の認識が急激に高まる。

質問紙の尋ね方が異なるために、仕事上の客観的変化、価値観や態度などの主観的変化に対する学習の貢献度が、社会人大学院と民間BSのどちらで高いかを判断することは難しい。ただし仮説の域を出ないが、社会人大学院と民間BSの間の学習構造の相違が、両者の回答の相違を反映していると推察される事象がある。

それは、「仕事以外の生活での行動」や「周囲の人々の自分への対し方」の変化感が社会人大学院で高かった点である。「仕事に関する行動」や「物事に対する考え方」は、社会人大学院の場合をみると、講義内容の貢献度が高く、民間BSでも対応が可能である。

図表 3-6 変化に対する学習の貢献度

| | 社会人大学院 | | | | 計 | 民間BS | | | (*) |
|----------------|--------|------|------|------|------|-------|-------|-------|------|
| | 学習の場面 | | | | | 受講科目数 | | | |
| | 講義内容 | 修士論文 | 学位取得 | 学生交流 | | 1科目 | 2~3科目 | 4科目以上 | |
| 仕事上の客観的变化 | | | | | | | | | |
| 収入増 | 16.4 | 8.4 | 12.9 | 6.4 | 7.3 | 1.5 | 5.4 | 17.3 | **** |
| 昇進 | 17.6 | 11.0 | 11.0 | 5.3 | 10.9 | 1.0 | 9.1 | 22.4 | **** |
| 部門移動 | 20.4 | 12.6 | 11.0 | 4.2 | 15.2 | 10.8 | 9.1 | 26.2 | * |
| 転職 | 37.1 | 30.8 | 41.0 | 19.8 | 28.4 | 17.6 | 16.0 | 41.0 | |
| 独立 | 40.0 | 22.9 | 17.1 | 22.9 | 26.3 | - | - | 38.5 | * |
| 価値観・態度などの主観的变化 | | | | | | | | | |
| 仕事行動の変化 | 41.7 | 28.8 | 16.7 | 20.4 | 44.6 | 39.1 | 37.9 | 58.3 | *** |
| 物事に対する考え方 | 46.2 | 34.5 | 21.2 | 33.0 | 45.5 | 41.7 | 38.2 | 57.6 | *** |
| 自分への見方 | 33.2 | 35.8 | 29.8 | 33.2 | 41.1 | 29.7 | 33.7 | 59.8 | **** |
| 仕事以外の行動変化 | 25.5 | 22.5 | 20.6 | 37.0 | 35.9 | 37.5 | 25.8 | 42.4 | |
| 周囲の対し方 | 23.8 | 21.6 | 36.8 | 23.0 | 25.8 | 23.3 | 20.0 | 31.6 | |

注:1)「密接に貢献」と回答した者の比率。

2)*10%、**5%、***1%、****0.1%で有意。

これに対して、「仕事以外の生活での行動」は「学生間交流」、「周囲の人々の自分への対し方」は「学位取得」の貢献度が高く評価されている。「学位取得」はいうまでもなく、「学生間交流」もある程度長期の学習を基盤に成立するものなので、これらの変容については、社会人大学院に分があるといえそうである。

満足度

学習経験に対する満足度は、社会人大学院では79%（このうち「非常に満足」は33%）、民間BSでも85%（このうち「非常に満足」は16%）と非常に高い。もちろん序章で述べたように、民間BS調査の場合には回収率が低く、そもそも学習に満足している者が回答しているというバイアスの存在は否定できない。民間BSの場合にだけになるが、総合満足度と相関が高いのは、順に「講師に対する満足度」(0.62)、「開講科目に対する満足度」(0.57)、「教材に対する満足度」(0.54)、「受講学生に対する満足度」(0.50)であった。

では何が満足度を規定しているのか。満足度（1「非常に不満」～5「非常に満足」）を従属変数とし、学習の動機、獲得した能力、仕事上の変化、価値観・態度の変化を従属変数とする重回帰分析を行った（図表3-7）。なお、獲得能力については、能力について尋ねた18項目を因子分析し、得られた因子の因子得点を変数として用いている。

統計的に有意な変数に着目すると、社会人大学院、民間BSともに満足度を規定しているのは、獲得した能力や価値観・態度の変化であることがわかる。学習動機や仕事上の変化と満足度の関係は明確でない。学習を通じた獲得能力を高く評価する者ほど満足度も高まるが、社会人大学院では、能力群D（「情報収集力」「課題設定力」）や能力群E（「幅広い視野」「政治・社会・経済理解」「人的ネットワーク」）の影響が大きい。民間BSの場合は、特に能力群D（「情報収集力」「課題設定力」「柔軟性」「アイデア」）が満

図表 3-7 満足度の規定要因

| | 社会人大学院 | 民間BS |
|------------------|-----------|------------|
| (N) | (338) | (701) |
| 定数 | 3.808 | 3.759 |
| 学習の動機(上位5項目) | | |
| 職場派遣【学位を持つと有利】 | -0.001 | 0.015 |
| 理論整理【理論整理】 | 0.020 | -0.043 |
| 知識獲得【知識獲得】 | -0.045 | -0.019 |
| チャレンジ【チャレンジ】 | -0.025 | 0.016 |
| 将来マネジメント【自分を変える】 | -0.014 | -0.012 |
| 獲得した能力 | | |
| 能力群A | -0.006 | 0.142 **** |
| 能力群B | 0.100 * | 0.181 **** |
| 能力群C | 0.123 ** | 0.102 *** |
| 能力群D | 0.177 *** | 0.295 **** |
| 【能力群E】 | 0.163 *** | |
| 仕事上の変化 | | |
| 収入増 | 0.042 | -0.055 |
| 昇進 | 0.038 | -0.003 |
| 部門移動 | 0.012 | 0.032 |
| 転職 | -0.036 | -0.036 |
| 独立 | -0.081 | 0.002 |
| 価値観・態度の変化 | | |
| 仕事行動 | 0.023 | 0.093 ** |
| 仕事以外の行動 | 0.111 * | -0.060 |
| 物事の考え方 | -0.014 | 0.084 ** |
| 自身の見方 | 0.047 | 0.023 |
| 周囲の対し方 | -0.046 | 0.074 * |
| 調整済R2乗 | 0.073 | 0.192 |
| F値 | 2.339 *** | 9.795 **** |

注:1)【 】は社会人大学院の場合。

2)社会人大学院の場合、獲得能力の因子分析を行った結果、次の5因子が抽出された。

能力群A=「柔軟性」「アイデア」「チャレンジ」「やり遂げる力」「自己啓発力」

能力群B=「対人コミュニケーション」「対人折衝力」「リーダーシップ」

能力群C=「倫理的行動」「顧客志向」

能力群D=「情報収集力」「課題設定力」

能力群E=「幅広い視野」「社会・政治・経済理解」「人的ネットワーク」

3)民間BSの場合、獲得能力の因子分析を行った結果、次の4因子が抽出された。

能力群A=「対人コミュニケーション」「対人折衝力」「人的ネットワーク」「プレゼンテーション」「リーダーシップ」

能力群B=「チャレンジ精神」「ストレス耐性」「やり遂げる力」「自己啓発力」「社会・政治・経済理解」

能力群C=「倫理的行動」「顧客志向」「指導育成力」

能力群D=「情報収集力」「課題設定力」「柔軟性」「アイデア」

4)*10%、**5%、***1%、****0.1%で有意。

満足度を左右している。「課題設定力」や「情報収集力」の獲得が満足度を高めている点で両者は共通している。

価値観・態度の変化については、社会人大学院の場合は「仕事以外の行動」の変化が満足度を高めているのに対して、民間BSの場合には「仕事上の行動」や「物事に対する考え方」の変化が満足度を高めている。民間BSの満足度は、仕事に関連した価値観・態度の変化と結び付く傾向があるのに対して、社会人大学院のそれは、仕事に関連するもの以外の価値観・態度の変化と関連を持つ構造となっている。

転職・独立の効用

最後に、仕事上の客観的变化のうち学習の貢献度が相対的に高く評価されていた、転職や独立について補足しておきたい。そもそも学習動機に「転職・独立」を挙げる者は社会人大学院が21%、民間BSが17%とそれほど大きな差があるわけではなかった(図表3-2)。しかし実際に学習修了(終了)後に転職ないし独立を経験した者は、民間BSの14%に対して、社会人大学院では43%に達していた(図表3-5)²⁾。なお当然の帰結ともいえるが、転職や独立の経験者は、圧倒的に個人受講型、費用自己負担型の者が多い。

学習経験に対する満足度の点では、転職・独立経験者とそうでない者との間に相違がなく、また転職・独立経験が給与や昇進といった処遇面の向上とは必ずしも結び付いていないために見落としがちだが、現在の仕事への満足度は、転職・独立経験の方がそうでない者と比べてかなり高くなっている(図表3-8)。

図表 3-8 転職・独立経験と満足度

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|--------------|--------|--|------|--|
| 教育機関に対する満足度 | | | | |
| 転職経験あり | | | | |
| やや満足 | 42.1 | | 63.0 | |
| 満足 | 33.1 | | 16.6 | |
| ----- | | | | |
| 転職経験なし | | | | |
| やや満足 | 48.3 | | 69.0 | |
| 満足 | 32.1 | | 16.2 | |
| ----- | | | | |
| 独立経験あり | *** | | | |
| やや満足 | 37.1 | | 68.4 | |
| 満足 | 31.4 | | 15.8 | |
| ----- | | | | |
| 独立経験なし | | | | |
| やや満足 | 47.5 | | 68.3 | |
| 満足 | 32.3 | | 16.2 | |
| ----- | | | | |
| 現在の仕事に対する満足度 | | | | |
| 転職経験あり | *** | | **** | |
| やや満足 | 37.0 | | 38.3 | |
| 満足 | 25.2 | | 21.0 | |
| ----- | | | | |
| 転職経験なし | | | | |
| やや満足 | 37.5 | | 52.8 | |
| 満足 | 10.8 | | 6.4 | |
| ----- | | | | |
| 独立経験あり | *** | | **** | |
| やや満足 | 25.7 | | 21.1 | |
| 満足 | 40.0 | | 36.8 | |
| ----- | | | | |
| 独立経験なし | | | | |
| やや満足 | 38.1 | | 52.0 | |
| 満足 | 12.8 | | 7.3 | |

注:***1%、****0.1%で有意。

例え給与や地位の向上がみられなくても、やりがいのある仕事を求めて転職や独立を行うというケースはあり得る。処遇には反映されないが内容としてやりがいのある仕事に就ける可能性を拡げているとするならば、その点も社会人ビジネス教育の効用として高く評価してよい。しかも社会人大学院修了者に独立・転職経験者が多いという事実は、まだ限定的かもしれないが、学位の通用する雇用市場が生まれつつあることを示唆しているのかもしれない。

4. 社会人ビジネス教育の行方

形態論からすれば、入学選抜がなく1科目から受講可能な民間BSと、選抜があり拘束型プログラムの社会人大学院とは明らかに異なる存在である。それを半ば強引に比較してみたというのが本章である。そこには限界や課題もあることを承知で、最初に掲げた分析課題に則してこれまでの考察を整理するならば、以下のようにまとめられる。

まず、両者で身に付く能力は違うのかという点である。受講する科目数が異なるという学習密度の相違が、学習成果に及ぼす影響は確かに否定できない。だが正規のプログラムから得られる学習成果の格差は、学習密度の相違ほど大きくないのかもしれない。また、この民間BSでは、教育の質を向上させる取組も積極的に行っている。その意味では、獲得できる能力という点で、社会人大学院と民間BSは競合する側面がある。今回の比較分析からは、社会人大学院でなければ身に付かない能力がある、ということ積極的に支持する結果は得られなかった。

もともと、非職業的側面、例えば「仕事以外の生活での行動」の変化へのインパクトまでを含めると、民間BSでは提供しにくい学習の文脈があるために、社会人大学院の効用は大きい。また、社会人大学院では最近の修了者ほど「知識獲得」を学習動機とする者が増えている。学習成果の点で民間BSと最も異なっていたのは、「内外社会・政治・経済動向の理解」であった。経営・商学系大学院のカリキュラムの標準化が今後どう展開するかということにもよるが、必要とされる知識の標準化や更新をうまく実践することができれば、少なくとも知識・理解面という点で、民間BSとの差異化は十分に可能だろう。

加えて、転職・独立の促進という点でも、学位が評価される市場が形成されつつあるかもしれない、社会人大学院の強みとなる可能性はある。しかしその場合には、社会人大学院の内部にも、転職や独立に向けた支援を意図的に行うサービス機能が必要になるだろう。何れにしても、今回の比較分析は、社会人大学院がその独自性を積極的に打ち出していく1つの方向性を示してくれている。

他方で、民間BSにもその独自性がある。それは一言で言えば、小回りがきくということである。最たる例は1科目からの受講である。既にマネジメントを行う地位にある者が不足している領域についてのみ学習でき、企業も教育訓練システムの一貫に組み込みやす

い、もともと経営・商学の領域を学んでいない自然科学系の出身者でも敷居の高さという点で受講が容易である、といった点である。提供されている科目全体は体系的な学習が可能な構造になっており、必要であればさらに科目数を増やしていけばよい。

また民間 BS は、大学院に挑戦する前のお試し的な学習の場ともなっている。実際に、終了者の 4 人に 1 人は今後の学習手段として大学院を想定しており³⁾、民間 BS で手応えを得て大学院の門を叩く者がいるのである。このように、民間 BS は社会人大学院を補完する機能も果たしている。今後この民間 BS が、いわゆる正規の大学院として拡充・発展することは可能性としてあり得る。だが、学位の提供を前提としないからこそ可能な教育訓練もある。大学院化による新たな需要の獲得は、従来の需要の喪失も同時に意味する。

我が国でも今後、正規の大学や大学院ではない民間の教育産業がさらに隆盛し、また大学や大学院への参入も進展することが予想される。その際、例えばビジネス教育を社会全体としてどういうシステムで担っていくのかという点は重要な課題である。そのシステムのあり方を考える際の 1 つの視座は、大学や大学院が担えるのはどの部分であり、民間の教育機関にはどういう役割があるのか、という点である。社会人大学院の機能特性や可能性は、社会人大学院だけを眺めてはわからない面があるし、逆に民間 BS のそれについても同様のことを指摘できる。今回の比較分析が、将来の我が国のビジネス教育のあり方を考える上でのささやかな布石となれば幸いである。

注

- 1) 能力が違うのに同じ賃金をもらっている可能性を、我が国の新規大卒労働市場の特性として指摘したのは矢野（1996）だが、社会人大学院でも同様のことが生じている可能性がある。
- 2) 社会人大学院の転職や独立の経験者の多さについては、学習修了後の年数による影響も排除できないが、少なくとも図表 3-5 をみる限り、修了後年数が経てば転職や独立を経験する率が高まるというわけではない。
- 3) 今後の学習手段として大学院を想定している者は、1 科目受講者でも 20%、2～3 科目受講者では 23%、4 科目以上の受講者になると 36%に達する。

参考文献

- 小方直幸 1998『大卒者の就職と初期キャリアに関する実証的研究』広島大学大学教育研究センター。
- 本田由紀 2001「社会人教育の現状と課題」日本高等教育学会編『高等教育研究』第 4 集、玉川大学出版部、93-112 頁。
- 本田由紀編 2003a『社会人大学院修了者の職業キャリアと大学院教育のレリバンス（分析編）』東京大学社会科学研究所研究シリーズ No.7、東京大学社会科学研究所。

本田由紀編 2003b『社会人大学院修了者の職業キャリアと大学院教育のレリバンス（資料編）』東京大学社会科学研究所研究シリーズ No.10、東京大学社会科学研究所。
矢野眞和 1996「新規大卒労働市場の特殊性」『高等教育の経済分析と政策』玉川大学出版部、166-182 頁。

第4章 民間ビジネススクール終了者の志向性 —自由記述回答にみる社会人大学院修了者との比較

福留 東土

本章では、第3章に続いて、民間ビジネススクール終了者調査と社会人大学院修了者調査の比較分析を行う。両調査のうち、自由記述による回答内容について検討しながら、民間ビジネススクール（以下、民間BS）で学んだ者たちが、社会人大学院で学んだ者たちと比較して、どのような志向性を持っているのかについて分析を行う。

民間BS終了者調査では、「あなたが民間BSやご自身の職業キャリアについて感じておられることをご自由にご記入ください。」との質問を設定しており、社会人大学院修了者調査でも、同様の文言による質問（「民間BS」を「社会人大学院」に置き換え）を行っている。

以下ではまず、両調査の回答者が、自由記述においてどのような点について回答しているのかについて、回答内容を筆者の設定した項目に分類しながら示す。これによって、それぞれの教育機関における教育・学習や終了（修了）後のキャリアなどについて、回答者がどのような関心を抱いているのかについて明らかにする。続いて、分類した各項目について、それぞれ回答結果にどのような特徴がみられるのかを、再び項目を設定して分類した上で分析を行い、両教育機関で学んだ者たちの志向性の違いについて明らかにする。なお、第3章に引き続いて本章でも、両調査における回答者の専門分野を統制するため、社会人大学院調査については、修士課程で経営・商学系を専攻した者（372名）のみを分析対象としている。

自由記述によるすべての回答内容は、本田編（2003b）の100-149頁（ただし、経営・商学系を専攻した者以外のすべての回答者の回答を含む）、および本書の自由記述に掲載してある。

1. 分析の目的と方法

両調査の自由記述の設問では、上の文言からも分かるように、回答者各人の学んだビジネス教育機関やキャリアに関することであれば記述すべき対象を限定することなく、回答者の「感じて」いることについて自由に意見を寄せてもらうことを目的としている。そのため、回答は、言及する対象、記述の量、叙述の仕方、内容の深さなどの点で多岐にわたっている。このような性格の回答について、選択肢による回答と同じようなかたちでの数量的な整理・分析を行うことは容易でないし、それは自由記述という設問の本来の性格にも馴染まない。このようなタイプの設問は本来、数量的データには還元できない、回答者の体験や実感に根差した情報を文脈依存的なかたちで伝えてもらい、調査者がその文脈をできるだけリアルに感じ取ることで、

調査対象に対する立体的な理解に近づこうとするところにそもそもの意図があるはずだからである。このような意味で、自由記述による回答内容をそれぞれで「分析」するということは、はじめから困難な側面を持っている。

以上のような条件を考慮した上で、しかし本章では、あえて自由記述の回答内容を数量的なデータに還元して分析することを試みる。その理由はまず、記述の「内容」自体ではなく、「何について」記述しているのかを探ることで、民間BSと社会人大学院の終了（修了）者の関心の置き所を、全般的な傾向として比較することが可能となるからである。選択肢による設問では、何について尋ねるのかは調査者によってあらかじめ規定されている。回答者の側からすれば、尋ねられている項目自体が自身にとって重要か否かにはまったく関係なく、調査者の関心に沿って問われることに対して指定された選択肢からいずれかを選ぶという形式であり、この意味で回答者は受身的な立場に置かれている。これに対して、自由記述回答では、回答者にとって重要でない事項には触れる必要がない。逆に、各自が最も強く感じている、あるいは最も関心を持っていることがまず記述されるはずである。そのため、何について書いているのかという点を調べることで、どのような事項が回答者にとって重要と考えられているのかを測るひとつの指標として用いることができる。

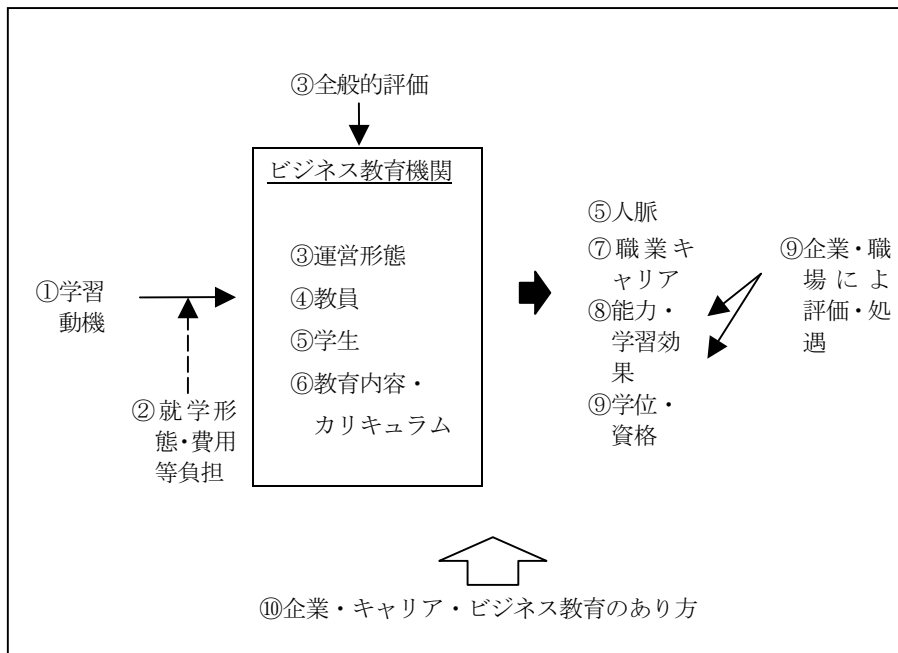
いまひとつの理由は、自由記述回答の分析方法が十分に定まっていないということに関係している。本章で行う分析は、ひとつの回答を、分析者が設定した項目に沿って分割・分類するという手法をとっているが、この手法は、回答の持つ文脈性をかなりの程度無視する結果となってしまう。先にも述べたが、自由回答の特徴はその文脈依存的なリアルさにあり、選択肢回答では定型化せざるを得ない事項について、回答者自身の言葉を読み取ることができる点にある。この意味で、本章での分析は自由回答の持つ最大の持ち味を犠牲にしている。だが一方で、その持ち味をいかにして活かすのかという点もまた自明ではない。最も単純でしばしばみられるのは、本章の資料編のように、回答結果をそのまま提示するというやり方であり、回答内容に関心を持つ読者にとっては生きた素材が提供されるという意味で最も親切な方法かもしれない。しかし、ひとたびそこから何をどう読み取るのかに踏み出そうとすると、素材に何らかの加工を加えざるを得ない。そして、その加工プロセスにおいては、分析者の特定の視点を付加することになる。本章の分析は、その際にどのような視点が考えられるのかを探索しようとするひとつの試みである。もとより、本章の分析内容を超えた先の見通しが明確にあるわけではないが、ひとまず回答内容全体を俯瞰し得るような見取り図を描くことを試み、それによって回答の質的な内容を生かす方法を探ろうとするのである。

2. 分類項目の設定

設問の意図を踏まえ、また、実際の回答内容をあらかじめ検討した上で、筆者は図表 4-1 のような分類枠組みを設定した。まず、ビジネス教育を受けるに際しての前提条件を構成する要

素として、学習動機 (①) と就学形態・費用等の負担 (②) がある。次に、ビジネス教育機関に対する評価や感想があり、それは、運営形態 (③)、教員 (④)、周囲の学生 (⑤)、教育内容・カリキュラム (⑥) といった要素によって構成される。また、ここにはビジネス教育機関に対する全般的評価 (③) も含まれる。「運営形態」と「全般的評価」に同じ分類番号を宛てているのは、両者のどちらかのみで分類することが困難な回答が多いため、むしろ両者を包括した方が分類の有効性が高いと判断し、また、はじめから分類項目を細分化することを避けるためである。さて、そのような要素によって構成されるビジネス教育を受けた結果得られるものが、人脈 (⑤)、職業キャリア (⑦)、能力・学習効果 (⑧)、学位・資格 (⑨) である。「周囲の学生」と「人脈」とを同じ項目にしているが、これも両者が含まれたかたちの回答が多く、分析が煩雑になるのをひとまず避けるためである (以下、同じ番号を宛てている項目は同様の理由による)。また、そのうち特に、能力・知識、学位・資格に対しては、それらが企業や職場においてどのように評価され、どのような処遇を受けるのか (⑨) という点に関する回答がみられる。さらに、企業、職業キャリア、ビジネス教育のあり方などをマクロな視点から論じた回答もあった (⑩)。以上のいずれの項目にも分類することが困難な回答は、「⑪その他」として分類している。以上の枠組みに沿って、分類項目は図表 4-2 にみるような 11 項目を設定した。

図表 4-1 自由記述回答の分類項目と構造



3. 全般的回答傾向

回答割合と記述量

上で設定した項目に両調査の回答内容を分類した結果が図表 4-2 である。ひとつの回答に複数の内容が含まれる場合は、複数の項目に分類してある。そのため、分類項目ごとの「総計」は「自由記述回答者数」を上回っている。民間 BS 調査では回答者全体（704 名）のうち、自由記述に何らかの回答をした者が 276 名（ただし、「特になし」などと回答した 9 名を除く）であり、回答割合は 39.2%であった。一方、社会人大学院調査では、全体の回答者 372 名に対し、自由記述回答者は 197 名、回答割合は 53.0%であった。このように、自由記述に対する回答割合は社会人大学院の方が高かった。また、社会人大学院調査の回答の方が、民間 BS 調査の回答よりも全般的に記述量が多いという傾向がみられた。これらの点には、両調査の手法の違いという技術的な要因が影響しているのかもしれない。というのは、社会人大学院調査が郵送によって行われたのに対し、民間 BS 調査は web 上で行われたからである。前者の手法による方が、回答へのインセンティブが高くなると同時に、回答者の目からは調査の重みが異なってみえる可能性も考えられるからである。また、他の要因として考えられるのは、社会人大学院の調査対象者の方が就学期間が長い場合が多く、その分、自由記述で回答したくなるような内容・経験を多く持つことになるのではないかということである。このような事情も反映して、1 回答当たりの平均該当項目数は、民間 BS が 2.0 項目、社会人大学院は 2.2 項目であった。

図表 4-2 自由回答の項目分類と概要

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|-------------------------------|--------|---------------------|------|---------------------|
| | 回答数 | 回答者数 (C) に対する割合 (%) | 回答数 | 回答者数 (C) に対する割合 (%) |
| ①学習動機 | 13 | 6.6 | 13 | 4.7 |
| ②就学形態・費用等負担 | 20 | 10.2 | 24 | 8.7 |
| ③教育機関の運営形態・全般的評価 | 31 | 15.7 | 39 | 14.1 |
| ④教員 | 34 | 17.3 | 30 | 10.9 |
| ⑤周囲の学生・人脈 | 41 | 20.8 | 77 | 27.9 |
| ⑥教育内容・カリキュラム | 37 | 18.8 | 66 | 23.9 |
| ⑦終了（修了）後の自身のキャリア | 41 | 20.8 | 90 | 32.6 |
| ⑧身についた能力・学習効果 | 83 | 42.1 | 122 | 44.2 |
| ⑨企業・職場における評価・処遇 | 51 | 25.9 | 17 | 6.2 |
| ⑩企業・キャリア・ビジネス教育のあり方 | 58 | 29.4 | 42 | 15.2 |
| ⑪その他 | 28 | 14.2 | 26 | 9.4 |
| 総計 | … (A) | 437 | 546 | |
| 調査回答者数 | … (B) | 372 | 704 | |
| 自由記述回答者数 | … (C) | 197 | 276 | |
| 回答割合 ((C) の (B) に対する割合 (%)) | | 53.0 | 39.2 | |
| 一人当たり平均該当項目数 (=A/C) | | 2.2 | 2.0 | |

項目ごとの回答割合の比較

さて、図表 4-2 をみながら、両調査の回答傾向を比較すると、いくつか興味深い点が指摘できる。図表 4-2 に示した「回答者数に対する割合」は、自由記述回答者数のうち当該項目に回答した者がどのくらいいるかを示したものである。

民間 BS 調査で、最も回答の多かった項目は、「⑧身についた能力・学習効果」であった。半数近くの回答者が何らかのかたちでこの項目に触れている。次いで多かったのが、「⑦終了（修了）後の自身のキャリア」であった。また、3 番目に多かったのは、「⑤周囲の学生・人脈」であった。一方、社会人大学院調査では、最も回答が多かったのは、民間 BS と同様に「⑧身についた能力・学習効果」であり、4 割強の者が回答している。この点について両調査の回答者の最大の関心の置き所は共通しているといえる。だが、社会人大学院の場合、2 番目に多かったのは、「⑩企業・キャリア・ビジネス教育のあり方」であり、また、3 番目に多かったのは、「⑨企業・職場における評価・処遇」であった。この 2 点については民間 BS 調査との格差が非常に大きく出る結果となっている。他方、民間 BS では回答の多かった「⑦終了（修了）後の自身のキャリア」、「⑤周囲の学生・人脈」は、社会人大学院ではいずれも 2 割程度とそれほど多くはない。逆に、「④教員」に対しては 2 割弱の回答ではあるが、民間 BS の回答割合を上回っている。また、「①学習動機」、「②就学形態・費用等負担」、「③教育機関の運営形態・全般的評価」についても、ともに社会人大学院の方が若干だが回答割合が高い。逆に、「⑥教育内容・カリキュラム」は両者でともに 2 割程度だが、若干民間 BS の方が高かった。

以上のように、回答内容を項目ごとに分類して比較してみると、両教育機関の終了（修了）者が、能力の習得と教育の効果に最大の関心を抱いているという点では共通しているものの、その他の項目についてみると、そのうちのいくつかでは両者の関心の置き方にかなりの相違があると読み取ることができるものがある。

次節では、項目ごとにもう少し詳細な分類を施しながら、さらに検討を進めてみよう。まずは、両調査で回答割合に顕著な格差のみられた項目から検討を行う。

4. 項目ごとの回答の分析

企業・職場における評価・処遇

両調査の間で、回答割合に最も大きな格差がみられた項目は、「⑨企業・職場における評価・処遇」であった。この項目に符合するような設問は、選択肢による設問としては尋ねられていないが、ビジネス教育に対する見方や学位の評価についてしばしば指摘されるのは、ビジネス教育機関で学んできた内容や取得した学位が企業や職場において十分に評価されず、そのことに修了（終了）者らが不満を抱くといったことである。この項目に分類される回答内容を、さらに詳細な項目に分類した結果が図表 4-3 である²⁾。「学位・能力が認知・評価されない」が民間 BS で 65%、社会人大学院で 75%を占め、いずれの場合でも上記の点を指摘したものが多く

を占めることが分かる。もっとも、表には示していないが、もう少し厳密にみてみると、指摘されている点には、大きく、取得した学位が評価されないことを指摘しているものと、身に付けた能力を企業や職場が評価していない、あるいはどのように活用してよいか分かっていないという2点がみられた。これに対して、学位や学んだ内容が何らかのかたちで評価されたと回答したのは、ともに10%程度である。このように、学位や能力の評価・処遇という点について回答内容の項目別割合や回答内容自体をみると、民間BSと社会人大学院との間に大きな違いはない。

図表 4-3 企業・職場における評価・処遇

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|-----------------|--------|----------------|------|----------------|
| | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) |
| 学位・能力が認知・評価された | 5 | 9.8 | 2 | 11.8 |
| 学位・能力が認知・評価されない | 38 | 74.5 | 11 | 64.7 |
| 外資系企業における認知・評価 | 6 | 11.8 | 1 | 5.9 |
| 将来における認知・評価への期待 | 5 | 9.8 | 1 | 5.9 |
| その他 | 0 | 0.0 | 2 | 11.8 |
| 全体の回答数 | 51 | | 17 | |

本項目に対して民間BSと社会人大学院との間にみられた回答割合の格差については次のように考えることができる。社会人大学院では、就学者が学位取得を目的として入学しており、また民間BSに比して、就学が長期にわたる場合が多いため、上のような企業や職場内における評価・処遇の実態が、民間BSの終了者以上に切実な問題であることが挙げられる³⁾。さらに第3章でも触れている通り、民間BSの場合、企業派遣による就学者が多い(回答者全体の65.0%)が、社会人大学院では自費による就学者が多い(88.5%)。そのため、後者では就学に関して職場の理解が得られないケースが多く、また、学んだ内容を職務にどう反映させるかという点において葛藤がより大きくなるのではないかと考えられる。これらの点が、社会人大学院において本項目への言及が多かった背景にあると考えられる。

また、図表4-3にみられる両者の回答傾向の違いとして挙げられるのが、「外資系企業における認知・評価」と「将来における認知・評価への期待」である。外資系企業について特に項目を設けたのは、社会人大学院でこれに触れる回答が一部みられたからである。これらの回答はいずれも、外資系企業では日本企業と違って、MBAが一種の資格のようなかたちで機能していると指摘しており、外資系企業と日本企業との処遇の違いが改めて浮き彫りとなっている。また、「将来における期待」として、今後は日本企業においても、MBAのような学位やビジネス教育機関で学んだ内容が評価されるようになるのではないかと述べた回答も、同じく社会人大学院の側に一部みられた。

企業・キャリア・ビジネス教育のあり方

続いて、両調査の回答割合に大きな格差がみられたのが、「⑩企業・キャリア・ビジネス教育のあり方」であった。この項目については、項目名からも予想できるように、記述内容は多岐にわたっており、さらに一つ一つの回答の持つ文脈性も強いいため、他の項目以上に、細分化した分類は困難であった。しかしここでも、図表 4-4 の如く、回答者が何について記述しているのかを基準とした分類を試みた。もっとも、ここに掲げた 3 つの分類項目は相互に深く結びついた関係にある。ここで行った分類は、あくまで表面に現れた言葉のみを捉えたものであり、その意味で便宜的な分類という側面を持っている。例えば、ビジネス教育機関への就学目的はいうまでもなく、ビジネスで求められている能力を身に付けることにあるはずで、その意味で、「キャリアのあり方」と「ビジネス教育のあり方」の両項目は表裏の関係にある。そのため、これらの項目を性格の異なるものとして明確に区分することが容易でないことは踏まえておく必要がある。

図表 4-4 企業・キャリア・ビジネス教育のあり方

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|----------------------|--------|----------------|------|----------------|
| | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) |
| 企業の現状・経営形態のあり方・方向性など | 7 | 12.1 | 7 | 16.7 |
| キャリアのあり方・求められる能力など | 10 | 17.2 | 17 | 40.5 |
| ビジネス教育（機関）のあり方・方向性など | 52 | 89.7 | 24 | 57.1 |
| その他 | 1 | 1.7 | 0 | 0.0 |
| 全体の回答数 | 58 | | 42 | |

しかしながら同時に、そこから読み取ることのできる特徴も小さくはない。それは、社会人大学院では、回答の 9 割が「ビジネス教育（機関）のあり方・方向性」に直接触れていることである。それに対して、民間 BS の側では、この項目は 6 割弱であり、その分、「キャリアのあり方・求められる能力」に触れた回答が 4 割にのぼっている。ここで指摘できるのは、社会人大学院では、大学院に焦点化したかたちの記述を取っていることが多いのに対し、民間 BS では、むしろビジネス教育（機関）のあり方を、キャリアのあり方と結び付けたかたちで記述する傾向がみられるということである。キャリアや能力形成に対して関心を持っているという点は同じでも、社会人大学院の場合には、大学院で学ぶことをキャリア形成の重要な手段と捉える傾向がより強く現れているということがいえるかもしれない。加えて、社会人大学院調査の回答者のうち約半数が、在学中に休職・退職などにより一時的に就業を中断していた（本田編 2003b, 33 頁）のに対して、民間 BS の場合、フルタイムで仕事を継続したまま就学するケースがほとんどであり、そのことが、民間 BS での能力形成を社会人大学院の場合ほど他の要素から独立したものとして捉えないという意識を反映しているのかもしれない。

終了（修了）後の自身のキャリア

以上の2項目とは反対に、民間BSの方で回答割合が高く、社会人大学院との間で格差がみられた項目が、「⑦終了（修了）後の自身のキャリア」である。この項目に分類されているのは、回答者各人の終了（修了）後のキャリアの変遷やそれに対する個人的な考え・感想などについて記述したものである。社会人大学院では、この項目が少ない分、上でみた「⑧企業・職場における評価・処遇」、「⑨企業・キャリア・ビジネス教育のあり方」が多くなっているという見方もできる。設問では、「ご自身のキャリアについて」と尋ねているから、民間BSに多くみられた回答のように、個人のキャリアについてストレートに触れる方が、答え方としてはむしろ自然であるといえる。しかし、社会人大学院の回答は必ずしもそうではない。これは、彼らが、自身のキャリアをより広い文脈の中で捉え直そうとする志向を持っているということがいえるのではないだろうか。上記のように、社会人大学院の方が就学期間が長く、それゆえコストも高く、また周囲との葛藤・軋轢も大きいと考えられるため、そのような条件が、彼らをしてそのような志向に向かわしめるという側面があると考えられる。もっともここには、すでに触れた、調査方法の違いによる回答インセンティブの格差が反映されているであろうことも技術的要因として考慮しておく必要がある。つまり、社会人大学院の回答の方がより熟考した上で回答している可能性があるということである。だが、このような条件を考慮してもなお、両者の志向性の違いがこのような点に垣間見えることは興味深い。

教員

次に、ビジネス教育機関における人的インフラである教員と学生、ないしは彼らとの交流・人脈形成という点について検討してみよう。民間BSと社会人大学院の回答状況を改めて比較すると、「⑤周囲の学生・人脈」の項目は、民間BSの方が回答割合が高いが、逆に「④教員」は社会人大学院の方が高かった。教員に関する記述が民間BSで少ない理由はおそらく、民間BSでは、授業内容があらかじめかなりの程度標準化され、教員の役割が、その内容に沿って授業を導き、展開させるという部分に比較的限定されているからであろう。一方で、社会人大学院の場合は、授業内容に関する組織的統制が弱く、授業における各担当教員の裁量が大きいため、受講生にとっては、授業内容自体に対する評価が教員に対する評価に直結しやすいものと考えられる。もっとも、回答の中には、民間BSにおいても教員の質によって授業内容やそれによって身につく能力が左右されることを示唆する記述も少なくなく、第3章で指摘されている教育の質保証に関する取組が重視されている理由の一端が垣間見える。

さて、教員に関する回答内容を詳細な項目に分類したものが、図表4-5である。ここでは、教員に対する評価の仕方を基準に分類を試みている。一見して明らかのように、両調査の回答内容には大きな隔たりがみられる。具体的には、民間BSでは教員に関する記述の大部分が肯定的評価に結びつく表現をとっているのに対し、社会人大学院では肯定的評価を示す内容はほとんどなく、逆に半数近くが何らかの否定的評価を示している。また後者では、「教員のあり方

図表 4-5 教員

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|--------------|--------|----------------|------|----------------|
| | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) |
| 肯定的評価 | 4 | 11.8 | 21 | 70.0 |
| 否定的評価 | 15 | 44.1 | 11 | 36.7 |
| 教員との人的交流 | 6 | 17.6 | 2 | 6.7 |
| 教員のあり方に関する提言 | 12 | 35.3 | 0 | 0.0 |
| 全体の回答数 | 34 | | 30 | |

に関する提言」と分類できるような内容が多かったのに対し、前者ではそのような内容は皆無であり、この点でも対照的であった。端的にみるとこれらの点は、社会人大学院教員の教育能力に関して、改善の余地が大きいことを示しているといえる。特に多くみられた指摘は、企業等での就業経験のある学生からみて、教員が職務の現実を十分に踏まえていないというものであったり、これまで学士課程段階で伝統的な若年学生を相手に教育を行ってきた教員が多いため、社会人学生を相手にした教授法に習熟していない、彼らの需要を十分に汲み取ることができないといったものである。しかし一方で、今後の提言的な記述が多いことにも表れているように、以上の回答結果は社会人大学院教員（ひいては社会人大学院そのもの）に対する期待の裏返しと見方もできる。一方、民間BSについても否定的評価は少ないとはいえないものの、7割を肯定的評価が占めていることを踏まえれば、上述した教育の質を確保しようとする取組がある程度功を奏しているとの見方ができるだろう。

周囲の学生・人脈

「⑤周囲の学生・人脈」については民間BSで回答割合が高かった。このことは、民間BSでは、他の項目に比べて、周囲の学生の存在が学習におけるより重要なファクターとして捉えられていると読み取ることができる。

しかしながら、上で教員に対してみた回答結果は、学生については逆転現象がみとれる。回答内容を詳細項目に分類した図表4-6を、まず民間BSについてみてみると、周囲の学生に

図表 4-6 周囲の学生・人脈

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|---------------|--------|----------------|------|----------------|
| | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) |
| 肯定的評価 | 15 | 36.6 | 41 | 53.2 |
| 否定的評価 | 6 | 14.6 | 26 | 33.8 |
| 終了（修了）後の人脈・交流 | 18 | 43.9 | 12 | 15.6 |
| 学生のあり方に関する提言 | 6 | 14.6 | 4 | 5.2 |
| その他 | 2 | 4.9 | 2 | 2.6 |
| 全体の回答数 | 41 | | 77 | |

対する否定的評価が3分の1を占めている。社会人大学院では否定的評価は15%に過ぎない。一方、「肯定的評価」の項目の数値は民間BSの方が高いが、これは、「終了（修了）後の人脈・交流」について別項目を立てているからである。後者の項目に分類される内容はすべて、終了（修了）後の人脈や交流が「有意義である」と評価しており、肯定的評価に分類することも可能な内容となっている。社会人大学院では民間BSに比べて、この項目に該当する回答が非常に多い。この項目を加えた肯定的評価全体（つまり、「肯定的評価」と「終了（修了）後の人脈・交流」の合計）では、民間BS 69%、社会人大学院 81%となる。

民間BSで周囲の学生に対する否定的評価が多く見受けられる背景には、入学に際して選抜をまったく行わないため、受講者の問題意識や認識の水準、あるいはバックグラウンドやBSに求めるものが多様となり、その結果、受講者間の凝集性が確保しにくくなることがあると考えられ、実際にこの点を指摘した回答が多かった。しかも、民間BSの授業形態は受講者間のディスカッションを中心としたものであるため、上のような条件により、議論のレベルが一定に保ちにくく、あるいは受講者の関心が拡散してしまうといった指摘も多くみられた。また、周囲の学生の受講姿勢を問題視するような回答も少なくなかった。

また、民間BSにおいては、全体として肯定的評価が社会人大学院より低いというだけでなく、学生間の交流・人脈形成に触れたものが相対的に少ないという違いもあった。「肯定的評価」の項目に分類した内容のうち最も多かったのは、「他企業・異業種の人々との議論を通して刺激を受けた」といった内容であり、より踏み込んだ具体的レベルでの記述は多くなかった。この点はやはり、社会人大学院と比較した場合、就学期間やコミットメントの深さの違いと合わせて、社会人大学院では一種の同級生的な結び付きが強くなるのが容易に想像できるところである。そしてそれが、修了後の交流・人脈としてのつながりの強さにも反映されていると考えられるだろう。民間BSでは、先に述べたように、他の項目に比べて学生に関する回答割合が高いことを考え合わせれば、周囲の学生の存在と彼らとの相互作用が学習効果や満足度などに対して影響を及ぼす重要なファクターであると考えられる。そのことからすればなおのこと、民間BSにとって、学生間の凝集性を高め、あるいは学生相互の刺激と交流をどう促進するのは重要な課題であるといえることができるだろう。

教育内容・カリキュラム

教育内容やカリキュラムについては、民間BS、社会人大学院ともに2割前後の者が回答の中で触れている。ビジネス教育機関におけるインプット条件を構成する中核的な要素である教員、学生と回答割合について比較すると、民間BSでは、学生ほどではないが、教員よりも重要な要素とみなされている。社会人大学院では、学生・教員とほぼ同等の重要性を持つとみなされている。さて、この項目についても、教員や学生の項目と同様の項目を立てて分類を行った。その結果が図表4-7である。まず民間BSでは、肯定的評価が過半数を占め、否定的評価が3割弱、提言が2割弱であった。これに対して、社会人大学院では、肯定的評価は2割強に

図表 4-7 教育内容・カリキュラム

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|-----------------------|--------|----------------|------|----------------|
| | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) |
| 肯定的評価 | 8 | 21.6 | 36 | 54.5 |
| 否定的評価 | 7 | 18.9 | 18 | 27.3 |
| 教育内容・カリキュラムのあり方に関する提言 | 22 | 59.5 | 11 | 16.7 |
| その他 | 1 | 2.7 | 3 | 4.5 |
| 全体の回答数 | 37 | | 66 | |

過ぎず、また否定的評価も 2 割以下と少ない。その分、6 割を占めたのが、提言に関わる項目であった。数値の構成こそ違いがあるが、民間 BS と社会人大学院の比較という観点からみると、教員に関する分類と類似の傾向がみとれる。つまり、ここでも指摘できるのは、社会人大学院の側における教育内容・カリキュラムの改善の必要性である。しかし、この項目に関する両者の比較については留意しておくべき重要な点がある。

民間 BS の場合、就学の決定は科目ごとに行われる。そのため、就学者が自己の必要性に応じて、かなりターゲットを絞ったかたちで科目選択を行うことが可能である。逆に、社会人大学院の場合には、学位取得のためには、(選択の幅はあっても)一定量の科目数を各自の直接的な必要性とは関係なく履修しなければならない。つまり、両教育機関の就学形態の中に、すでに就学者の評価に直接的な影響を及ぼす要因があるのである。本項目は「教育内容・カリキュラム」と一括りにしているが、民間 BS については科目ごとの教育内容が、社会人大学院については科目ごとの内容を含みつつも体系としてのカリキュラム全体が、評価対象となっている可能性が高いのである。回答の中では、それぞれの内容がそのどちらを指しているのかが明示されることは多くないので、便宜上、ここでは教育内容とカリキュラムとを包括した大きな括弧を設定せざるを得ないが、このような本質的な違いがあることに留意する必要がある。もっとも、社会人大学院がそもそもそのような体系を構築することを目指す教育機関であることを前提にすれば、その改善の必要性(と、おそらくは可能性)が指摘されていること自体は重要である。一方、民間 BS については、履修科目数等と絡めた、より厳密な分析を行うことでその改善点がより鮮明になるのかもしれない。

教育機関の運営形態・全般的評価

続いて、ビジネス教育機関の運営形態や全般的評価に関してだが、ここでも民間 BS と社会人大学院とで顕著な違いがみられた。結果をまとめた図表 4-8 をまず、民間 BS についてみると、肯定的評価が 6 割弱を占め、それに対して否定的評価・問題点の指摘は 3 割であった。ビジネス教育機関のあり方に関する提言もそれと同程度であった。これに対して、社会人大学院の場合、肯定的評価は 2 割にとどまり、否定的評価が 4 割を占めた。さらに最も顕著なのが、提言が 3 分の 2 を占めていることである。このような結果をみると、社会人大学院の側にさま

図表 4-8 教育機関の運営形態・全般的評価

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|--------------------|--------|----------------|------|----------------|
| | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) |
| 肯定的評価 | 6 | 19.4 | 22 | 56.4 |
| 否定的評価・問題点の指摘 | 13 | 41.9 | 12 | 30.8 |
| ビジネス教育機関のあり方に関する提言 | 21 | 67.7 | 11 | 28.2 |
| その他 | 0 | 0.0 | 3 | 7.7 |
| 全体の回答数 | 31 | | 39 | |

さまざまな面で改善の余地があることが分かる。もっともそれは、教員、および教育内容・カリキュラムに関する項目のところでも指摘したが、今後の発展への期待を表しているともみることができる。また、民間 BS との比較で言えば、単純にどちらが学生の満足を高めているかという表面的な比較よりも、社会人大学院の場合、就学期間が長くなることで大学院との関係が濃密なものとなり、その分、そのあり方に対して要求する水準が高くなる、注文を出したくなる点が多くなるといった側面があるであろうことを考慮しておかなければならない。

学習動機と就学形態・費用等負担

次に、ビジネス教育機関への就学の前条件をなす、「①学習動機」と「②就学形態・費用等負担」の両項目については、その詳細分類を図表 4-9、4-10 に示している。これらはともに回答数が少ないこともあって、民間 BS と社会人大学院との格差として特に指摘できるような点はなかった。

図表 4-9 学習動機

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|----------------|--------|----------------|------|----------------|
| | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) |
| キャリアを高める・転職・独立 | 2 | 15.4 | 3 | 23.1 |
| 学位・資格の取得 | 1 | 7.7 | 0 | 0.0 |
| 知識の理論化 | 5 | 38.5 | 3 | 23.1 |
| 特定の知識内容 | 2 | 15.4 | 3 | 23.1 |
| 刺激を求める | 2 | 15.4 | 0 | 0.0 |
| 大学院への進学 | — | — | 2 | 15.4 |
| その他 | 2 | 15.4 | 3 | 23.1 |
| 全体の回答数 | 13 | | 13 | |

図表 4-10 就学形態・費用等負担

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|-------------------|--------|----------------|------|----------------|
| | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) |
| 費用負担大きい | 7 | 35.0 | 10 | 41.7 |
| 時間的負担大きい・奨学金等の必要性 | 5 | 25.0 | 9 | 37.5 |
| 会社派遣によって就学 | 9 | 45.0 | 6 | 25.0 |
| 自費で就学 | 2 | 10.0 | 2 | 8.3 |
| その他 | 0 | 0.0 | 2 | 8.3 |
| 全体の回答数 | 20 | | 24 | |

身についた能力・学習効果

さて、最後に分析する項目は、両調査で最も回答割合の高かった「身についた能力・学習効果」である。ここでは、図表 4-11 にみるような項目を設定して分類を行った。まず、民間 BS では、「論理性・思考力・分析力・視野」が 4 割と最も多かった。次いで、「仕事上の変化」、「態度・姿勢・自己啓発」、「知識・スキル」が 2 割強であった。これに対して、社会人大学院では、「論理性・思考力・分析力・視野」と「態度・姿勢・自己啓発」がともに 3 割強で最も高く、「仕事上の変化」は 2 割、「知識・スキル」は 2 割弱であった⁴⁾。項目ごとに民間 BS と社会人大学院を比較すると、「態度・姿勢・自己啓発」では社会人大学院が優勢だが、それ以外ではいずれも民間 BS が優勢である。ただし、社会人大学院の場合に特徴的なのは、上記いずれの項目にも分類するのが困難な「全般的効用・その他」の項目に該当する回答が多かったことである。この項目に含まれているのは、能力や効果の内容が特に明示されていないため、この項目に分類せざるを得ないものと同時に、回答内容が強い文脈性・独自性を持っているために、上記項目のいずれかに分類するのがためらわれたものがある。筆者が設定した項目は、自由記述回答の分類という性格を考慮して、あまり限定的なものではなく、しばしばみられるような割と汎用性が認められるものになっている。しかし、社会人大学院の回答内容をみると、そのよう

図表 4-11 身についた能力・学習効果

| | 社会人大学院 | | 民間BS | |
|----------------|--------|----------------|------|----------------|
| | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) | 回答数 | 「全体」に対する割合 (%) |
| 知識・スキル | 13 | 15.7 | 26 | 21.3 |
| 論理性・思考力・分析力・視野 | 28 | 33.7 | 48 | 39.3 |
| 態度・姿勢・自己啓発 | 26 | 31.3 | 28 | 23.0 |
| キャリアアップ | 6 | 7.2 | 2 | 1.6 |
| 仕事上の変化 | 17 | 20.5 | 31 | 25.4 |
| 否定的評価 | 0 | 0.0 | 4 | 3.3 |
| 全般的効用・その他 | 19 | 22.9 | 4 | 3.3 |
| 全体の回答数 | 83 | | 122 | |

な単純な能力の分類には収まりきらないようなものがあることが感じられる。

このようなことから、この項目に関しては両者の回答傾向を単純に比較することはできない。また、第 3 章でも指摘があるように、「能力が身についた」といった自己評価が同等に行われたとしても、その内実は異なり得る。これらのことが示唆しているのは、本項目で設定したような単純な分類項目を再考する必要性とともに、そもそもビジネス教育によって獲得される能力がどのような性格を持つものなのか、またそれを測るためにはどのような手法が考えられるのかといった問題である。

5. まとめと課題

以上、本章では、自由記述回答の内容を、記述項目への分類という手法を用いて分析してきた。すでに述べてきたように、この手法によって、民間 BS 終了者と社会人大学院修了者の志向性の違いを、項目ごとにある程度明らかにすることができた。両者の比較という観点からみて特徴的であった点を以下でいくつかまとめてみる。

- (1) 社会人大学院修了者は、企業や職場における評価・処遇に敏感である。それは彼らが長期の就学を通して学位を取得するからであろう。また、彼らは民間 BS の終了者に比べて、ビジネス教育の機会をキャリア形成の重要な手段と捉える傾向が窺える。
- (2) 社会人大学院修了者は、企業や職業キャリア、ビジネス教育のあり方について、幅広い視野から捉えようとする志向性がみられる。これに対して、民間 BS 終了者は自身の個人的キャリアに関心を持つ傾向がみられる。
- (3) ビジネス教育機関に対する評価では、民間 BS では、周囲の学生に対する関心が高いが、同時に彼らに対する評価は低い。これとは逆に、社会人大学院では、教員に対する関心が高いが、彼らに対する評価は低い。また、教育内容とカリキュラムについては、民間 BS の方が評価が高いが、そこには両教育機関の就学構造の違いという点を考慮する必要がある。しかし全体としては、社会人大学院の側により多くの改善を求める意見がみられる。そしてそれは、同時に社会人大学院の発展可能性、あるいは機能の拡大に対する期待とみることができるともかもしれない。
- (4) ビジネス教育を通して身につける能力は、能力のタイプによってその優位性に違いがあるように受け取れる側面もあるが、能力をどのように捉えるかという点について課題がある。

最後に、本章を通じた課題をいくつか提示しておきたい。まず、本章では、項目別に分類して分析することを主眼としたが、項目間の区別には曖昧な側面が残されている。すでに述べたように、本章の分析はこの点を前提に行ったものである。つまり、項目の立て方、分類の方法

は多様に存在する。本章で設定した項目に沿うことで、一定の枠組みの中で回答の傾向を明らかにすることができたが、異なった方法で回答内容を切り取ったとき、何が見えてくるのか。それによって、上でまとめた事項も解釈し直す余地があるかもしれない。

次に、より踏み込んだ分析を行うためには、回答が「何について」書かれているかだけでなく、その内容をいかにして分析し得るのかを考えなければならない。その手掛かりとして考えられることは2つある。ひとつは、本章の分析は項目ごとのレベルにとどまっているが、項目間の関連についても分析を進めることである。いまひとつは、本書の第3章で検討されているような、選択肢による回答内容との重層的な関係の中で自由回答の内容を捉え返すことである。この点ではすでに本田編（2003a）の中で、対象を絞ったかたちでの分析が行われており、参考になる（第6章）。

質問紙調査では、選択肢による回答の定量的分析に主眼が置かれ、自由回答は付加的な位置づけにとどまることが多い。質的分析としてはインタビュー調査の方が主流であり、そのような質的分析と定量的分析との狭間で、自由記述回答の役割は明確な位置づけを与えられてはいない。それは本章でも繰り返し確認せざるを得なかったように、自由記述の分析が、多分に曖昧さや揺れを含んだものであるからであろう。だが、本章で対象とした2つの調査のように、きわめて豊かな内容を提供してくれる回答は少なくない。今後、その活用法がより精密に検討される余地がある。

注

- 1) いうまでもなく、以上の項目分類は絶対的なものではない。分類番号の異なる項目の間でも、回答をそのどちらに分類するのが適当かは、微妙なものが少なくないし、また分類する者の見方によっても異なりうる。それは自由回答という設問の性格上、ある程度避けられないことである。ただし、できる限り分類の際のぶれを少なくする必要はあり、そのため分類作業は複数回行っている。
- 2) 表中の「全体」に対する割合は、この項目に分類される回答数全体に対するものである。1つの回答内に複数の詳細項目に分類される内容が含まれる場合があるため、回答数の総計と「全体の回答数」の数値は一致しない。これは後に検討する諸項目についても同様である。
- 3) もっとも、民間BSにおいても海外の大学との連携によりMBAを授与する課程が併設されており、それを反映して民間BS調査の回答でも、学位やMBAへ言及したものがみられる。
- 4) なお、「キャリアアップ」の項目には、キャリアアップをビジネス教育の効果として読み取れるものだけをピックアップしている。また、両調査で「否定的評価」が非常に少ないのは、項目の性格上、身につかなかった能力や学習効果の得られなかった点には触れられることが少ないからである。これらビジネス教育の不足点と考えられるものは、ビジネス教育機関に対する否定的評価という表現が採られることが多く、そのため、教員、教育内容・カリキュラム、教育機関の運営形態・全般的評価などの項目に分類されている。

参考文献

- 本田由紀編 2003a『社会人大学院修了者の職業キャリアと大学院教育のレリバンス（分析編）』
東京大学社会科学研究所研究シリーズ No.7、東京大学社会科学研究所。
- 本田由紀編 2003b『社会人大学院修了者の職業キャリアと大学院教育のレリバンス（資料編）』
東京大学社会科学研究所研究シリーズ No.10、東京大学社会科学研究所。

資料 A 基礎集計表

※「〇〇〇」は固有名詞を示す。

これまでのお仕事について伺います

問1 あなたはこれまでに仕事をしましたことがありますか。

| | 総計 (N) | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|-------|-----------|-------------|-------------|----------------|---------------|-------------|------------|--------------|--------------|---------------|---------------|------------|
| | | 役員 (703) | 無職 (178) | 主任・係長 (263) | 課長以上 (245) | その他 (16) | 1 (313) | 2～3 (193) | 4以上 (197) | 会社派遣 (363) | 個人受講 (287) | 両方 (53) |
| 1 はい | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 2 いいえ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問2 あなたは、(1)〇〇〇で受講を開始する前、(2)受講中、(3)受講終了後の各時期に、勤め先を変ったことがありますか（独立・開業は除き、転職についてのみお答えください。また向向や公務員の配置換えは含みません）。それぞれに該当するものを選んでください。

| | 総計 (N) | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|---------------|-----------|-------------|-------------|----------------|---------------|-------------|------------|--------------|--------------|---------------|---------------|------------|
| | | 役員 (703) | 無職 (178) | 主任・係長 (263) | 課長以上 (245) | その他 (16) | 1 (313) | 2～3 (193) | 4以上 (197) | 会社派遣 (363) | 個人受講 (287) | 両方 (53) |
| (1)開始前 | | | | | | | | | | | | |
| 1 変わっていない | 84.5 | 89.3 | 88.6 | 77.6 | 75.0 | 87.2 | 85.0 | 79.7 | 90.6 | 75.6 | 90.6 | |
| 2 1回変わった | 10.5 | 9.6 | 7.6 | 14.7 | 6.3 | 9.3 | 9.8 | 13.2 | 6.9 | 15.7 | 7.5 | |
| 3 2回変わった | 3.0 | 1.1 | 2.7 | 4.5 | 6.3 | 1.9 | 4.1 | 3.6 | 1.1 | 5.6 | 1.9 | |
| 4 3回変わった | 1.1 | - | 0.8 | 2.0 | 6.3 | 1.0 | 1.0 | 1.5 | 0.6 | 2.1 | - | |
| 5 4回以上変わった | 0.7 | - | 0.4 | 1.2 | 6.3 | 0.6 | - | 1.5 | 0.8 | 0.7 | - | |
| 6 全く仕事に就いていない | 0.1 | - | - | - | - | - | - | 0.5 | - | 0.3 | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (2)受講中 | | | | | | | | | | | | |
| 1 変わっていない | 97.0 | 98.9 | 97.3 | 96.3 | 87.5 | 100.0 | 99.5 | 89.8 | 100.0 | 92.7 | 100.0 | |
| 2 1回変わった | 2.7 | 1.1 | 2.7 | 2.9 | 12.5 | - | 0.5 | 9.1 | - | 6.6 | - | |
| 3 2回変わった | 0.1 | - | - | 0.4 | - | - | - | 0.5 | - | 0.3 | - | |
| 4 3回変わった | 0.1 | - | - | 0.4 | - | - | - | 0.5 | - | 0.3 | - | |
| 5 4回以上変わった | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 6 全く仕事に就いていない | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (3)終了後 | | | | | | | | | | | | |
| 1 変わっていない | 89.3 | 86.5 | 91.3 | 90.2 | 75.0 | 95.5 | 86.0 | 82.7 | 97.0 | 78.7 | 94.3 | |
| 2 1回変わった | 9.2 | 11.8 | 7.2 | 8.6 | 25.0 | 3.5 | 13.5 | 14.2 | 2.8 | 18.8 | 1.9 | |
| 3 2回変わった | 1.3 | 1.1 | 1.5 | 1.2 | - | 1.0 | 0.5 | 2.5 | 0.3 | 2.4 | 1.9 | |
| 4 3回変わった | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 5 4回以上変わった | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 6 全く仕事に就いていない | 0.1 | 0.6 | - | - | - | - | - | 0.5 | - | - | 1.9 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問3 〇〇〇で受講を開始する際に、直前（もっとも近い時期）までの仕事に変化がありましたか。

| | 総計 (N) | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|-------------------------|-----------|-------------|-------------|----------------|---------------|-------------|------------|--------------|--------------|---------------|---------------|------------|
| | | 役員 (703) | 無職 (178) | 主任・係長 (263) | 課長以上 (245) | その他 (16) | 1 (313) | 2～3 (193) | 4以上 (197) | 会社派遣 (363) | 個人受講 (287) | 両方 (53) |
| 受講前の仕事の変化 | | | | | | | | | | | | |
| 1 何も変化はなかった | 89.3 | 85.4 | 89.7 | 93.1 | 75.0 | 92.3 | 89.6 | 84.3 | 92.6 | 86.4 | 83.0 | |
| 2 仕事を辞めて無職になった | 1.4 | 1.7 | 0.4 | 0.8 | 18.8 | 0.6 | 1.6 | 2.5 | - | 3.1 | 1.9 | |
| 3 受講開始以前は仕事を していなかった | 0.1 | 0.6 | - | - | - | 0.3 | - | - | 0.3 | - | - | |
| 4 その他 | 9.1 | 12.4 | 9.9 | 6.1 | 6.3 | 6.7 | 8.8 | 13.2 | 7.2 | 10.5 | 15.1 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

仕事を辞めて無職になった方に伺います。仕事を辞めた理由は次のうちどれに当てはまりますか。

| | (N) | (10) | (3) | (1) | (2) | (3) | (2) | (3) | (5) | (0) | *** (9) | (1) |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------------|-------|
| 1 自身の都合 | 80.0 | 100.0 | 100.0 | 50.0 | 66.7 | 100.0 | 66.7 | 80.0 | - | 88.9 | - | - |
| 2 会社の都合 | 10.0 | - | - | 50.0 | - | - | - | 20.0 | - | 11.1 | - | - |
| 3 契約期間の終了 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 4 その他 | 10.0 | - | - | - | 33.3 | - | 33.3 | - | - | - | - | 100.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 100.0 |

問4 〇〇〇での受講終了後に、仕事に関して次のどのようなことを経験しましたか。当てはまるもの全てを選んでください。

| | 総計 (N) | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|----------------|-----------|-------------|-------------|----------------|---------------|-------------|------------|--------------|--------------|---------------|---------------|------------|
| | | 役員 (703) | 無職 (178) | 主任・係長 (263) | 課長以上 (245) | その他 (16) | 1 (313) | 2～3 (193) | 4以上 (197) | 会社派遣 (363) | 個人受講 (287) | 両方 (53) |
| 1 特に変化はなかった | 80.2 | 81.5 | 77.9 | 82.9 | 68.8 | 87.5 | 80.3 | 68.5 | 88.7 | 71.1 | 71.7 | |
| 2 独立・開業した | 1.1 | 1.1 | 1.5 | 0.4 | 6.3 | - | - | 4.1 | 0.3 | 2.4 | - | |
| 3 仕事を辞めて無職になった | 1.8 | 1.1 | 2.7 | 0.4 | 18.8 | - | 3.1 | 3.6 | 0.6 | 3.1 | 3.8 | |
| 4 無職から仕事に就いた | 1.6 | 0.6 | 2.7 | 0.8 | 6.3 | - | 1.6 | 4.1 | 0.3 | 3.1 | 1.9 | |
| 5 その他 | 17.6 | 17.4 | 18.3 | 16.7 | 18.8 | 12.8 | 17.1 | 25.9 | 11.0 | 24.0 | 28.3 | |

問5 あなたは現在、仕事に就いていますか。

| 仕事に就いているか否か | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 就いている | 98.4 | 98.3 | 98.5 | 99.2 | 87.5 | 98.7 | 97.4 | 99.0 | 99.7 | 99.7 | 97.2 | 96.2 |
| 2 就いていない | 1.6 | 1.7 | 1.5 | 0.8 | 12.5 | 1.3 | 2.6 | 1.0 | 0.3 | 2.8 | 3.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問6 ○○○で受講を開始する前（最も近い時期）と現在（最も近い時期）の仕事について伺います。

○○○の受講開始前あるいは終了後に仕事に就いていない方は、その欄をとばしてください。

(1)それぞれの職場の業種は何ですか。1つずつ選んでください。

| ○○○の受講開始前の仕事 | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|---------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (286) | (53) |
| ①建設業 | 2.7 | 3.4 | 2.7 | 2.4 | - | 3.5 | 2.1 | 2.0 | 2.2 | 3.1 | 3.8 | |
| ②製造業 | 37.2 | 36.0 | 36.1 | 40.8 | 12.5 | 38.3 | 35.8 | 36.7 | 44.1 | 27.3 | 43.4 | |
| ③電気・ガス・熱供給・水道業 | 3.1 | 2.8 | 2.7 | 4.1 | - | 3.2 | 4.1 | 2.0 | 3.3 | 2.1 | 7.5 | |
| ④運輸・通信業 | 8.8 | 11.2 | 8.7 | 7.3 | 6.3 | 11.5 | 7.3 | 6.1 | 12.4 | 5.2 | 3.8 | |
| ⑤卸売・小売・飲食店 | 7.3 | 6.7 | 5.3 | 9.8 | 6.3 | 5.1 | 7.8 | 10.2 | 5.2 | 10.8 | 1.9 | |
| ⑥金融・保険業 | 8.7 | 6.2 | 12.9 | 6.1 | 6.3 | 7.7 | 7.8 | 11.2 | 8.0 | 9.4 | 9.4 | |
| ⑦情報サービス業 | 16.7 | 16.3 | 16.3 | 16.7 | 25.0 | 17.6 | 17.1 | 14.8 | 14.6 | 19.6 | 15.1 | |
| ⑧医療・福祉サービス業 | 2.3 | 1.1 | 2.7 | 2.9 | - | 1.3 | 3.6 | 2.6 | 2.2 | 2.1 | 3.8 | |
| ⑨教育・研究サービス業 | 1.9 | 2.8 | 1.1 | 1.2 | 12.5 | 2.6 | 0.5 | 2.0 | 1.1 | 2.8 | 1.9 | |
| ⑩法律・会計サービス業 | 0.3 | - | 0.8 | - | - | 0.3 | - | 0.5 | - | 0.7 | - | |
| ⑪その他のサービス業 | 6.3 | 9.0 | 5.3 | 4.1 | 25.0 | 5.4 | 8.8 | 5.1 | 3.9 | 9.4 | 5.7 | |
| ⑫公務（医療・福祉、教育・研究を除く） | 1.1 | 1.1 | 1.9 | 0.4 | - | 0.6 | 1.0 | 2.0 | - | 2.8 | - | |
| ⑬その他 | 3.7 | 3.4 | 3.4 | 4.1 | 6.3 | 2.9 | 4.1 | 4.6 | 3.0 | 4.5 | 3.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 現在の仕事 | (N) | (702) | (117) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| ①建設業 | 2.6 | 3.4 | 2.3 | 2.4 | - | 3.5 | 1.6 | 2.0 | 2.2 | 2.8 | 3.8 | |
| ②製造業 | 35.3 | 35.0 | 34.2 | 38.8 | 6.3 | 38.0 | 32.6 | 33.7 | 43.0 | 24.7 | 40.4 | |
| ③電気・ガス・熱供給・水道業 | 3.1 | 2.8 | 2.7 | 4.1 | - | 3.2 | 4.1 | 2.0 | 3.3 | 2.1 | 7.7 | |
| ④運輸・通信業 | 8.4 | 10.2 | 8.7 | 7.3 | - | 10.9 | 7.8 | 5.1 | 12.1 | 4.9 | 1.9 | |
| ⑤卸売・小売・飲食店 | 7.3 | 5.6 | 5.7 | 9.8 | 12.5 | 4.8 | 8.8 | 9.7 | 5.8 | 10.1 | 1.9 | |
| ⑥金融・保険業 | 7.1 | 5.1 | 11.0 | 4.9 | - | 7.3 | 7.3 | 6.6 | 8.3 | 5.6 | 7.7 | |
| ⑦情報サービス業 | 16.7 | 16.9 | 14.8 | 18.0 | 25.0 | 17.3 | 16.1 | 16.3 | 14.9 | 19.2 | 15.4 | |
| ⑧医療・福祉サービス業 | 3.0 | 1.1 | 4.3 | 3.3 | - | 1.3 | 4.7 | 4.1 | 2.2 | 3.5 | 5.8 | |
| ⑨教育・研究サービス業 | 2.1 | 3.4 | 1.5 | 1.2 | 12.5 | 3.2 | 0.5 | 2.0 | 0.8 | 3.8 | 1.9 | |
| ⑩法律・会計サービス業 | 0.6 | 0.6 | 1.1 | - | - | 0.6 | - | 1.0 | 0.3 | 1.0 | - | |
| ⑪その他のサービス業 | 6.7 | 9.0 | 6.5 | 4.1 | 25.0 | 5.8 | 8.3 | 6.6 | 4.1 | 10.1 | 5.8 | |
| ⑫公務（医療・福祉、教育・研究を除く） | 1.0 | 1.1 | 1.5 | 0.4 | - | 0.6 | 0.5 | 2.0 | - | 2.4 | - | |
| ⑬その他 | 6.1 | 5.6 | 5.7 | 5.7 | 18.8 | 3.5 | 7.8 | 8.7 | 3.0 | 9.8 | 7.7 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

(2)それぞれの職場の従業員は、企業・組織全体で何人くらいですか（家族従事者・パートタイムの方も含めた人数）。1つずつ選んでください。

| ○○○の受講開始前の仕事 | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|---------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (286) | (53) |
| ①1人 | 0.4 | - | - | - | 18.8 | 0.6 | 0.5 | - | 0.3 | 0.7 | - | |
| ②2～9人 | 1.6 | 1.1 | 0.8 | 2.0 | 12.5 | 0.6 | 1.6 | 3.1 | 0.6 | 3.1 | - | |
| ③10～29人 | 2.6 | 1.1 | 1.9 | 4.5 | - | 2.2 | 4.7 | 1.0 | 1.1 | 4.9 | - | |
| ④30～99人 | 4.6 | 4.5 | 3.4 | 5.3 | 12.5 | 3.8 | 5.7 | 4.6 | 4.1 | 5.6 | 1.9 | |
| ⑤100～299人 | 7.8 | 12.9 | 4.9 | 6.5 | 18.8 | 7.7 | 5.7 | 10.2 | 5.0 | 11.9 | 5.7 | |
| ⑥300～999人 | 12.3 | 9.0 | 9.5 | 17.1 | 18.8 | 12.1 | 13.5 | 11.2 | 11.3 | 14.7 | 5.7 | |
| ⑦1,000～4,999人 | 35.9 | 39.9 | 37.6 | 33.1 | 6.3 | 36.1 | 39.9 | 31.6 | 40.2 | 27.3 | 52.8 | |
| ⑧5,000人以上 | 34.3 | 30.9 | 41.1 | 31.4 | 6.3 | 36.1 | 28.0 | 37.8 | 37.5 | 30.4 | 34.0 | |
| ⑨官公庁 | 0.6 | 0.6 | 0.8 | - | 6.3 | 0.6 | 0.5 | 0.5 | - | 1.4 | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 現在の仕事 | (N) | (702) | (117) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| ①1人 | 2.0 | 1.7 | 1.1 | 1.2 | 31.3 | 1.3 | 2.1 | 3.1 | 0.3 | 4.2 | 1.9 | |
| ②2～9人 | 1.7 | - | 0.8 | 2.9 | 18.8 | 1.3 | 1.6 | 2.6 | 1.4 | 2.4 | - | |
| ③10～29人 | 2.7 | 0.6 | 2.7 | 4.5 | - | 1.6 | 4.1 | 3.1 | 0.8 | 5.6 | - | |
| ④30～99人 | 7.5 | 9.0 | 6.5 | 7.8 | 6.3 | 4.2 | 10.4 | 10.2 | 5.2 | 11.1 | 3.8 | |
| ⑤100～299人 | 7.8 | 10.7 | 4.9 | 8.6 | 12.5 | 8.0 | 6.7 | 8.7 | 5.2 | 11.5 | 5.8 | |
| ⑥300～999人 | 12.7 | 10.7 | 10.6 | 15.9 | 12.5 | 12.1 | 13.0 | 13.3 | 11.8 | 15.0 | 5.8 | |
| ⑦1,000～4,999人 | 32.3 | 35.6 | 35.0 | 29.0 | 6.3 | 35.8 | 33.7 | 25.5 | 38.0 | 22.3 | 48.1 | |
| ⑧5,000人以上 | 32.6 | 30.5 | 38.0 | 30.2 | 6.3 | 34.8 | 28.5 | 33.2 | 37.2 | 26.5 | 34.6 | |
| ⑨官公庁 | 0.6 | 1.1 | 0.4 | - | 6.3 | 1.0 | - | 0.5 | - | 1.4 | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

(3)それぞれの職場でああなたが最も長く経験した仕事は次のどれに当たりますか。1つずつ選んでください。

| ○○○の受講開始前の仕事 | (N) | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | | 会社派遣か個人受講か | |
|----------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|------|
| | | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| ①研究・技術職 | 22.4 | 21.3 | 20.5 | 25.7 | 12.5 | 21.7 | 19.7 | 26.0 | 24.5 | 18.9 | 26.4 | |
| ②保健・医療関係専門職 | 0.1 | - | - | 0.4 | - | - | 0.5 | - | - | 0.3 | - | |
| ③法律・税務関係専門職 | 0.6 | 0.6 | 1.1 | - | - | 0.3 | 1.6 | - | 0.3 | 1.0 | - | |
| ④教育職 | 1.0 | 1.7 | - | 0.8 | 12.5 | 1.6 | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 1.7 | 1.9 | |
| ⑤管理職 | 9.7 | 0.6 | 2.3 | 24.9 | - | 9.9 | 11.4 | 7.7 | 10.2 | 10.1 | 3.8 | |
| ⑥経理・財務関係事務職 | 5.1 | 7.3 | 5.7 | 3.3 | - | 4.8 | 6.2 | 4.6 | 4.4 | 5.6 | 7.5 | |
| ⑦企画・総務・広報関係事務職 | 17.7 | 23.6 | 18.6 | 11.8 | 25.0 | 17.9 | 17.6 | 17.3 | 16.8 | 18.5 | 18.9 | |
| ⑧人事・労使関係事務職 | 5.3 | 6.7 | 5.7 | 3.7 | 6.3 | 5.1 | 6.2 | 4.6 | 5.8 | 4.5 | 5.7 | |
| ⑨営業・購買・販売職 | 27.4 | 27.5 | 34.2 | 20.8 | 12.5 | 26.5 | 26.9 | 29.1 | 27.8 | 26.6 | 28.3 | |
| ⑩事務補助職 | 0.6 | 1.7 | - | 0.4 | - | 1.0 | - | 0.5 | 0.6 | 0.7 | - | |
| ⑪サービス職 | 4.1 | 3.9 | 4.6 | 3.3 | 12.5 | 4.8 | 3.1 | 4.1 | 2.8 | 6.3 | 1.9 | |
| ⑫生産・運輸・保安職 | 1.3 | 1.1 | 1.5 | 1.2 | - | 1.3 | 1.6 | 1.0 | 1.7 | 1.0 | - | |
| ⑬その他 | 4.8 | 3.9 | 5.7 | 3.7 | 18.8 | 5.1 | 4.7 | 4.6 | 5.0 | 4.5 | 5.7 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| 現在の仕事 | (N) | (702) | (117) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| ①研究・技術職 | 14.0 | 16.9 | 12.9 | 13.5 | 6.3 | 17.6 | 13.0 | 9.2 | 16.0 | 11.1 | 15.4 | |
| ②保健・医療関係専門職 | 0.4 | 0.6 | 0.4 | 0.4 | - | - | 0.5 | 1.0 | - | 1.0 | - | |
| ③法律・税務関係専門職 | 1.0 | 1.7 | 1.1 | 0.4 | - | 0.6 | 1.6 | 1.0 | 0.3 | 2.1 | - | |
| ④教育職 | 0.9 | 0.6 | 0.4 | 0.8 | 12.5 | 1.3 | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 1.0 | 3.8 | |
| ⑤管理職 | 17.4 | 4.0 | 9.5 | 36.3 | 6.3 | 13.7 | 17.1 | 23.5 | 18.5 | 17.8 | 7.7 | |
| ⑥経理・財務関係事務職 | 4.7 | 6.8 | 6.5 | 1.6 | - | 3.8 | 7.3 | 3.6 | 4.1 | 5.2 | 5.8 | |
| ⑦企画・総務・広報関係事務職 | 21.4 | 24.9 | 24.7 | 15.5 | 18.8 | 20.8 | 25.4 | 18.4 | 21.2 | 18.8 | 36.5 | |
| ⑧人事・労使関係事務職 | 5.7 | 5.6 | 6.8 | 4.9 | - | 5.4 | 7.3 | 4.6 | 6.9 | 4.2 | 5.8 | |
| ⑨営業・購買・販売職 | 22.5 | 26.6 | 25.5 | 17.6 | 6.3 | 24.3 | 18.1 | 24.0 | 24.5 | 20.6 | 19.2 | |
| ⑩事務補助職 | 0.6 | 1.7 | - | 0.4 | - | 1.0 | - | 0.5 | 0.6 | 0.7 | - | |
| ⑪サービス職 | 3.4 | 4.0 | 4.6 | 1.6 | - | 3.8 | 2.6 | 3.6 | 1.9 | 5.6 | 1.9 | |
| ⑫生産・運輸・保安職 | 0.9 | 1.1 | 0.8 | 0.8 | 6.3 | 1.0 | 0.5 | 1.0 | 1.1 | 0.7 | - | |
| ⑬その他 | 7.3 | 5.6 | 6.8 | 6.1 | 43.8 | 6.7 | 6.2 | 9.2 | 4.7 | 11.1 | 3.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

(4)それぞれの職場でああなたの役職等は次のどれに当たりますか。1つずつ選んでください。

| ○○○の受講開始前の仕事 | (N) | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | | 会社派遣か個人受講か | |
|---------------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|------|
| | | (702) | (178) | (263) | (245) | (16) | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| ①役職のない正規社員・職員 (期限付き雇用) | 0.7 | - | - | - | 31.3 | 0.3 | 1.0 | 1.0 | - | 1.4 | 1.9 | |
| ②役職のない正規社員・雇用 (期限付き雇用) | 25.4 | 100.0 | - | - | - | 25.6 | 27.5 | 23.0 | 20.7 | 30.8 | 28.3 | |
| ③職長・主任相当職 | 15.2 | - | 40.7 | - | - | 13.7 | 16.6 | 16.3 | 14.9 | 15.4 | 17.0 | |
| ④係長相当職 | 22.2 | - | 59.3 | - | - | 21.1 | 22.3 | 24.0 | 22.3 | 20.6 | 30.2 | |
| ⑤課長相当職 | 24.5 | - | - | 70.2 | - | 26.5 | 23.3 | 22.4 | 30.3 | 18.2 | 18.9 | |
| ⑥部長相当職 | 7.4 | - | - | 21.2 | - | 8.9 | 4.7 | 7.7 | 9.9 | 5.2 | 1.9 | |
| ⑦経営者・役員 | 3.0 | - | - | 8.6 | - | 1.9 | 4.1 | 3.6 | 1.4 | 5.2 | 1.9 | |
| ⑧自営業主・自由業者 | 0.4 | - | - | - | 18.8 | 0.6 | 0.5 | - | 0.3 | 0.7 | - | |
| ⑨臨時雇用・パートアルバイト 派遣社員・家族従事者・内職 | 0.3 | - | - | - | 12.5 | 0.3 | - | 0.5 | - | 0.7 | - | |
| ⑩その他 | 0.9 | - | - | - | 37.5 | 1.0 | - | 1.5 | 0.3 | 1.7 | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| 現在の仕事 | (N) | (702) | (117) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| ①役職のない正規社員・職員 (期限付き雇用) | 0.9 | 1.1 | 0.4 | - | 18.8 | 0.6 | - | 2.0 | - | 2.1 | - | |
| ②役職のない正規社員・雇用 (期限付き雇用) | 18.4 | 67.2 | 3.0 | 0.8 | - | 19.8 | 23.3 | 11.2 | 15.7 | 21.6 | 19.2 | |
| ③職長・主任相当職 | 11.3 | 13.0 | 20.9 | 0.4 | - | 13.7 | 9.8 | 8.7 | 12.9 | 8.0 | 17.3 | |
| ④係長相当職 | 18.2 | 9.6 | 41.1 | 1.2 | - | 16.6 | 22.3 | 16.8 | 17.4 | 18.8 | 21.2 | |
| ⑤課長相当職 | 27.8 | 4.0 | 26.6 | 47.3 | 6.3 | 30.4 | 23.3 | 28.1 | 34.4 | 20.6 | 21.2 | |
| ⑥部長相当職 | 14.5 | - | 4.9 | 36.3 | - | 12.1 | 12.4 | 20.4 | 15.2 | 14.3 | 11.5 | |
| ⑦経営者・役員 | 5.1 | 1.7 | 0.8 | 12.2 | 6.3 | 3.5 | 5.2 | 7.7 | 3.3 | 7.3 | 5.8 | |
| ⑧自営業主・自由業者 | 1.6 | 1.7 | 1.1 | 0.4 | 25.0 | 0.6 | 1.0 | 3.6 | 0.6 | 3.1 | - | |
| ⑨臨時雇用・パートアルバイト 派遣社員・家族従事者・内職 | 0.7 | 1.1 | 0.4 | 0.4 | 6.3 | 0.6 | 0.5 | 1.0 | - | 1.7 | - | |
| ⑩その他 | 1.6 | 0.6 | 0.8 | 0.8 | 37.5 | 1.9 | 2.1 | 0.5 | 0.6 | 2.4 | 3.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

(5)それぞれの職場は外資系企業ですか。1つずつ選んでください。

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|--------------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| 〇〇〇の受講開始前の仕事 | (N) | (702) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (286) | (53) |
| ①外資系である | | 17.0 | 20.2 | 12.5 | 19.6 | 12.5 | 12.1 | 21.2 | 20.4 | 11.8 | 23.4 | 17.0 |
| ②外資系でない | | 83.0 | 79.8 | 87.5 | 80.4 | 87.5 | 87.9 | 78.8 | 79.6 | 88.2 | 76.6 | 83.0 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 現在の仕事 | (N) | (702) | (117) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| ①外資系である | | 16.7 | 20.3 | 12.2 | 18.8 | 12.5 | 12.8 | 19.7 | 19.9 | 11.0 | 24.0 | 15.4 |
| ②外資系でない | | 83.3 | 79.7 | 87.8 | 81.2 | 87.5 | 87.2 | 80.3 | 80.1 | 89.0 | 76.0 | 84.6 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

(6)それぞれの職場であなたの年収(税込み)はどのくらいですか。1つずつ選んでください。

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|---------------------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| 〇〇〇の受講開始前の仕事 | (N) | (701) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (196) | (362) | (286) | (53) |
| ①100万円未満 | | 0.4 | 0.6 | - | 0.4 | 6.3 | 0.6 | 0.5 | - | 0.3 | 0.7 | - |
| ②100万円以上300万円未満 | | 0.3 | 0.6 | - | - | 6.3 | 0.3 | - | 0.5 | - | 0.7 | - |
| ③300万円以上500万円未満 | | 8.4 | 23.7 | 4.9 | 0.4 | 18.8 | 8.3 | 9.3 | 7.7 | 5.0 | 12.6 | 9.4 |
| ④500万円以上600万円未満 | | 14.0 | 33.3 | 11.0 | 2.4 | 25.0 | 12.8 | 16.6 | 13.3 | 11.3 | 18.5 | 7.5 |
| ⑤600万円以上700万円未満 | | 16.8 | 20.3 | 24.3 | 6.5 | 12.5 | 18.6 | 16.6 | 14.3 | 18.0 | 16.1 | 13.2 |
| ⑥700万円以上800万円未満 | | 16.8 | 13.0 | 27.0 | 9.0 | 12.5 | 15.4 | 16.1 | 19.9 | 16.9 | 16.8 | 17.0 |
| ⑦800万円以上900万円未満 | | 12.3 | 6.2 | 15.6 | 13.9 | - | 12.5 | 14.0 | 10.2 | 13.5 | 9.1 | 20.8 |
| ⑧900万円以上1,000万円未満 | | 12.3 | 1.1 | 11.0 | 21.2 | 18.8 | 12.8 | 7.8 | 15.8 | 13.3 | 10.5 | 15.1 |
| ⑨1,000万円以上1,200万円未満 | | 10.3 | 1.1 | 4.2 | 24.1 | - | 9.9 | 11.4 | 9.7 | 12.7 | 7.0 | 11.3 |
| ⑩1,200万円以上1,500万円未満 | | 5.6 | - | 1.1 | 14.7 | - | 6.1 | 5.7 | 4.6 | 6.4 | 4.9 | 3.8 |
| ⑪1,500万円以上 | | 2.9 | - | 0.8 | 7.3 | - | 2.6 | 2.1 | 4.1 | 2.8 | 3.1 | 1.9 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 現在の仕事 | (N) | (701) | (176) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (196) | (362) | (287) | (52) |
| ①100万円未満 | | 1.4 | 1.1 | 1.1 | 0.8 | 18.8 | 1.3 | 2.1 | 1.0 | 0.6 | 2.4 | 1.9 |
| ②100万円以上300万円未満 | | 1.1 | 2.3 | 0.4 | 0.8 | 6.3 | 1.3 | 0.5 | 1.3 | 0.3 | 2.4 | - |
| ③300万円以上500万円未満 | | 6.0 | 16.5 | 4.2 | - | 12.5 | 6.1 | 6.7 | 5.1 | 3.6 | 9.8 | 1.9 |
| ④500万円以上600万円未満 | | 11.4 | 27.3 | 9.9 | 1.6 | 12.5 | 10.9 | 15.5 | 8.2 | 9.1 | 15.3 | 5.8 |
| ⑤600万円以上700万円未満 | | 12.8 | 23.3 | 12.9 | 5.3 | 12.5 | 16.0 | 8.8 | 11.7 | 11.0 | 14.6 | 15.4 |
| ⑥700万円以上800万円未満 | | 14.4 | 15.9 | 22.4 | 4.9 | 12.5 | 12.8 | 18.1 | 13.3 | 16.9 | 11.1 | 15.4 |
| ⑦800万円以上900万円未満 | | 13.7 | 6.3 | 20.5 | 12.7 | - | 13.8 | 13.0 | 14.3 | 16.8 | 8.4 | 21.2 |
| ⑧900万円以上1,000万円未満 | | 11.3 | 2.3 | 12.5 | 16.3 | 6.3 | 13.1 | 8.3 | 11.2 | 13.0 | 9.4 | 9.6 |
| ⑨1,000万円以上1,200万円未満 | | 15.8 | 4.0 | 11.4 | 29.8 | 6.3 | 13.5 | 16.1 | 19.4 | 16.6 | 14.3 | 19.2 |
| ⑩1,200万円以上1,500万円未満 | | 7.3 | - | 2.7 | 17.6 | 6.3 | 7.7 | 7.8 | 6.1 | 9.4 | 4.5 | 7.7 |
| ⑪1,500万円以上 | | 4.7 | 1.1 | 1.9 | 10.2 | 6.3 | 3.5 | 3.1 | 8.2 | 2.8 | 7.7 | 1.9 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問7 あなたは現在の仕事に全体としてどの程度満足していますか。

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|-------------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| 仕事に対する満足度 | (N) | (702) | (117) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| 1 非常に不満 | | 5.6 | 4.0 | 5.7 | 6.5 | 6.3 | 2.9 | 5.7 | 9.7 | 2.2 | 10.5 | 1.9 |
| 2 やや不満 | | 17.7 | 26.6 | 12.9 | 15.5 | 31.3 | 19.8 | 19.2 | 12.8 | 15.2 | 20.6 | 19.2 |
| 3 どちらともいえない | | 17.5 | 16.4 | 19.8 | 15.9 | 18.8 | 18.5 | 17.6 | 15.8 | 19.3 | 16.0 | 13.5 |
| 4 ある程度満足 | | 51.1 | 49.2 | 52.1 | 53.1 | 25.0 | 52.4 | 52.8 | 47.4 | 56.7 | 41.8 | 63.5 |
| 5 非常に満足 | | 8.1 | 4.0 | 9.5 | 9.0 | 18.8 | 6.4 | 4.7 | 14.3 | 6.6 | 11.1 | 1.9 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問8 あなたはこれからどのような働き方をしたいと考えていますか。もっとも近いものを1つ選んでください。

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|-------------------------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| 今後の働き方 | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 現在の職場で働き続けて、高い役職に就きたい | | 31.3 | 20.8 | 29.3 | 42.9 | 6.3 | 32.6 | 31.1 | 29.4 | 40.5 | 19.9 | 30.2 |
| 2 現在の職場で働き続けて、専門性を高めたい | | 27.9 | 28.1 | 30.8 | 25.3 | 12.5 | 33.9 | 25.9 | 20.3 | 34.2 | 21.3 | 20.8 |
| 3 別の企業・組織に転職したい | | 18.2 | 25.8 | 19.4 | 10.6 | 31.3 | 17.6 | 18.1 | 19.3 | 11.6 | 26.5 | 18.9 |
| 4 自分でビジネスを営みたい | | 15.2 | 17.4 | 13.3 | 14.3 | 37.5 | 10.9 | 17.1 | 20.3 | 8.8 | 23.0 | 17.0 |
| 5 その他 | | 7.4 | 7.9 | 7.2 | 6.9 | 12.5 | 5.1 | 7.8 | 10.7 | 5.0 | 9.4 | 13.2 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

〇〇〇での受講について伺います

問9 〇〇〇の受講開始年と終了年について、西暦でお答えください。

| 受講開始年 | 受講前の職階 | | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|------|
| | 総計 | 役職無し | 主任 | 係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) | |
| 1 ~1997 | 3.3 | 2.3 | 4.2 | 2.9 | 6.3 | 0.3 | 1.6 | 9.6 | 1.9 | 4.9 | 3.8 | |
| 2 1998 | 3.8 | 2.8 | 4.2 | 4.1 | 6.3 | - | 4.1 | 9.6 | 0.8 | 6.6 | 9.4 | |
| 3 1999 | 8.0 | 7.3 | 9.5 | 7.3 | 6.3 | 1.3 | 7.8 | 19.3 | 4.4 | 11.5 | 15.1 | |
| 4 2000 | 22.1 | 20.9 | 23.6 | 20.8 | 25.0 | 12.5 | 21.2 | 38.1 | 16.9 | 27.9 | 26.4 | |
| 5 2001 | 30.9 | 31.6 | 27.4 | 34.7 | 25.0 | 33.7 | 38.3 | 19.3 | 32.6 | 28.6 | 32.1 | |
| 6 2002 | 31.8 | 35.0 | 31.2 | 30.2 | 31.3 | 52.2 | 26.9 | 4.1 | 43.4 | 20.6 | 13.2 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| 受講終了年 | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) |
| 1 2000 | 14.0 | 12.4 | 13.3 | 16.4 | 6.3 | 11.9 | 16.1 | 15.2 | 11.3 | 18.1 | 9.4 | |
| 2 2001 | 33.9 | 31.6 | 35.0 | 33.5 | 43.8 | 32.1 | 34.7 | 36.0 | 32.3 | 34.5 | 41.5 | |
| 3 2002 | 52.1 | 55.9 | 51.7 | 50.2 | 50.0 | 56.1 | 49.2 | 48.7 | 56.4 | 47.4 | 49.1 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問10 〇〇〇での受講形態はどのようなものでしたか。

| 受講形態 | 受講前の職階 | | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
| | 総計 | 役職無し | 主任 | 係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 |
| (N) | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 通学 | 92.3 | 93.8 | 89.7 | 93.9 | 93.8 | 96.5 | 92.2 | 85.8 | 93.7 | 90.6 | 92.5 |
| 2 通信 | 4.7 | 2.8 | 6.8 | 3.7 | 6.3 | 2.2 | 6.7 | 6.6 | 3.9 | 5.9 | 3.8 |
| 3 通学と通信 | 3.0 | 3.4 | 3.4 | 2.4 | - | 1.3 | 1.0 | 7.6 | 2.5 | 3.5 | 3.8 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問11 あなたはこれまで〇〇〇で合計何科目を受講しましたか。同じ科目を2回受講した場合は2とカウントします。また受講した科目について、あてはまるものを全て選んでください。(通信を含む)

| 受講科目数 | 受講前の職階 | | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
| | 総計 | 役職無し | 主任 | 係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 1科目 | 44.5 | 44.9 | 41.4 | 47.8 | 43.8 | 100.0 | - | - | 63.6 | 24.7 | 20.8 |
| 2 2科目 | 16.2 | 19.1 | 17.9 | 12.7 | 12.5 | - | 59.1 | - | 16.8 | 14.6 | 20.8 |
| 3 3科目 | 11.2 | 10.7 | 10.6 | 12.7 | 6.3 | - | 40.9 | - | 7.4 | 15.7 | 13.2 |
| 4 4科目 | 7.1 | 7.9 | 8.7 | 4.9 | 6.3 | - | - | 25.4 | 3.3 | 10.8 | 13.2 |
| 5 5科目 | 4.7 | 5.6 | 3.4 | 5.7 | - | - | - | 16.8 | 3.0 | 6.3 | 7.5 |
| 6 6科目 | 8.3 | 6.7 | 8.7 | 8.2 | 18.8 | - | - | 29.4 | 2.8 | 14.6 | 11.3 |
| 7 7科目 | 2.7 | 2.8 | 1.9 | 3.3 | - | - | - | 9.6 | 1.4 | 4.3 | 3.8 |
| 8 8科目 | 2.4 | 1.1 | 3.0 | 2.9 | - | - | - | 8.6 | 0.3 | 4.9 | 3.8 |
| 9 9科目 | 1.1 | 0.6 | 1.5 | 0.8 | 6.3 | - | - | 4.1 | 0.6 | 1.7 | 1.9 |
| 10 10科目 | 0.9 | - | 1.1 | 0.8 | 6.3 | - | - | 3.0 | 0.6 | 0.7 | 3.8 |
| 11 11科目 | 0.4 | - | 1.1 | - | - | - | - | 1.5 | - | 1.0 | - |
| 12 12科目 | 0.3 | - | 0.4 | 0.4 | - | - | - | 1.0 | 0.3 | 0.3 | - |
| 13 15科目 | 0.1 | 0.6 | - | - | - | - | - | 0.5 | - | 0.3 | - |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問12 〇〇〇で受講した科目の成績について伺います。複数科目の受講経験がある方は、科目の平均を目安にお答えください。

| 成績 | 受講前の職階 | | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
| | 総計 | 役職無し | 主任 | 係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 |
| (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) |
| 1 非常に悪い | 5.3 | 6.2 | 4.2 | 5.7 | 6.3 | 6.7 | 4.1 | 4.1 | 5.0 | 5.9 | 3.8 |
| 2 あまりよくない | 31.1 | 35.0 | 29.3 | 29.8 | 37.5 | 35.6 | 26.4 | 28.4 | 29.3 | 33.1 | 32.1 |
| 3 ある程度良い | 55.8 | 50.8 | 59.3 | 55.9 | 50.0 | 50.6 | 58.5 | 61.4 | 57.2 | 53.3 | 60.4 |
| 4 非常に良い | 7.8 | 7.9 | 7.2 | 8.6 | 6.3 | 7.1 | 10.9 | 6.1 | 8.6 | 7.7 | 3.8 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問13 あなたはこれまで国内外で何校の修士課程（ビジネス・スクール以外も含む）を社会人として受験した経験がありますか。
同じ大学院を2回受験した場合は2とカウントします。

| 受験経験 | (N) | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | |
|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
| | | 総計 | 役職無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 |
| 1 受験した | 11.7 | 9.0 | 11.0 | 13.9 | 18.8 | 5.8 | 12.4 | 20.3 | 6.6 | 17.1 | 17.0 |
| 国内1校 | | (11) | (15) | (15) | | (14) | (18) | (9) | (17) | (19) | (5) |
| 国内2校以上 | | (2) | (4) | (3) | (3) | | (1) | (11) | | (10) | (2) |
| 国外1校 | | (3) | (6) | (11) | | (3) | (1) | (16) | (6) | (12) | (2) |
| 国外2校以上 | | | (5) | (6) | | (3) | (4) | (4) | (3) | (8) | |
| 2 受験していない | 88.3 | 91.0 | 89.0 | 86.1 | 81.3 | 94.2 | 87.6 | 79.7 | 93.4 | 82.9 | 83.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問14 民間の学習機関で学ぼうと思われた理由は何ですか。あてはまるものを全てを選んでください。

| | (N) | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | |
|-----------------------------------|------|--------|------|-------|------|------|-------|------|------|------------|------|
| | | 総計 | 役職無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 |
| 1 職場が自分を指名して派遣した | 33.9 | 19.7 | 32.3 | 47.8 | 6.3 | 50.2 | 27.5 | 14.2 | 61.7 | 0.3 | 24.5 |
| 2 これまでの自分の仕事経験を理論的に整理し裏付けたかった | 43.2 | 38.8 | 41.4 | 48.2 | 43.8 | 45.7 | 37.2 | 45.2 | 38.8 | 47.7 | 49.1 |
| 3 職場内での特定の仕事部門への配置転換に役立てるため | 10.5 | 11.8 | 12.5 | 7.8 | 6.3 | 7.0 | 11.9 | 14.7 | 9.9 | 10.1 | 17.0 |
| 4 転職や独立開業に役立てるため | 16.8 | 20.2 | 18.3 | 11.4 | 37.5 | 10.2 | 17.1 | 26.9 | 7.7 | 28.2 | 17.0 |
| 5 特定の知識を身に付けることが仕事上で必要だった | 31.3 | 27.5 | 32.7 | 32.2 | 31.3 | 29.7 | 37.3 | 27.9 | 30.9 | 29.6 | 43.4 |
| 6 何かにチャレンジしてみたかった | 44.5 | 52.2 | 46.4 | 36.7 | 43.8 | 35.1 | 51.3 | 52.8 | 35.8 | 53.7 | 54.7 |
| 7 それまでの仕事がつまらなかった | 7.7 | 14.0 | 8.0 | 2.4 | 12.5 | 2.2 | 8.3 | 15.7 | 1.7 | 15.3 | 7.5 |
| 8 知人・友人等から勧めや誘いを受けた | 9.7 | 18.0 | 8.4 | 4.9 | 12.5 | 9.6 | 11.4 | 8.1 | 8.0 | 11.1 | 13.2 |
| 9 それまでの自分を变えたいと思った | 30.4 | 38.8 | 34.6 | 19.6 | 37.5 | 24.3 | 30.6 | 40.1 | 18.5 | 42.5 | 47.2 |
| 10 将来マネジメントのポジションで仕事がしたい | 38.4 | 41.0 | 42.6 | 32.2 | 37.5 | 29.7 | 44.6 | 46.2 | 33.6 | 43.9 | 41.5 |
| 11 人脈作りのため | 19.2 | 25.8 | 19.4 | 13.9 | 25.0 | 13.7 | 22.3 | 24.9 | 14.0 | 24.0 | 28.3 |
| 12 将来的に大学院での学習を考えており、その足がかりとするため | 7.1 | 8.4 | 5.7 | 6.9 | 18.8 | 4.2 | 5.2 | 13.7 | 3.0 | 11.8 | 9.4 |
| 13 仕事をする上で大学院の修了資格(MBA等)までは必要ないから | 6.7 | 7.9 | 5.3 | 6.9 | 6.3 | 4.5 | 6.2 | 10.7 | 5.8 | 8.4 | 3.8 |
| 14 その他 | 7.7 | 6.2 | 9.9 | 6.5 | 6.3 | 6.7 | 7.3 | 9.6 | 5.2 | 10.1 | 11.3 |

問15 上記のうち、最も重要な理由はどれですか。ひとつだけ選んでください。

| 最も重要な受講理由 | (N) | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | |
|-----------------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
| | | 総計 | 役職無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 |
| 1 職場が自分を指名して派遣した | 16.6 | 10.1 | 12.9 | 26.5 | - | 24.9 | 12.4 | 7.6 | 32.2 | - | - |
| 2 これまでの自分の仕事経験を理論的に整理し裏付けたかった | 14.9 | 11.2 | 13.3 | 19.6 | 12.5 | 16.6 | 14.0 | 13.2 | 12.7 | 17.4 | 17.0 |
| 3 職場内での特定の仕事部門への配置転換に役立てるため | 2.0 | 1.7 | 3.0 | 0.8 | 6.3 | 1.6 | 2.6 | 2.0 | 2.5 | 1.4 | 1.9 |
| 4 転職や独立開業に役立てるため | 5.5 | 6.2 | 5.7 | 4.1 | 18.8 | 4.5 | 5.7 | 7.1 | 2.8 | 9.4 | 3.8 |
| 5 特定の知識を身に付けることが仕事上で必要だった | 13.7 | 11.8 | 14.8 | 13.5 | 12.5 | 14.7 | 14.0 | 11.7 | 14.6 | 12.1 | 15.1 |
| 6 何かにチャレンジしてみたかった | 12.1 | 16.9 | 11.0 | 9.8 | 12.5 | 10.9 | 14.0 | 12.2 | 11.0 | 12.9 | 15.1 |
| 7 それまでの仕事がつまらなかった | 1.0 | 1.7 | 1.1 | - | 6.3 | - | 1.0 | 2.5 | - | 2.1 | 1.9 |
| 8 知人・友人等から勧めや誘いを受けた | 1.3 | 1.7 | 0.8 | 1.2 | 6.3 | 1.3 | 1.6 | 1.0 | 1.1 | 1.4 | 1.9 |
| 9 それまでの自分を变えたいと思った | 7.3 | 10.1 | 9.5 | 2.9 | 6.3 | 8.0 | 6.7 | 6.6 | 5.5 | 9.4 | 7.5 |
| 10 将来マネジメントのポジションで仕事がしたい | 16.1 | 18.0 | 16.7 | 14.3 | 12.5 | 8.9 | 20.2 | 23.4 | 12.1 | 20.2 | 20.8 |
| 11 人脈作りのため | 1.3 | 3.4 | 1.1 | - | - | 1.6 | 0.5 | 1.5 | 0.8 | 1.4 | 3.8 |
| 12 将来的に大学院での学習を考えており、その足がかりとするため | 2.4 | 2.8 | 2.3 | 2.4 | - | 1.6 | 1.6 | 4.6 | 1.1 | 4.2 | 1.9 |
| 13 仕事をする上で大学院の修了資格(MBA等)までは必要ないから | 0.4 | - | 0.8 | 0.4 | - | - | 0.5 | 1.0 | 0.6 | 0.3 | - |
| 14 その他 | 5.4 | 4.5 | 6.8 | 4.5 | 6.3 | 5.4 | 5.2 | 5.4 | 3.0 | 7.7 | 9.4 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問16 ○○○を選んだ理由は何ですか。あてはまるものを全てを選んでください。

| | 総計 (N) | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|--------------------|-----------|-------------|-------------|----------------|---------------|-------------|------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| | | 役員 (703) | 無職 (178) | 主任・係長 (263) | 課長以上 (245) | その他 (16) | 1 (313) | 2～3 (193) | 4以上 (197) | 会社派遣 (363) | 個人受講 (287) |
| 1 場所が便利だった | 24.5 | 22.5 | 25.1 | 24.5 | 31.3 | 20.1 | 24.9 | 31.0 | 17.6 | 31.7 | 32.1 |
| 2 授業時間帯が自分に合っていた | 36.4 | 33.7 | 40.3 | 33.1 | 50.0 | 27.5 | 39.4 | 47.7 | 26.2 | 48.1 | 43.4 |
| 3 パートタイムで学習できる | 13.2 | 15.2 | 14.1 | 10.2 | 25.0 | 5.8 | 9.8 | 28.4 | 5.5 | 20.9 | 24.5 |
| 4 1科目から受講可能だった | 31.4 | 34.8 | 36.5 | 22.0 | 50.0 | 23.6 | 33.2 | 42.1 | 14.9 | 49.1 | 49.1 |
| 5 学費が安かった | 2.8 | 1.7 | 3.4 | 2.4 | 12.5 | 1.9 | 2.1 | 5.1 | 0.8 | 5.2 | 3.8 |
| 6 講義内容が魅力的だった | 45.5 | 49.4 | 48.3 | 38.4 | 62.5 | 41.2 | 46.6 | 51.3 | 33.6 | 57.8 | 60.4 |
| 7 多様な種類の講義が提供されていた | 16.1 | 16.3 | 18.3 | 13.1 | 18.8 | 9.6 | 17.1 | 25.4 | 8.5 | 25.4 | 17.0 |
| 8 多様なレベルの講義が提供 | 9.8 | 10.7 | 6.8 | 11.0 | 25.0 | 8.6 | 11.9 | 9.6 | 6.9 | 13.2 | 11.3 |
| 9 MBAが取得できるから | 6.3 | 5.6 | 6.8 | 5.7 | 12.5 | 1.0 | 3.1 | 17.8 | 1.4 | 12.9 | 3.8 |
| 10 講師陣が魅力的だった | 15.4 | 17.4 | 16.3 | 11.0 | 37.5 | 11.5 | 11.9 | 24.9 | 8.3 | 22.3 | 26.4 |
| 11 職場に学習先を指定された | 37.6 | 28.7 | 37.6 | 45.7 | 12.5 | 50.2 | 33.2 | 21.8 | 65.0 | 3.5 | 34.0 |
| 12 知人や上司、先輩に勧められた | 22.2 | 34.3 | 19.4 | 17.1 | 12.5 | 25.2 | 23.8 | 15.7 | 25.1 | 18.1 | 24.5 |
| 13 掲げるビジョンに共鳴した | 10.7 | 13.5 | 12.5 | 6.9 | 6.3 | 5.4 | 13.5 | 16.2 | 5.0 | 18.1 | 9.4 |
| 14 本や雑誌、ホームページで知った | 15.2 | 14.0 | 17.9 | 11.8 | 37.5 | 9.9 | 16.1 | 22.8 | 4.4 | 27.9 | 20.8 |
| 15 その他 | 8.7 | 9.0 | 8.4 | 8.6 | 12.5 | 10.5 | 4.7 | 9.6 | 8.8 | 8.7 | 7.5 |

問17 上記のうち、最も重要な選択の理由は何ですか。ひとつだけ選んでください。

| 最も重要な選択理由 | 総計 (N) | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|--------------------|-----------|-------------|-------------|----------------|---------------|-------------|------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| | | 役員 (703) | 無職 (178) | 主任・係長 (263) | 課長以上 (245) | その他 (16) | 1 (313) | 2～3 (193) | 4以上 (197) | 会社派遣 (363) | 個人受講 (287) |
| 1 場所が便利だった | 2.3 | - | 1.5 | 4.5 | 6.3 | 2.2 | 2.1 | 2.5 | 1.9 | 2.8 | 1.9 |
| 2 授業時間帯が自分に合っていた | 5.8 | 5.6 | 5.7 | 6.1 | 6.3 | 3.2 | 9.3 | 6.6 | 3.9 | 8.4 | 5.7 |
| 3 パートタイムで学習できる | 3.7 | 3.4 | 2.7 | 4.1 | 18.8 | 1.0 | 1.0 | 10.7 | 1.7 | 6.3 | 3.8 |
| 4 1科目から受講可能だった | 6.0 | 7.3 | 9.5 | 1.2 | 6.3 | 5.4 | 8.3 | 4.6 | 2.8 | 10.1 | 5.7 |
| 5 学費が安かった | 0.3 | 0.6 | 0.4 | - | - | 0.6 | - | - | - | 0.7 | - |
| 6 講義内容が魅力的だった | 24.6 | 27.0 | 25.9 | 21.6 | 25.0 | 22.0 | 25.4 | 27.9 | 19.0 | 28.6 | 41.5 |
| 7 多様な種類の講義が提供されていた | 3.3 | 2.2 | 3.4 | 3.7 | - | 2.9 | 5.7 | 1.5 | 2.2 | 4.9 | 1.9 |
| 8 多様なレベルの講義が提供 | 1.4 | 1.7 | 0.8 | 1.6 | 6.3 | 2.2 | 1.0 | 0.5 | 1.4 | 1.4 | 1.9 |
| 9 MBAが取得できるから | 3.0 | 2.2 | 3.8 | 2.9 | - | 1.0 | 1.6 | 7.6 | 0.8 | 5.6 | 3.8 |
| 10 講師陣が魅力的だった | 3.1 | 2.8 | 4.2 | 2.0 | 6.3 | 2.9 | 3.1 | 3.6 | 2.2 | 4.5 | 1.9 |
| 11 職場に学習先を指定された | 24.3 | 17.4 | 22.1 | 33.5 | - | 33.2 | 19.2 | 15.2 | 43.3 | 2.4 | 13.2 |
| 12 知人や上司、先輩に勧められた | 10.8 | 17.4 | 10.3 | 6.9 | 6.3 | 12.1 | 13.0 | 6.6 | 11.3 | 9.8 | 13.2 |
| 13 掲げるビジョンに共鳴した | 3.1 | 4.5 | 3.4 | 2.0 | - | 1.9 | 3.1 | 5.1 | 1.1 | 5.9 | 1.9 |
| 14 本や雑誌、ホームページで知った | 2.1 | 1.7 | 1.1 | 3.3 | 6.3 | 1.6 | 3.1 | 2.0 | 1.4 | 3.1 | 1.9 |
| 15 その他 | 6.1 | 6.2 | 5.3 | 6.5 | 12.5 | 7.7 | 4.1 | 5.6 | 7.2 | 5.6 | 1.9 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問18 ○○○で学習している間、仕事をしていましたか。

| 受講中の仕事 | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|-------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|--|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 フルタイム（残業通常通り）で仕事をしていた | 89.6 | 87.1 | 89.4 | 93.5 | 68.8 | 30.1 | 90.2 | 88.3 | 91.5 | 87.8 | 86.8 | |
| 2 フルタイム（残業少なめ）で仕事をしていた | 9.2 | 11.8 | 9.5 | 6.5 | 18.8 | 8.9 | 9.8 | 9.1 | 8.5 | 9.4 | 13.2 | |
| 3 パートタイムで仕事をしていた | 0.3 | - | - | - | 12.5 | 0.3 | - | 0.5 | - | 0.7 | - | |
| 4 休職・退職などのより仕事をしていなかった | 0.9 | 1.1 | 1.1 | - | - | 0.6 | - | 2.0 | - | 2.1 | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問19 ○○○の受講は会社派遣によるものですか、個人受講によるものですか。

| 会社派遣か個人受講か | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|--|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 会社派遣 | 51.6 | 42.1 | 51.3 | 61.6 | 12.5 | 73.8 | 45.6 | 22.3 | 100.0 | - | - | |
| 2 個人受講 | 40.8 | 49.4 | 39.2 | 33.5 | 81.3 | 22.7 | 45.1 | 65.5 | - | 100.0 | - | |
| 3 会社派遣と個人受講 | 7.5 | 8.4 | 9.5 | 4.9 | 6.3 | 3.5 | 9.3 | 12.2 | - | - | 100.0 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問20 ○○○で学ぶための費用はどのようにしてまかないましたか。

| 受講費用 | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|-----------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|--|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 主に自分でまかかった | 39.5 | 47.2 | 39.2 | 31.4 | 81.3 | 17.9 | 44.0 | 69.5 | 0.8 | 86.4 | 50.9 | |
| 2 主に職場が負担した | 56.2 | 47.8 | 55.1 | 66.1 | 18.8 | 80.2 | 49.2 | 24.9 | 97.2 | 8.4 | 34.0 | |
| 3 主に奨学金でまかかった | 0.6 | 0.6 | 1.1 | - | - | 0.3 | 0.5 | 1.0 | - | 1.4 | - | |
| 4 主に家族（親・配偶者など）がまかかった | 0.4 | 0.6 | 0.4 | 0.4 | - | 0.3 | 0.5 | 0.5 | - | 1.0 | - | |
| 5 その他 | 3.3 | 3.9 | 4.2 | 2.0 | - | 1.3 | 5.7 | 4.1 | 1.9 | 2.8 | 15.1 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問21 ○○○で学んでいる間に、次のようなことを感じたことがありますか。それぞれ1つを選んでください。

| (1)教育内容が高度すぎてついて行くのが難しい | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|---------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 全然感じなかった | 17.6 | 14.0 | 17.9 | 20.4 | 12.5 | 18.5 | 15.0 | 18.8 | 17.1 | 19.2 | 13.2 | |
| 2 あまり感じなかった | 45.7 | 48.9 | 41.4 | 47.3 | 50.0 | 42.8 | 52.3 | 43.7 | 43.8 | 48.1 | 45.3 | |
| 3 やや感じた | 32.6 | 32.0 | 36.5 | 28.6 | 37.5 | 33.2 | 29.5 | 34.5 | 34.4 | 30.0 | 34.0 | |
| 4 強く感じた | 4.1 | 5.1 | 4.2 | 3.7 | - | 5.4 | 3.1 | 3.0 | 4.7 | 2.8 | 7.5 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (2)教育内容の水準が低すぎてもの足りない | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 48.8 | 51.7 | 49.4 | 47.8 | 25.0 | 53.7 | 44.0 | 45.7 | 51.2 | 44.9 | 52.8 | |
| 2 あまり感じなかった | 43.0 | 42.1 | 44.5 | 40.4 | 62.5 | 39.3 | 49.2 | 42.6 | 42.7 | 43.6 | 41.5 | |
| 3 やや感じた | 7.7 | 5.1 | 5.7 | 11.4 | 12.5 | 7.0 | 6.2 | 10.2 | 5.8 | 10.5 | 5.7 | |
| 4 強く感じた | 0.6 | 1.1 | 0.4 | 0.4 | - | - | 0.5 | 1.5 | 0.3 | 1.0 | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (3)もっと教育内容を実践的にしてほしい | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 19.3 | 15.2 | 24.3 | 18.0 | 6.3 | 20.1 | 18.1 | 19.3 | 19.6 | 17.4 | 28.3 | |
| 2 あまり感じなかった | 52.3 | 56.2 | 52.5 | 49.4 | 50.0 | 57.8 | 49.2 | 46.7 | 53.7 | 51.9 | 45.3 | |
| 3 やや感じた | 23.8 | 25.8 | 19.8 | 26.9 | 18.8 | 17.9 | 26.9 | 29.9 | 22.6 | 25.1 | 24.5 | |
| 4 強く感じた | 4.6 | 2.8 | 3.4 | 5.7 | 25.0 | 4.2 | 5.7 | 4.1 | 4.1 | 5.6 | 1.9 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (4)もっと教育内容を理論的、アカデミックにほしい | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 36.0 | 38.2 | 37.6 | 33.1 | 31.3 | 35.5 | 32.6 | 40.1 | 34.2 | 38.3 | 35.8 | |
| 2 あまり感じなかった | 54.9 | 55.6 | 55.5 | 53.9 | 50.0 | 56.9 | 57.5 | 49.2 | 57.9 | 50.5 | 58.5 | |
| 3 やや感じた | 7.5 | 5.6 | 6.8 | 9.0 | 18.8 | 7.0 | 8.3 | 7.6 | 7.2 | 8.7 | 3.8 | |
| 4 強く感じた | 1.6 | 0.6 | - | 4.1 | - | 0.6 | 1.6 | 3.0 | 0.8 | 2.4 | 1.9 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (5)もっと講義形式の授業を増やしてほしい | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 43.8 | 40.4 | 51.0 | 40.4 | 18.8 | 39.6 | 39.9 | 54.3 | 40.2 | 48.1 | 45.3 | |
| 2 あまり感じなかった | 40.8 | 50.0 | 33.8 | 40.4 | 56.3 | 42.8 | 46.1 | 32.5 | 42.7 | 39.4 | 35.8 | |
| 3 やや感じた | 13.4 | 8.4 | 13.3 | 16.7 | 18.8 | 16.3 | 13.0 | 9.1 | 15.4 | 10.5 | 15.1 | |
| 4 強く感じた | 2.0 | 1.1 | 1.9 | 2.4 | 6.3 | 1.3 | 4.1 | 4.1 | 1.7 | 2.1 | 3.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

続き (問21)

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|-------------------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| (6) もっとディスカッション方式の授業を増やしてほしい | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 26.5 | 24.2 | 28.5 | 27.3 | 6.3 | 27.8 | 23.8 | 26.9 | 27.0 | 25.8 | 26.4 |
| 2 あまり感じなかった | 53.6 | 53.4 | 53.2 | 53.1 | 68.8 | 53.4 | 54.9 | 52.8 | 55.4 | 52.6 | 47.2 |
| 3 やや感じた | 16.8 | 18.5 | 16.3 | 16.3 | 12.5 | 16.0 | 16.6 | 18.3 | 14.3 | 19.5 | 18.9 |
| 4 強く感じた | 3.1 | 3.9 | 1.9 | 3.3 | 12.5 | 2.9 | 4.7 | 2.0 | 3.3 | 2.1 | 7.5 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (7) 開講科目の種類が少なすぎる | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 43.5 | 39.9 | 50.6 | 39.6 | 31.3 | 47.3 | 40.9 | 40.1 | 43.3 | 43.9 | 43.4 |
| 2 あまり感じなかった | 48.1 | 48.9 | 43.3 | 51.8 | 56.3 | 49.2 | 48.2 | 46.2 | 51.5 | 44.6 | 43.4 |
| 3 やや感じた | 7.5 | 10.1 | 5.7 | 7.8 | 6.3 | 3.5 | 9.8 | 11.7 | 5.0 | 10.1 | 11.3 |
| 4 強く感じた | 0.9 | 1.1 | 0.4 | 0.8 | 6.3 | - | 1.0 | 2.0 | 0.3 | 1.4 | 1.9 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (8) もっと個人的な指導をしてほしい | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 24.0 | 22.5 | 28.5 | 20.8 | 18.8 | 23.0 | 23.8 | 25.9 | 20.9 | 26.5 | 32.1 |
| 2 あまり感じなかった | 42.8 | 38.8 | 42.2 | 46.5 | 43.8 | 42.8 | 40.4 | 45.2 | 45.5 | 39.7 | 41.5 |
| 3 やや感じた | 29.6 | 34.8 | 25.9 | 29.4 | 31.3 | 28.8 | 33.7 | 26.9 | 30.0 | 30.7 | 20.8 |
| 4 強く感じた | 3.6 | 3.9 | 3.4 | 3.3 | 6.3 | 5.4 | 2.1 | 2.0 | 3.6 | 3.1 | 5.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (9) 基礎知識を補うための補修科目を充実してほしい | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 28.3 | 26.4 | 30.0 | 27.3 | 37.5 | 26.5 | 23.3 | 36.0 | 24.0 | 33.4 | 30.2 |
| 2 あまり感じなかった | 46.2 | 44.4 | 43.0 | 51.8 | 37.5 | 44.1 | 46.6 | 49.2 | 48.5 | 43.6 | 45.3 |
| 3 やや感じた | 21.1 | 23.6 | 22.4 | 18.8 | - | 23.6 | 25.4 | 12.7 | 23.4 | 18.5 | 18.9 |
| 4 強く感じた | 4.4 | 5.6 | 4.6 | 2.0 | 25.0 | 5.8 | 4.7 | 2.0 | 4.1 | 4.5 | 5.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (10) さらに専門的な内容を学ぶための科目がほしい | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 20.3 | 21.9 | 23.2 | 17.6 | 6.3 | 21.1 | 19.2 | 20.8 | 18.5 | 21.6 | 28.3 |
| 2 あまり感じなかった | 49.6 | 51.1 | 46.8 | 52.2 | 43.8 | 52.1 | 52.3 | 43.1 | 53.4 | 46.7 | 39.6 |
| 3 やや感じた | 25.3 | 24.2 | 24.7 | 25.7 | 37.5 | 24.6 | 23.8 | 27.9 | 24.8 | 25.8 | 26.4 |
| 4 強く感じた | 4.6 | 2.8 | 5.3 | 4.5 | 12.5 | 2.2 | 2.7 | 8.1 | 3.3 | 5.9 | 5.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (11) 教育内容に比べて学費が高すぎる | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 16.1 | 13.5 | 18.6 | 16.3 | - | 17.3 | 12.4 | 17.8 | 18.5 | 13.6 | 13.2 |
| 2 あまり感じなかった | 46.5 | 47.2 | 45.2 | 48.2 | 37.5 | 44.1 | 51.3 | 45.7 | 47.7 | 44.9 | 47.2 |
| 3 やや感じた | 31.4 | 33.7 | 30.8 | 29.8 | 37.5 | 32.9 | 30.6 | 29.9 | 29.8 | 34.1 | 28.3 |
| 4 強く感じた | 6.0 | 5.6 | 5.3 | 5.7 | 25.0 | 5.8 | 5.7 | 6.6 | 4.1 | 7.3 | 11.3 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (12) 他の受講生のレベルやモチベーションが物足りない | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 32.7 | 30.9 | 35.7 | 31.8 | 18.8 | 35.5 | 31.1 | 29.9 | 32.5 | 32.8 | 34.0 |
| 2 あまり感じなかった | 45.4 | 40.4 | 43.0 | 51.4 | 43.8 | 46.0 | 46.6 | 43.1 | 50.1 | 39.0 | 47.2 |
| 3 やや感じた | 17.9 | 23.6 | 17.5 | 14.3 | 18.8 | 16.0 | 18.1 | 20.8 | 15.4 | 21.3 | 17.0 |
| 4 強く感じた | 4.0 | 5.1 | 3.8 | 2.4 | 18.8 | 2.6 | 4.1 | 6.1 | 1.9 | 7.0 | 1.9 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (13) 教育を受けたことを証明する資格や学位が欲しい | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 全然感じなかった | 27.0 | 25.3 | 26.6 | 28.2 | 37.5 | 29.7 | 28.0 | 21.8 | 28.7 | 25.1 | 26.4 |
| 2 あまり感じなかった | 41.8 | 41.0 | 39.9 | 44.5 | 43.8 | 43.1 | 44.0 | 37.6 | 43.8 | 36.9 | 54.7 |
| 3 やや感じた | 24.8 | 27.5 | 26.6 | 21.6 | 6.3 | 23.3 | 22.3 | 29.4 | 23.1 | 28.9 | 13.2 |
| 4 強く感じた | 6.4 | 6.2 | 6.8 | 5.7 | 12.5 | 3.8 | 5.7 | 11.2 | 4.4 | 9.1 | 5.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問22 以下の項目は現在の職場（現在働いておられない方は最後に働いておられた職場）でどの程度必要とされていますか。
また、○○○での学習でどの程度身に付きましたか。それぞれ1つずつ選んでください。

現在の職場で必要か

| | 総計 | 受講前の職務 | | | | 受講科目数 | | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|-------------------------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| (1)課題を理解し設定する力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| 1 必要ない | | 0.9 | 1.1 | 0.4 | 1.2 | - | 0.3 | 0.5 | 2.0 | 0.3 | 1.7 | - |
| 2 あまり必要ない | | 2.0 | 4.0 | 1.9 | - | 12.5 | 2.9 | 0.5 | 2.0 | 1.4 | 3.1 | - |
| 3 どちらともいえない | | 1.0 | 1.7 | 1.5 | - | - | 0.6 | 1.6 | 1.0 | 0.6 | 1.4 | 1.9 |
| 4 ある程度必要 | | 12.8 | 19.2 | 10.3 | 11.4 | 6.3 | 11.8 | 14.0 | 13.3 | 11.3 | 13.6 | 19.2 |
| 5 必要 | | 83.3 | 74.0 | 85.9 | 87.3 | 81.3 | 84.3 | 83.4 | 81.6 | 86.5 | 80.1 | 78.8 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (2)情報を収集し分析する力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| 1 必要ない | | 0.7 | 0.6 | 0.4 | 1.2 | - | 0.3 | 0.5 | 1.5 | 0.3 | 1.0 | 1.9 |
| 2 あまり必要ない | | 1.7 | 2.3 | 2.3 | - | 12.5 | 2.2 | - | 2.6 | 0.6 | 3.5 | - |
| 3 どちらともいえない | | 1.3 | 2.8 | 1.1 | - | 6.3 | 1.6 | 0.5 | 1.5 | 0.8 | 2.1 | - |
| 4 ある程度必要 | | 13.7 | 19.8 | 12.9 | 10.2 | 12.5 | 13.7 | 16.6 | 10.7 | 11.6 | 16.7 | 11.5 |
| 5 必要 | | 82.6 | 74.6 | 83.3 | 88.6 | 68.8 | 82.1 | 82.4 | 83.7 | 86.8 | 76.7 | 86.5 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (3)ものごとをやり遂げる力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| 1 必要ない | | 0.7 | 0.6 | 0.4 | 1.2 | - | 0.3 | 0.5 | 1.5 | 0.3 | 1.0 | 1.9 |
| 2 あまり必要ない | | 0.6 | 1.1 | 0.4 | - | 6.3 | 0.3 | 0.5 | 1.0 | 0.6 | 0.7 | - |
| 3 どちらともいえない | | 1.3 | 1.7 | 1.1 | 0.8 | 6.3 | 1.3 | 2.1 | 0.5 | 1.7 | 0.7 | 1.9 |
| 4 ある程度必要 | | 12.4 | 15.3 | 12.9 | 9.8 | 12.5 | 12.5 | 13.5 | 11.2 | 12.4 | 12.5 | 11.5 |
| 5 必要 | | 85.0 | 81.4 | 85.2 | 88.2 | 75.0 | 85.6 | 83.4 | 85.7 | 85.1 | 85.0 | 84.6 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (4)アイデアを生み出す力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| 1 必要ない | | 1.4 | 1.7 | 1.1 | 1.2 | 6.3 | 1.3 | 1.6 | 1.5 | 0.8 | 2.1 | 1.9 |
| 2 あまり必要ない | | 2.8 | 5.1 | 3.0 | 0.4 | 12.5 | 2.2 | 1.6 | 5.1 | 1.7 | 4.5 | 1.9 |
| 3 どちらともいえない | | 5.1 | 4.0 | 6.5 | 4.9 | - | 4.8 | 6.2 | 4.6 | 4.1 | 5.6 | 9.6 |
| 4 ある程度必要 | | 29.2 | 31.6 | 28.5 | 28.6 | 25.0 | 29.7 | 30.6 | 27.0 | 29.5 | 29.6 | 25.0 |
| 5 必要 | | 61.4 | 57.6 | 60.8 | 64.9 | 56.3 | 62.0 | 60.1 | 61.7 | 63.9 | 58.2 | 61.5 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (5)柔軟に思考したり対処する力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (701) | (176) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (196) | (362) | (287) | (52) |
| 1 必要ない | | 0.7 | 0.6 | 0.4 | 1.2 | - | 0.3 | 0.5 | 1.5 | 0.3 | 1.0 | 1.9 |
| 2 あまり必要ない | | 1.6 | 3.4 | 1.1 | - | 12.5 | 1.3 | 0.5 | 3.1 | 0.8 | 2.4 | 1.9 |
| 3 どちらともいえない | | 1.9 | 2.8 | 2.3 | 0.8 | - | 1.3 | 2.6 | 2.0 | 1.4 | 2.4 | 1.9 |
| 4 ある程度必要 | | 21.7 | 24.4 | 24.0 | 17.1 | 25.0 | 22.4 | 22.8 | 19.4 | 19.6 | 23.7 | 25.0 |
| 5 必要 | | 74.2 | 68.8 | 72.2 | 80.8 | 62.5 | 74.7 | 73.6 | 74.0 | 77.9 | 70.4 | 69.2 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (6)指導・助言・育成する力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| 1 必要ない | | 1.1 | 0.6 | 1.1 | 1.2 | 6.3 | 0.3 | 1.0 | 2.6 | - | 2.1 | 3.8 |
| 2 あまり必要ない | | 4.8 | 10.7 | 3.8 | 1.6 | 6.3 | 4.2 | 5.7 | 5.1 | 5.5 | 4.5 | 1.9 |
| 3 どちらともいえない | | 7.1 | 10.7 | 6.8 | 4.5 | 12.5 | 6.4 | 8.8 | 6.6 | 7.2 | 7.0 | 7.7 |
| 4 ある程度必要 | | 27.9 | 31.6 | 34.2 | 20.0 | 6.3 | 30.0 | 25.9 | 26.5 | 27.5 | 28.6 | 26.9 |
| 5 必要 | | 59.0 | 46.3 | 54.0 | 72.7 | 68.8 | 59.1 | 58.5 | 59.2 | 59.8 | 57.8 | 59.6 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (7)自己啓発力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| 1 必要ない | | 1.7 | 1.1 | 1.5 | 1.2 | 18.8 | 0.6 | 2.6 | 2.6 | 0.6 | 2.4 | 5.8 |
| 2 あまり必要ない | | 3.0 | 7.3 | 2.3 | - | 12.5 | 3.2 | 2.6 | 3.1 | 2.2 | 4.2 | 1.9 |
| 3 どちらともいえない | | 11.5 | 11.9 | 10.3 | 12.7 | 12.5 | 10.9 | 12.4 | 11.7 | 11.8 | 11.1 | 11.5 |
| 4 ある程度必要 | | 30.1 | 27.1 | 34.6 | 28.6 | 12.5 | 36.1 | 28.5 | 21.9 | 33.6 | 26.1 | 26.9 |
| 5 必要 | | 53.7 | 52.5 | 51.3 | 57.6 | 43.8 | 49.2 | 53.9 | 60.7 | 51.8 | 56.1 | 53.8 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (8)対人折衝・交渉力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| 1 必要ない | | 0.9 | 0.6 | 0.8 | 1.2 | - | 0.3 | 1.0 | 1.5 | 0.3 | 1.0 | 3.8 |
| 2 あまり必要ない | | 1.6 | 3.4 | 0.8 | 0.8 | 6.3 | 1.3 | 2.1 | 1.5 | 0.8 | 2.1 | 3.8 |
| 3 どちらともいえない | | 3.3 | 3.4 | 4.9 | 0.8 | 12.5 | 3.5 | 4.1 | 2.0 | 4.1 | 2.8 | - |
| 4 ある程度必要 | | 20.2 | 23.2 | 19.0 | 20.4 | 6.3 | 19.2 | 19.7 | 22.4 | 18.2 | 23.3 | 17.3 |
| 5 必要 | | 74.1 | 69.5 | 74.5 | 76.7 | 75.0 | 75.7 | 73.1 | 72.4 | 76.6 | 70.7 | 75.0 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (9)対人コミュニケーション | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) |
| 1 必要ない | | 0.4 | - | 0.4 | 0.8 | - | - | 0.5 | 1.0 | - | 0.7 | 1.9 |
| 2 あまり必要ない | | 1.6 | 2.3 | 1.1 | 1.2 | 6.3 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.1 | 1.7 | 3.8 |
| 3 どちらともいえない | | 1.3 | 1.1 | 1.9 | 0.8 | - | 0.6 | 3.1 | 0.5 | 1.4 | 1.4 | - |
| 4 ある程度必要 | | 20.5 | 26.1 | 20.2 | 16.7 | 25.0 | 20.5 | 22.8 | 18.4 | 19.1 | 22.3 | 21.2 |
| 5 必要 | | 76.2 | 70.5 | 76.4 | 80.4 | 68.8 | 77.2 | 72.0 | 78.6 | 78.5 | 73.9 | 73.1 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

現在の職場で 続き (問22)

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|------------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|--|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | | |
| (10) 人的ネットワーク形成 | | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) | |
| 1 必要ない | 1.3 | 1.1 | 1.1 | 1.2 | 6.3 | 0.3 | 1.0 | 3.1 | 0.8 | 1.7 | 1.9 | | |
| 2 あまり必要ない | 5.4 | 7.3 | 4.2 | 4.5 | 18.8 | 5.8 | 4.7 | 5.6 | 4.4 | 6.6 | 5.8 | | |
| 3 どちらともいえない | 10.4 | 13.0 | 11.4 | 8.2 | - | 8.0 | 13.0 | 11.7 | 8.5 | 13.6 | 5.8 | | |
| 4 ある程度必要 | 35.3 | 40.1 | 33.8 | 34.3 | 25.0 | 38.0 | 34.7 | 31.6 | 36.4 | 34.1 | 34.6 | | |
| 5 必要 | 47.6 | 38.4 | 49.4 | 51.8 | 50.0 | 47.9 | 46.6 | 48.0 | 49.9 | 43.9 | 51.9 | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (11) リーダーシップ | | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) | |
| 1 必要ない | 1.4 | 1.7 | 0.8 | 1.2 | 12.5 | 0.3 | 1.6 | 3.1 | 0.6 | 2.8 | - | | |
| 2 あまり必要ない | 3.0 | 5.1 | 3.4 | 0.4 | 12.5 | 2.6 | 2.6 | 4.1 | 1.9 | 4.2 | 3.8 | | |
| 3 どちらともいえない | 7.1 | 13.0 | 6.5 | 4.1 | - | 7.3 | 8.3 | 5.6 | 5.8 | 9.1 | 5.8 | | |
| 4 ある程度必要 | 24.1 | 32.8 | 26.6 | 15.9 | 12.5 | 23.6 | 27.5 | 21.5 | 23.1 | 25.4 | 23.1 | | |
| 5 必要 | 64.4 | 47.5 | 62.7 | 78.4 | 62.5 | 66.1 | 60.1 | 65.8 | 68.6 | 58.5 | 67.3 | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (12) プレゼンテーション | | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) | |
| 1 必要ない | 2.4 | 5.1 | 1.1 | 1.6 | 6.3 | 2.2 | 1.0 | 4.1 | 1.4 | 3.8 | 1.9 | | |
| 2 あまり必要ない | 3.3 | 5.6 | 3.0 | 1.2 | 12.5 | 1.9 | 5.7 | 3.1 | 1.9 | 3.8 | 9.6 | | |
| 3 どちらともいえない | 5.1 | 5.6 | 7.2 | 2.4 | 6.3 | 4.5 | 6.2 | 5.1 | 3.6 | 6.6 | 7.7 | | |
| 4 ある程度必要 | 30.1 | 29.9 | 28.1 | 31.9 | 37.5 | 31.6 | 32.6 | 25.0 | 32.2 | 28.6 | 23.1 | | |
| 5 必要 | 59.1 | 53.7 | 60.5 | 62.9 | 37.5 | 59.7 | 54.4 | 62.8 | 60.9 | 57.1 | 57.7 | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (13) 幅広い視野を持つこと | | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) | |
| 1 必要ない | 1.1 | 0.6 | 0.4 | 1.2 | 18.8 | 0.6 | 1.0 | 2.0 | 0.3 | 2.1 | 1.9 | | |
| 2 あまり必要ない | 2.6 | 5.1 | 2.7 | 0.4 | 6.3 | 1.3 | 2.6 | 4.6 | 0.6 | 4.9 | 3.8 | | |
| 3 どちらともいえない | 4.8 | 6.2 | 5.7 | 3.3 | - | 4.2 | 4.1 | 6.6 | 3.0 | 7.3 | 3.8 | | |
| 4 ある程度必要 | 23.5 | 24.3 | 23.2 | 22.9 | 31.3 | 22.7 | 27.5 | 20.9 | 23.7 | 22.3 | 28.8 | | |
| 5 必要 | 67.9 | 63.8 | 68.1 | 72.2 | 43.8 | 71.2 | 64.8 | 65.8 | 72.5 | 63.4 | 61.5 | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (14) チャレンジ精神を持つこと | | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) | |
| 1 必要ない | 1.9 | 1.7 | 1.5 | 1.6 | 12.5 | 0.3 | 1.6 | 4.6 | 0.8 | 2.4 | 5.8 | | |
| 2 あまり必要ない | 2.7 | 5.6 | 2.7 | 0.4 | 6.3 | 1.6 | 4.1 | 3.1 | 1.9 | 3.8 | 1.9 | | |
| 3 どちらともいえない | 6.8 | 6.2 | 5.7 | 8.2 | 12.5 | 6.4 | 7.8 | 6.6 | 5.0 | 9.8 | 3.8 | | |
| 4 ある程度必要 | 26.6 | 25.4 | 31.9 | 22.4 | 18.8 | 28.4 | 24.9 | 25.5 | 27.0 | 25.1 | 32.7 | | |
| 5 必要 | 62.0 | 61.0 | 58.2 | 67.3 | 50.0 | 63.3 | 61.7 | 60.2 | 65.3 | 58.9 | 55.8 | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (15) 倫理的な行動をとること | | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (701) | (176) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (196) | (362) | (287) | (52) | |
| 1 必要ない | 0.7 | - | 0.8 | 1.2 | - | - | 1.0 | 1.5 | - | 1.7 | - | | |
| 2 あまり必要ない | 1.7 | 2.3 | 1.1 | 1.6 | 6.3 | 1.3 | 2.1 | 2.0 | 1.4 | 2.4 | - | | |
| 3 どちらともいえない | 9.1 | 12.5 | 5.7 | 9.0 | 31.3 | 7.4 | 8.3 | 12.8 | 7.7 | 10.8 | 9.6 | | |
| 4 ある程度必要 | 24.5 | 29.5 | 26.2 | 19.6 | 18.8 | 25.0 | 28.5 | 19.9 | 25.7 | 23.0 | 25.0 | | |
| 5 必要 | 63.9 | 55.7 | 66.2 | 68.6 | 43.8 | 66.3 | 60.1 | 63.8 | 65.2 | 62.0 | 65.4 | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (16) 顧客志向 | | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) | |
| 1 必要ない | 1.4 | 1.1 | 1.1 | 1.6 | 6.3 | 1.3 | 1.0 | 2.0 | 1.1 | 2.1 | | | |
| 2 あまり必要ない | 2.7 | 2.8 | 3.0 | 1.2 | 18.8 | 1.9 | 3.1 | 3.6 | 1.4 | 4.2 | 3.8 | | |
| 3 どちらともいえない | 7.4 | 9.6 | 8.4 | 5.3 | - | 5.8 | 9.3 | 8.2 | 6.1 | 9.4 | 5.8 | | |
| 4 ある程度必要 | 24.2 | 31.1 | 22.4 | 22.0 | 12.5 | 24.0 | 22.3 | 26.5 | 23.1 | 25.8 | 23.1 | | |
| 5 必要 | 64.2 | 55.4 | 65.0 | 69.8 | 62.5 | 67.1 | 64.2 | 59.7 | 68.3 | 58.5 | 67.3 | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (17) ストレスに耐える強さ | | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) | |
| 1 必要ない | 0.4 | - | 0.4 | 0.8 | - | - | 0.5 | 1.0 | - | 0.7 | 1.9 | | |
| 2 あまり必要ない | 1.9 | 2.3 | 2.3 | 0.4 | 12.5 | 1.6 | 2.1 | 2.0 | 1.1 | 2.1 | 5.8 | | |
| 3 どちらともいえない | 7.0 | 9.0 | 8.0 | 4.9 | - | 6.1 | 9.3 | 6.1 | 7.2 | 7.0 | 5.8 | | |
| 4 ある程度必要 | 23.1 | 26.0 | 23.6 | 20.0 | 31.3 | 24.9 | 20.7 | 22.4 | 22.6 | 23.0 | 26.9 | | |
| 5 必要 | 67.7 | 62.7 | 65.8 | 73.9 | 56.3 | 67.4 | 67.4 | 68.4 | 69.1 | 67.2 | 59.6 | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (18) 内外の社会・政治・経済動向の理解 | | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (702) | (177) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (196) | (363) | (287) | (52) | |
| 1 必要ない | 1.7 | 1.7 | 1.1 | 1.6 | 12.5 | 1.3 | 0.5 | 3.6 | 0.6 | 2.8 | 3.8 | | |
| 2 あまり必要ない | 5.0 | 7.9 | 3.8 | 3.7 | 12.5 | 5.8 | 4.7 | 4.1 | 4.1 | 6.6 | 1.9 | | |
| 3 どちらともいえない | 10.5 | 13.0 | 11.4 | 8.2 | 6.3 | 7.7 | 9.3 | 16.3 | 8.8 | 13.2 | 7.7 | | |
| 4 ある程度必要 | 40.9 | 41.2 | 43.3 | 38.8 | 31.3 | 43.5 | 44.0 | 33.7 | 41.3 | 38.3 | 51.9 | | |
| 5 必要 | 41.9 | 36.2 | 40.3 | 47.8 | 37.5 | 41.9 | 41.5 | 42.3 | 45.2 | 39.0 | 34.6 | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

〇〇〇で身に付いたか (問22)

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|--------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | | 役員 | 無職 | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| (1) 課題を理解し設定する力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 身に付かない | 0.6 | 1.1 | 0.4 | 0.4 | - | - | 0.5 | 1.5 | 0.3 | 0.7 | 1.9 | |
| 2 あまり身に付かない | 3.0 | 2.2 | 1.5 | 4.5 | 12.5 | 2.2 | 5.2 | 2.0 | 1.7 | 4.9 | 1.9 | |
| 3 どちらともいえない | 9.8 | 11.2 | 9.5 | 9.4 | 6.3 | 9.3 | 12.4 | 8.1 | 9.9 | 8.7 | 15.1 | |
| 4 ある程度身に付く | 50.9 | 52.2 | 48.3 | 52.7 | 50.0 | 56.9 | 46.1 | 46.2 | 52.3 | 50.9 | 41.5 | |
| 5 身に付く | 35.7 | 33.1 | 40.3 | 33.1 | 31.3 | 31.6 | 35.8 | 42.1 | 35.8 | 34.8 | 39.6 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (2) 情報を収集し分析する力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 身に付かない | 2.0 | 2.2 | 0.4 | 3.7 | - | 1.0 | 1.0 | 4.6 | 1.4 | 2.8 | 1.9 | |
| 2 あまり身に付かない | 6.8 | 7.3 | 6.8 | 6.1 | 12.5 | 5.4 | 10.9 | 5.1 | 4.1 | 9.8 | 9.4 | |
| 3 どちらともいえない | 17.5 | 16.9 | 17.1 | 18.0 | 25.0 | 14.7 | 24.9 | 14.7 | 18.5 | 16.4 | 17.0 | |
| 4 ある程度身に付く | 46.1 | 47.2 | 44.9 | 46.1 | 50.0 | 52.4 | 37.3 | 44.7 | 46.0 | 47.7 | 37.7 | |
| 5 身に付く | 27.6 | 26.4 | 30.8 | 26.1 | 12.5 | 26.5 | 25.9 | 31.0 | 30.0 | 23.3 | 34.0 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (3) ものごとをやり遂げる力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 身に付かない | 5.7 | 3.4 | 6.1 | 6.5 | 12.5 | 5.8 | 4.1 | 7.1 | 5.2 | 5.9 | 7.5 | |
| 2 あまり身に付かない | 13.9 | 13.5 | 11.8 | 15.5 | 31.3 | 15.7 | 16.6 | 8.6 | 12.7 | 16.4 | 9.4 | |
| 3 どちらともいえない | 28.9 | 24.2 | 31.6 | 29.8 | 25.0 | 30.7 | 30.1 | 24.9 | 33.6 | 24.7 | 18.9 | |
| 4 ある程度身に付く | 33.4 | 41.0 | 29.3 | 33.1 | 18.8 | 34.5 | 29.5 | 35.5 | 32.5 | 33.8 | 37.7 | |
| 5 身に付く | 18.1 | 18.0 | 21.3 | 15.1 | 12.5 | 13.4 | 19.7 | 23.9 | 16.0 | 19.2 | 26.4 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (4) アイデアを生み出す力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 身に付かない | 6.5 | 6.7 | 5.7 | 7.3 | 6.3 | 5.4 | 5.2 | 9.6 | 5.8 | 7.3 | 7.5 | |
| 2 あまり身に付かない | 18.1 | 21.3 | 15.6 | 16.3 | 50.0 | 18.8 | 17.1 | 17.8 | 16.5 | 21.3 | 11.3 | |
| 3 どちらともいえない | 36.8 | 38.2 | 36.9 | 37.1 | 18.8 | 36.7 | 38.3 | 35.5 | 36.4 | 36.6 | 41.5 | |
| 4 ある程度身に付く | 30.2 | 29.2 | 29.3 | 33.1 | 6.3 | 31.0 | 30.1 | 28.9 | 32.0 | 27.9 | 30.2 | |
| 5 身に付く | 8.4 | 4.5 | 12.5 | 6.1 | 18.8 | 8.0 | 9.3 | 8.1 | 9.4 | 7.0 | 9.4 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (5) 柔軟に思考したり対処する力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 身に付かない | 2.7 | 3.4 | 1.5 | 3.3 | 6.3 | 2.2 | 2.6 | 3.6 | 1.9 | 3.1 | 5.7 | |
| 2 あまり身に付かない | 7.5 | 8.4 | 6.5 | 6.9 | 25.0 | 6.7 | 10.4 | 6.1 | 6.3 | 9.4 | 5.7 | |
| 3 どちらともいえない | 21.2 | 23.6 | 17.1 | 24.1 | 18.8 | 21.1 | 19.2 | 23.4 | 22.3 | 21.3 | 13.2 | |
| 4 ある程度身に付く | 46.4 | 46.6 | 45.2 | 47.8 | 37.5 | 47.9 | 50.3 | 40.1 | 47.7 | 43.6 | 52.8 | |
| 5 身に付く | 22.2 | 18.0 | 29.7 | 18.0 | 12.5 | 22.0 | 17.6 | 26.9 | 21.8 | 22.6 | 22.6 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (6) 指導・助言・育成する力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 身に付かない | 11.5 | 12.4 | 9.5 | 12.2 | 25.0 | 10.9 | 10.4 | 13.7 | 10.5 | 13.2 | 9.4 | |
| 2 あまり身に付かない | 27.0 | 30.9 | 27.4 | 22.9 | 37.5 | 28.1 | 28.5 | 23.9 | 27.5 | 27.2 | 22.6 | |
| 3 どちらともいえない | 35.6 | 34.8 | 38.0 | 34.3 | 25.0 | 36.1 | 37.3 | 33.0 | 35.3 | 35.5 | 37.7 | |
| 4 ある程度身に付く | 21.2 | 19.7 | 19.4 | 24.9 | 12.5 | 20.8 | 18.7 | 24.4 | 22.3 | 18.8 | 26.4 | |
| 5 身に付く | 4.7 | 2.2 | 5.7 | 5.7 | - | 4.2 | 5.2 | 5.1 | 4.4 | 5.2 | 3.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (7) 自己啓発力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 身に付かない | 2.8 | 3.9 | 1.5 | 3.3 | 6.3 | 2.9 | 0.5 | 5.1 | 1.9 | 3.8 | 3.8 | |
| 2 あまり身に付かない | 6.1 | 7.3 | 7.2 | 4.5 | - | 6.4 | 6.2 | 5.6 | 5.8 | 7.0 | 3.8 | |
| 3 どちらともいえない | 23.8 | 21.3 | 24.3 | 24.5 | 31.3 | 26.5 | 24.9 | 18.3 | 27.5 | 20.2 | 17.0 | |
| 4 ある程度身に付く | 37.7 | 36.0 | 35.4 | 41.6 | 31.3 | 39.3 | 38.3 | 34.5 | 38.8 | 36.6 | 35.8 | |
| 5 身に付く | 29.6 | 31.5 | 31.6 | 26.1 | 31.3 | 24.9 | 30.1 | 36.5 | 25.9 | 32.4 | 39.6 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (8) 対人折衝・交渉力 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 身に付かない | 6.3 | 5.1 | 5.3 | 6.5 | 31.3 | 4.8 | 6.7 | 8.1 | 4.4 | 8.4 | 7.5 | |
| 2 あまり身に付かない | 19.2 | 18.5 | 16.0 | 23.3 | 12.5 | 20.8 | 18.1 | 17.8 | 19.3 | 21.3 | 7.5 | |
| 3 どちらともいえない | 29.0 | 28.7 | 30.8 | 28.6 | 12.5 | 29.1 | 33.2 | 24.9 | 30.9 | 26.8 | 28.3 | |
| 4 ある程度身に付く | 35.4 | 36.5 | 35.4 | 34.3 | 43.8 | 33.9 | 35.8 | 37.6 | 34.7 | 34.5 | 45.3 | |
| 5 身に付く | 10.1 | 11.2 | 12.5 | 7.3 | - | 11.5 | 6.2 | 11.7 | 10.7 | 9.1 | 11.3 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (9) 対人コミュニケーション | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 身に付かない | 5.7 | 4.5 | 5.7 | 5.7 | 18.8 | 4.2 | 4.7 | 9.1 | 3.6 | 8.4 | 5.7 | |
| 2 あまり身に付かない | 13.1 | 12.4 | 9.1 | 17.1 | 25.0 | 15.0 | 14.0 | 9.1 | 12.7 | 15.0 | 5.7 | |
| 3 どちらともいえない | 26.5 | 26.4 | 26.2 | 27.3 | 12.5 | 29.7 | 22.8 | 24.9 | 27.5 | 23.3 | 35.8 | |
| 4 ある程度身に付く | 37.7 | 39.3 | 38.8 | 36.3 | 25.0 | 33.9 | 44.0 | 37.6 | 39.4 | 35.5 | 37.7 | |
| 5 身に付く | 17.1 | 17.4 | 20.2 | 13.5 | 18.8 | 17.3 | 14.5 | 19.3 | 16.8 | 17.8 | 15.1 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

〇〇〇で 続き (問22)

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|-----------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|--|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| (10) 人的ネットワーク形成 | | | | * | | | *** | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 身に付かない | 3.1 | 1.7 | 3.4 | 3.7 | 6.3 | 3.2 | 2.1 | 4.2 | 3.0 | 3.1 | 3.8 | |
| 2 あまり身に付かない | 8.1 | 7.9 | 6.8 | 9.4 | 12.5 | 11.5 | 4.7 | 6.1 | 7.7 | 9.4 | 3.8 | |
| 3 どちらともいえない | 24.9 | 23.6 | 19.4 | 31.8 | 25.0 | 27.8 | 25.9 | 19.3 | 28.1 | 20.9 | 24.5 | |
| 4 ある程度身に付く | 41.0 | 42.1 | 43.3 | 38.4 | 25.0 | 39.3 | 43.5 | 41.1 | 41.9 | 41.1 | 34.0 | |
| 5 身に付く | 22.9 | 24.7 | 27.0 | 16.7 | 31.3 | 18.2 | 23.8 | 29.4 | 19.3 | 25.4 | 34.0 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (11) リーダーシップ | | | ** | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 身に付かない | 7.1 | 3.4 | 7.2 | 8.6 | 25.0 | 7.7 | 5.7 | 7.6 | 7.2 | 7.7 | 3.8 | |
| 2 あまり身に付かない | 15.4 | 15.7 | 15.2 | 15.1 | 18.8 | 16.9 | 16.1 | 12.2 | 14.0 | 17.8 | 11.3 | |
| 3 どちらともいえない | 37.4 | 46.1 | 36.1 | 32.3 | 43.8 | 37.7 | 37.3 | 37.1 | 36.4 | 38.3 | 39.6 | |
| 4 ある程度身に付く | 31.7 | 29.2 | 32.3 | 34.3 | 6.3 | 30.4 | 32.6 | 33.0 | 33.1 | 33.1 | 37.7 | |
| 5 身に付く | 8.4 | 5.6 | 9.1 | 9.8 | 6.3 | 7.3 | 8.3 | 10.2 | 9.4 | 7.3 | 7.5 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (12) プレゼンテーション | | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 身に付かない | 3.6 | 1.7 | 4.6 | 3.7 | 6.3 | 3.8 | 1.6 | 5.1 | 3.3 | 4.3 | 1.9 | |
| 2 あまり身に付かない | 12.9 | 12.9 | 10.6 | 15.1 | 18.8 | 15.0 | 12.4 | 10.2 | 13.5 | 12.2 | 13.2 | |
| 3 どちらともいえない | 23.3 | 28.1 | 21.3 | 22.4 | 18.8 | 25.2 | 24.4 | 19.3 | 24.0 | 23.0 | 20.8 | |
| 4 ある程度身に付く | 44.0 | 42.7 | 44.5 | 44.9 | 31.3 | 42.5 | 45.6 | 44.7 | 42.4 | 44.9 | 49.1 | |
| 5 身に付く | 16.2 | 14.6 | 19.0 | 13.9 | 25.0 | 13.4 | 16.1 | 20.8 | 16.8 | 15.7 | 15.1 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (13) 幅広い視野を持つこと | | | | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 身に付かない | 2.0 | 1.7 | 1.5 | 2.0 | 12.5 | 2.6 | 0.5 | 2.5 | 1.7 | 2.4 | 1.9 | |
| 2 あまり身に付かない | 6.4 | 5.1 | 6.8 | 6.9 | 6.3 | 6.7 | 5.2 | 7.1 | 5.8 | 7.0 | 7.5 | |
| 3 どちらともいえない | 19.3 | 20.2 | 20.2 | 17.1 | 31.3 | 21.7 | 18.7 | 16.2 | 20.4 | 18.5 | 17.0 | |
| 4 ある程度身に付く | 47.4 | 47.2 | 45.6 | 50.6 | 25.0 | 47.0 | 51.8 | 43.7 | 48.5 | 47.5 | 39.6 | |
| 5 身に付く | 24.9 | 25.8 | 25.9 | 23.3 | 25.0 | 22.0 | 23.8 | 30.5 | 23.7 | 24.7 | 34.0 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (14) チャレンジ精神を持つこと | | | *** | | | | ** | | | * | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 身に付かない | 4.0 | 3.4 | 3.0 | 4.1 | 25.0 | 5.4 | 2.6 | 3.0 | 4.1 | 3.8 | 3.8 | |
| 2 あまり身に付かない | 10.7 | 9.6 | 9.1 | 13.1 | 12.5 | 12.8 | 7.8 | 10.2 | 9.6 | 12.5 | 7.5 | |
| 3 どちらともいえない | 34.4 | 38.2 | 31.9 | 34.7 | 31.3 | 35.8 | 40.9 | 25.9 | 39.4 | 30.3 | 22.6 | |
| 4 ある程度身に付く | 33.4 | 28.1 | 36.5 | 35.1 | 12.5 | 31.3 | 29.5 | 40.6 | 32.2 | 34.1 | 37.7 | |
| 5 身に付く | 17.5 | 20.8 | 19.4 | 13.1 | 18.8 | 14.7 | 19.2 | 20.3 | 14.6 | 19.2 | 28.3 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (15) 倫理的な行動をとること | | | * | | | | * | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 身に付かない | 16.9 | 14.0 | 14.8 | 20.0 | 37.5 | 15.7 | 13.5 | 22.3 | 13.2 | 20.9 | 20.8 | |
| 2 あまり身に付かない | 20.2 | 21.9 | 20.9 | 18.0 | 25.0 | 21.1 | 22.8 | 16.2 | 19.0 | 22.0 | 18.9 | |
| 3 どちらともいえない | 36.1 | 39.9 | 38.8 | 31.0 | 31.3 | 33.2 | 36.3 | 40.6 | 37.2 | 34.1 | 39.6 | |
| 4 ある程度身に付く | 17.1 | 15.7 | 14.4 | 21.6 | - | 20.1 | 18.1 | 11.2 | 19.8 | 14.3 | 13.2 | |
| 5 身に付く | 9.7 | 8.4 | 11.0 | 9.4 | 6.3 | 9.9 | 9.3 | 9.6 | 10.7 | 8.7 | 7.5 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (16) 顧客志向 | | | ** | | | | * | | | * | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 身に付かない | 12.5 | 13.5 | 10.3 | 13.1 | 31.3 | 11.5 | 14.5 | 12.2 | 9.6 | 16.7 | 9.4 | |
| 2 あまり身に付かない | 19.6 | 22.5 | 23.2 | 14.3 | 12.5 | 18.2 | 23.3 | 18.3 | 17.1 | 22.0 | 24.5 | |
| 3 どちらともいえない | 39.0 | 43.8 | 35.4 | 39.2 | 43.8 | 40.6 | 37.3 | 38.1 | 41.9 | 35.9 | 35.8 | |
| 4 ある程度身に付く | 22.3 | 15.7 | 23.6 | 26.1 | - | 23.6 | 20.7 | 21.8 | 25.3 | 18.5 | 22.6 | |
| 5 身に付く | 6.5 | 4.5 | 7.6 | 7.3 | 12.5 | 6.1 | 4.1 | 9.6 | 6.2 | 7.0 | 7.5 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (17) ストレスに耐える強さ | | | | | | | ** | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 身に付かない | 11.2 | 12.4 | 9.1 | 11.8 | 25.0 | 12.5 | 9.8 | 10.7 | 9.9 | 12.9 | 11.3 | |
| 2 あまり身に付かない | 18.5 | 15.7 | 17.9 | 20.4 | 31.3 | 22.4 | 17.1 | 13.7 | 20.1 | 16.4 | 18.9 | |
| 3 どちらともいえない | 31.3 | 34.8 | 31.2 | 30.2 | 12.5 | 30.7 | 36.3 | 27.4 | 32.2 | 31.7 | 22.6 | |
| 4 ある程度身に付く | 28.4 | 27.0 | 28.5 | 29.0 | 31.3 | 26.2 | 27.5 | 33.0 | 27.3 | 29.3 | 32.1 | |
| 5 身に付く | 10.5 | 10.1 | 13.3 | 8.6 | - | 8.3 | 9.3 | 15.2 | 10.5 | 9.8 | 15.1 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (18) 内外の社会・政治・経済動向の理解 | | | * | | | | | | | | | |
| (N) | (703) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) | |
| 1 身に付かない | 11.7 | 15.2 | 9.5 | 9.8 | 37.5 | 11.8 | 10.4 | 12.7 | 9.4 | 15.3 | 7.5 | |
| 2 あまり身に付かない | 19.5 | 19.7 | 20.2 | 18.0 | 31.3 | 21.7 | 17.6 | 17.8 | 18.7 | 20.6 | 18.9 | |
| 3 どちらともいえない | 36.0 | 34.3 | 35.7 | 38.8 | 18.8 | 38.7 | 36.8 | 31.0 | 39.7 | 31.7 | 34.0 | |
| 4 ある程度身に付く | 26.0 | 25.8 | 26.2 | 26.9 | 6.3 | 21.7 | 29.0 | 29.9 | 26.2 | 25.8 | 26.4 | |
| 5 身に付く | 6.8 | 5.1 | 8.4 | 6.5 | 6.3 | 6.1 | 6.2 | 8.6 | 6.1 | 6.6 | 13.2 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問23 ○○○での受講終了後、次のような経験をしましたか。当てはまるものを全て選んでください。

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|-----------|-------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------------|-------|------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| (N) | (704) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 転職した | 11.5 | 12.4 | 8.7 | 12.7 | 31.3 | 5.4 | 13.0 | 19.8 | 3.3 | 23.3 | 3.8 |
| 2 昇進した | 37.8 | 29.2 | 46.8 | 35.5 | 18.8 | 32.3 | 34.2 | 49.7 | 35.8 | 43.4 | 43.4 |
| 3 収入が増加した | 46.6 | 45.5 | 48.3 | 45.7 | 43.8 | 43.8 | 47.7 | 49.7 | 48.2 | 45.3 | 41.5 |
| 4 独立開業した | 2.7 | 2.2 | 1.9 | 3.3 | 12.5 | 1.3 | 1.0 | 6.6 | 1.1 | 4.9 | 1.9 |
| 5 部門を移動した | 37.5 | 31.5 | 38.0 | 41.6 | 31.3 | 32.6 | 39.9 | 42.6 | 35.8 | 36.2 | 54.7 |
| 6 就職した | 2.4 | 1.7 | 1.1 | 2.4 | 25.0 | 1.6 | 1.6 | 4.6 | 0.8 | 3.8 | 5.7 |

当てはまる経験に対して、○○○での学習はどの程度貢献しましたか。だいたい的印象で結構ですので、それぞれ1つずつ選んでください。

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| (1) 転職した | (N) | (81) | (22) | (23) | (31) | (5) | (17) | (25) | (39) | (12) | (67) | (2) |
| あまり貢献せず | 25.9 | 40.9 | 13.0 | 25.8 | 20.0 | 35.3 | 24.0 | 23.1 | 8.3 | 29.9 | - | |
| 少し貢献 | 30.9 | 13.6 | 47.8 | 32.3 | 20.0 | 23.5 | 44.0 | 25.6 | 41.7 | 28.4 | 50.0 | |
| 密接に貢献 | 28.4 | 31.8 | 26.1 | 29.0 | 20.0 | 17.6 | 16.0 | 41.0 | 25.0 | 29.9 | - | |
| わからない | 14.8 | 13.6 | 13.0 | 12.9 | 40.0 | 23.5 | 16.0 | 10.3 | 25.0 | 11.9 | 50.0 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (2) 昇進した | (N) | (265) | (52) | (123) | (87) | (3) | (101) | (66) | (98) | (130) | (112) | (23) |
| あまり貢献せず | 27.5 | 32.7 | 24.4 | 28.7 | 33.3 | 36.6 | 25.8 | 19.4 | 26.2 | 29.5 | 26.1 | |
| 少し貢献 | 46.0 | 44.2 | 51.2 | 41.4 | - | 45.5 | 50.0 | 43.9 | 50.0 | 42.9 | 39.1 | |
| 密接に貢献 | 10.9 | 11.5 | 13.0 | 8.0 | - | 1.0 | 9.1 | 22.4 | 7.7 | 15.2 | 8.7 | |
| わからない | 15.5 | 11.5 | 11.4 | 21.8 | 66.7 | 16.8 | 15.2 | 14.3 | 16.2 | 12.5 | 26.1 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (3) 収入が増加した | (N) | (327) | (81) | (127) | (122) | (7) | (137) | (92) | (98) | (175) | (130) | (22) |
| あまり貢献せず | 37.6 | 39.5 | 32.3 | 41.1 | 57.1 | 48.2 | 31.5 | 28.6 | 38.3 | 36.9 | 36.4 | |
| 少し貢献 | 41.0 | 42.0 | 45.7 | 35.7 | 28.6 | 36.5 | 44.6 | 43.9 | 41.1 | 40.8 | 40.9 | |
| 密接に貢献 | 7.3 | 8.6 | 7.9 | 6.3 | - | 1.5 | 5.4 | 17.3 | 3.4 | 13.1 | 4.5 | |
| わからない | 14.1 | 9.9 | 14.2 | 17.0 | 14.3 | 13.9 | 18.5 | 10.2 | 17.1 | 9.2 | 18.2 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (4) 独立開業した | (N) | (19) | (4) | (5) | (8) | (2) | (4) | (2) | (13) | (4) | (14) | (1) |
| あまり貢献せず | 21.1 | - | 20.0 | 37.5 | - | 50.0 | - | 15.4 | 25.0 | 21.4 | - | |
| 少し貢献 | 26.3 | 75.0 | 20.0 | 12.5 | - | - | 100.0 | 23.1 | - | 35.7 | - | |
| 密接に貢献 | 26.3 | - | 40.0 | 25.0 | 50.0 | - | - | 38.5 | 25.0 | 28.6 | - | |
| わからない | 26.3 | 25.0 | 20.0 | 25.0 | 50.0 | 50.0 | - | 23.1 | 50.0 | 14.3 | 100.0 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (5) 部門を移動した | (N) | (263) | (56) | (100) | (102) | (5) | (102) | (77) | (84) | (130) | (104) | (29) |
| あまり貢献せず | 35.7 | 32.1 | 29.0 | 44.1 | 40.0 | 39.2 | 37.7 | 29.8 | 37.7 | 37.5 | 20.7 | |
| 少し貢献 | 38.0 | 41.1 | 44.0 | 30.4 | 40.0 | 37.3 | 42.9 | 34.5 | 40.0 | 33.7 | 44.8 | |
| 密接に貢献 | 15.2 | 10.7 | 16.0 | 17.6 | - | 10.8 | 9.1 | 26.2 | 12.3 | 16.3 | 24.1 | |
| わからない | 11.0 | 16.1 | 11.0 | 7.8 | 20.0 | 12.7 | 10.4 | 9.5 | 10.0 | 12.5 | 10.3 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (6) 就職した | (N) | (16) | (3) | (3) | (6) | (4) | (5) | (3) | (9) | (3) | (11) | (3) |
| あまり貢献せず | 18.8 | - | - | 50.0 | - | 20.0 | - | 22.2 | 33.3 | 18.2 | - | |
| 少し貢献 | 18.8 | 33.3 | 66.7 | - | - | - | 33.3 | 33.3 | - | 27.3 | 33.3 | |
| 密接に貢献 | 12.5 | - | - | 16.7 | 25.0 | - | 33.3 | 11.1 | - | 9.1 | 33.3 | |
| わからない | 50.0 | 66.7 | 33.3 | 33.3 | 75.0 | 80.0 | 33.3 | 33.3 | 66.7 | 45.5 | 33.3 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問24 ○○○での受講終了後、次のような変化がありましたか。当てはまるものを全て選んでください。

| | 総計 (N) | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|------------------|-----------|---------------|----------------|---------------|--------------|-----------|--------------|--------------|---------------|---------------|------------|
| | | 役員無し (704) | 主任・係長 (178) | 課長以上 (263) | その他 (245) | 1 (16) | 2～3 (313) | 4以上 (193) | 会社派遣 (363) | 個人受講 (287) | 両方 (53) |
| 1 仕事に関する行動の変化 | 71.2 | 73.6 | 75.7 | 64.9 | 68.8 | 65.2 | 75.1 | 77.2 | 68.3 | 75.3 | 69.8 |
| 2 仕事以外の生活での行動の変化 | 31.8 | 36.0 | 38.0 | 21.2 | 43.8 | 23.0 | 34.2 | 43.7 | 24.2 | 41.1 | 34.0 |
| 3 物事に対する考え方 | 80.1 | 77.5 | 84.0 | 77.6 | 81.3 | 77.3 | 79.8 | 84.8 | 79.9 | 80.8 | 77.4 |
| 4 自分自身に対する見方 | 51.0 | 53.9 | 55.5 | 44.5 | 43.8 | 44.1 | 51.3 | 61.9 | 46.0 | 56.4 | 56.6 |
| 5 周囲の人々の自分への対し方 | 27.6 | 28.1 | 29.7 | 23.7 | 43.8 | 19.2 | 28.5 | 40.1 | 19.8 | 35.9 | 35.8 |

変化したものに關して、○○○での学習はどの程度貢献しましたか。 だいたい印象が結構ですので、それぞれ1つを選んでください。

| (1)仕事に関する行動の仕方 | (N) | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|-------------------|-------|---------------|----------------|---------------|--------------|-----------|--------------|--------------|---------------|---------------|-------------|------|
| | | 役員無し (498) | 主任・係長 (129) | 課長以上 (199) | その他 (158) | 1 (11) | 2～3 (202) | 4以上 (145) | 会社派遣 (151) | 個人受講 (246) | 両方 (216) | |
| あまり貢献せず | 3.0 | 3.9 | 2.5 | 2.5 | 9.1 | 2.5 | 4.1 | 2.6 | 2.8 | 3.7 | - | |
| 少し貢献 | 52.2 | 56.6 | 49.2 | 53.2 | 36.4 | 57.9 | 57.9 | 39.1 | 61.8 | 40.7 | 55.6 | |
| 密接に貢献 | 44.6 | 39.5 | 48.2 | 43.7 | 54.5 | 39.1 | 37.9 | 58.3 | 35.0 | 55.6 | 44.4 | |
| わからない | 0.2 | - | - | 0.6 | - | 0.5 | - | - | 0.4 | - | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (2)仕事以外の生活での行動の仕方 | (N) | (223) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| あまり貢献せず | 11.7 | 12.5 | 6.1 | 15.4 | 42.9 | 15.3 | 10.6 | 9.4 | 5.7 | 16.2 | 11.1 | |
| 少し貢献 | 49.3 | 51.6 | 53.5 | 42.3 | 28.6 | 45.8 | 60.6 | 43.5 | 56.8 | 45.3 | 38.9 | |
| 密接に貢献 | 35.9 | 32.8 | 35.4 | 42.3 | 28.6 | 37.5 | 25.8 | 42.4 | 30.7 | 37.6 | 50.0 | |
| わからない | 3.1 | 3.1 | 5.1 | - | - | 1.4 | 3.0 | 4.7 | 6.8 | 0.9 | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (3)物事に対する考え方 | (N) | (560) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| あまり貢献せず | 1.3 | - | 1.4 | 2.1 | - | 0.4 | 2.6 | 1.2 | 1.7 | 0.9 | - | |
| 少し貢献 | 52.7 | 55.9 | 50.7 | 52.1 | 61.5 | 57.4 | 57.9 | 41.2 | 59.3 | 46.7 | 40.0 | |
| 密接に貢献 | 45.5 | 43.4 | 47.5 | 45.3 | 38.5 | 41.7 | 38.2 | 57.6 | 38.6 | 51.5 | 60.0 | |
| わからない | 0.5 | 0.7 | 0.5 | 0.5 | - | 0.4 | 1.3 | - | 0.3 | 1.0 | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (4)自分自身に対する見方 | (N) | (358) | (95) | (146) | (109) | (7) | (138) | (98) | (122) | (167) | (161) | (30) |
| あまり貢献せず | 3.6 | 5.3 | 3.4 | 2.8 | - | 2.2 | 5.1 | 4.1 | 2.4 | 5.0 | 3.3 | |
| 少し貢献 | 52.5 | 62.1 | 50.0 | 49.5 | 14.3 | 64.5 | 60.2 | 32.8 | 61.7 | 43.5 | 50.0 | |
| 密接に貢献 | 41.1 | 31.6 | 42.5 | 45.9 | 71.4 | 29.7 | 33.7 | 59.8 | 33.5 | 47.8 | 46.7 | |
| わからない | 2.8 | 1.1 | 4.1 | 1.8 | 14.3 | 3.6 | 1.0 | 3.3 | 2.4 | 3.7 | - | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (5)周囲の人々の自分への対し方 | (N) | (194) | (50) | (78) | (58) | (7) | (60) | (55) | (79) | (72) | (103) | (19) |
| あまり貢献せず | 10.8 | 10.0 | 10.3 | 12.1 | 14.3 | 11.7 | 10.9 | 10.1 | 11.1 | 11.7 | 5.3 | |
| 少し貢献 | 55.7 | 78.0 | 50.0 | 46.6 | 42.9 | 58.3 | 61.8 | 49.4 | 65.3 | 49.5 | 52.6 | |
| 密接に貢献 | 25.8 | 8.0 | 32.1 | 32.8 | 28.6 | 23.3 | 20.0 | 31.6 | 19.4 | 29.1 | 31.6 | |
| わからない | 7.7 | 4.0 | 7.7 | 8.6 | 14.3 | 6.7 | 7.3 | 8.9 | 4.2 | 9.7 | 10.5 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問25 あなたは次の点にどの程度満足していますか。それぞれあてはまるものを1つ選んでください。

| | (N) | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|----------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|------|
| | | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| 総計 | | | | | | | | | | | | |
| (1)講師 | | | | | | | | | | | | |
| 1 非常に不満 | 1.6 | 1.1 | 1.5 | 2.0 | - | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.7 | 1.4 | 1.9 | |
| 2 不満 | 6.5 | 6.2 | 4.6 | 8.6 | 12.5 | 7.1 | 5.7 | 6.6 | 5.8 | 7.7 | 5.7 | |
| 3 どちらともいえない | 9.5 | 11.3 | 9.1 | 9.0 | 6.3 | 8.3 | 10.9 | 10.2 | 9.1 | 10.1 | 9.4 | |
| 4 満足 | 49.2 | 49.7 | 45.6 | 52.7 | 43.8 | 48.7 | 50.3 | 48.7 | 48.1 | 51.9 | 41.5 | |
| 5 非常に満足 | 33.1 | 31.6 | 39.2 | 27.8 | 37.5 | 34.3 | 31.6 | 33.0 | 35.4 | 28.9 | 41.5 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (2)他の受講学生 | | | | | | | | | | | | |
| 1 非常に不満 | 2.8 | 3.4 | 2.7 | 2.0 | 12.5 | 1.9 | 2.6 | 4.6 | 2.2 | 3.8 | 1.9 | |
| 2 不満 | 8.5 | 10.2 | 8.0 | 7.3 | 18.8 | 8.7 | 9.8 | 7.1 | 8.6 | 9.1 | 5.7 | |
| 3 どちらともいえない | 22.3 | 23.2 | 21.7 | 22.9 | 12.5 | 22.4 | 22.8 | 21.8 | 23.2 | 22.3 | 17.0 | |
| 4 満足 | 50.5 | 46.3 | 49.8 | 54.3 | 50.0 | 50.0 | 51.8 | 49.7 | 51.9 | 47.7 | 54.7 | |
| 5 非常に満足 | 15.8 | 16.9 | 17.9 | 13.5 | 6.3 | 17.0 | 13.0 | 16.8 | 14.1 | 17.1 | 20.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (3)開講科目 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) |
| 1 非常に不満 | 0.7 | 0.6 | 0.4 | 1.2 | - | - | 1.6 | 1.0 | 0.6 | 0.7 | 1.9 | |
| 2 不満 | 3.6 | 4.0 | 2.3 | 4.5 | 6.3 | 3.2 | 4.1 | 3.6 | 2.8 | 4.9 | 1.9 | |
| 3 どちらともいえない | 15.9 | 19.8 | 12.9 | 14.7 | 37.5 | 15.7 | 18.7 | 13.2 | 15.7 | 16.7 | 11.3 | |
| 4 満足 | 59.9 | 58.8 | 57.4 | 64.1 | 50.0 | 59.3 | 60.1 | 60.9 | 62.4 | 57.1 | 58.5 | |
| 5 非常に満足 | 19.9 | 16.9 | 27.0 | 15.5 | 6.3 | 21.8 | 15.5 | 21.3 | 18.5 | 20.6 | 26.4 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (4)教材 | | | | | | | | | | | | |
| 1 非常に不満 | 1.7 | 1.1 | 1.1 | 2.9 | - | 1.0 | 2.1 | 2.5 | 1.7 | 1.7 | 1.9 | |
| 2 不満 | 11.5 | 13.0 | 7.6 | 14.3 | 18.8 | 10.3 | 13.5 | 11.7 | 10.5 | 12.9 | 11.3 | |
| 3 どちらともいえない | 17.8 | 19.2 | 18.6 | 15.1 | 31.3 | 16.7 | 20.2 | 17.3 | 18.8 | 17.4 | 13.2 | |
| 4 満足 | 57.0 | 57.1 | 57.0 | 58.0 | 37.5 | 59.0 | 53.9 | 56.9 | 56.6 | 56.4 | 62.3 | |
| 5 非常に満足 | 11.9 | 9.6 | 15.6 | 9.8 | 12.5 | 13.1 | 10.4 | 11.7 | 12.4 | 11.5 | 11.3 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (5)学習サポート体制 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) |
| 1 非常に不満 | 2.1 | 2.8 | 0.4 | 3.3 | 6.3 | 1.0 | 1.6 | 4.6 | 1.4 | 3.1 | 1.9 | |
| 2 不満 | 11.9 | 13.6 | 8.0 | 13.9 | 18.3 | 10.6 | 10.9 | 14.7 | 9.7 | 15.0 | 9.4 | |
| 3 どちらともいえない | 41.8 | 42.9 | 41.1 | 42.0 | 43.8 | 40.4 | 46.6 | 39.6 | 43.1 | 40.8 | 39.6 | |
| 4 満足 | 36.3 | 35.6 | 37.6 | 35.9 | 31.3 | 38.8 | 35.8 | 33.0 | 38.1 | 32.1 | 47.2 | |
| 5 非常に満足 | 7.8 | 5.1 | 12.9 | 4.9 | 9.3 | 9.3 | 5.2 | 8.1 | 7.7 | 9.1 | 1.9 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (6)各種セミナー等の開催 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) |
| 1 非常に不満 | 2.0 | 2.8 | 1.1 | 2.0 | 6.3 | 1.0 | 1.6 | 4.1 | 0.8 | 3.1 | 3.8 | |
| 2 不満 | 6.7 | 7.9 | 5.7 | 6.5 | 6.3 | 3.8 | 5.7 | 12.2 | 5.0 | 9.1 | 5.7 | |
| 3 どちらともいえない | 60.2 | 57.6 | 58.2 | 64.5 | 56.3 | 64.7 | 56.5 | 56.3 | 65.7 | 55.4 | 47.2 | |
| 4 満足 | 27.7 | 29.4 | 28.1 | 26.5 | 25.0 | 26.6 | 34.2 | 23.4 | 26.0 | 27.9 | 39.6 | |
| 5 非常に満足 | 3.4 | 2.3 | 6.8 | 0.4 | 6.3 | 3.8 | 2.1 | 4.1 | 2.5 | 4.5 | 3.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (7)総合満足度 | | | | | | | | | | | | |
| | (N) | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) |
| 1 非常に不満 | 0.9 | 0.6 | 0.8 | 0.8 | 6.3 | - | 1.6 | 1.5 | 0.6 | 1.0 | 1.9 | |
| 2 不満 | 4.1 | 4.0 | 3.0 | 5.7 | - | 3.5 | 4.7 | 4.6 | 3.3 | 5.6 | 1.9 | |
| 3 どちらともいえない | 10.5 | 12.4 | 8.4 | 9.8 | 37.5 | 11.2 | 10.4 | 9.6 | 8.8 | 12.9 | 9.4 | |
| 4 満足 | 68.3 | 71.2 | 65.8 | 70.2 | 43.8 | 68.6 | 71.5 | 64.5 | 71.5 | 63.8 | 69.8 | |
| 5 非常に満足 | 16.2 | 11.9 | 22.1 | 13.5 | 12.5 | 16.7 | 11.9 | 19.8 | 15.7 | 16.7 | 17.0 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問26 あなたは○○○を他の人にも勧めますか。

| | (N) | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|----|
| | | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | 1 | 2~3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| 総計 | | | | | | | | | | | | |
| 他の人にも勧めるか | | | | | | | | | | | | |
| 1 全く勧めない | 1.4 | 0.6 | 1.5 | 1.6 | 6.3 | 1.9 | 1.0 | 1.0 | 1.4 | 1.7 | - | |
| 2 あまり勧めない | 6.3 | 6.8 | 5.3 | 6.5 | 12.5 | 5.1 | 8.8 | 5.6 | 6.1 | 7.0 | 3.8 | |
| 3 ある程度勧める | 66.9 | 70.1 | 65.4 | 65.3 | 75.0 | 67.9 | 67.9 | 64.0 | 66.9 | 68.3 | 58.5 | |
| 4 強く勧める | 25.5 | 22.6 | 27.8 | 26.5 | 6.3 | 25.0 | 22.3 | 29.4 | 25.7 | 23.0 | 37.7 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問27 ○○○におけるあなたの学習姿勢について伺います。それぞれあてはまるものを1つ選んでください。

| | (N) | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|-------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|----|
| | | 総計 | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| (1) 予習をしっかりと | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) | |
| 1 全く当てはまらない | 2.1 | 0.6 | 3.0 | 2.0 | 6.3 | 1.6 | 3.6 | 1.5 | 2.5 | 1.4 | 3.8 | |
| 2 あまり当てはまらない | 12.2 | 14.1 | 12.2 | 11.0 | 12.5 | 12.8 | 14.5 | 9.1 | 10.5 | 15.3 | 7.5 | |
| 3 ある程度当てはまる | 52.6 | 57.1 | 48.7 | 53.1 | 56.3 | 53.5 | 46.1 | 57.4 | 54.5 | 50.9 | 49.1 | |
| 4 よく当てはまる | 33.0 | 28.2 | 36.1 | 33.9 | 25.0 | 32.1 | 35.8 | 32.0 | 32.6 | 32.4 | 39.6 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (2) 授業中発言や質問を積極的にした | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) | |
| 1 全く当てはまらない | 5.8 | 3.4 | 6.8 | 6.1 | 12.5 | 5.8 | 7.3 | 4.6 | 6.1 | 6.3 | 1.9 | |
| 2 あまり当てはまらない | 22.2 | 23.2 | 23.6 | 20.0 | 25.0 | 25.3 | 23.3 | 16.2 | 24.3 | 18.8 | 26.4 | |
| 3 ある程度当てはまる | 44.1 | 46.3 | 43.7 | 43.3 | 31.3 | 45.2 | 40.4 | 45.7 | 43.4 | 46.3 | 35.8 | |
| 4 よく当てはまる | 27.9 | 27.1 | 25.9 | 30.6 | 31.3 | 23.7 | 29.0 | 33.5 | 26.2 | 28.6 | 35.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (3) 復習をしっかりと | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) | |
| 1 全く当てはまらない | 8.4 | 6.8 | 6.8 | 10.6 | 18.8 | 9.0 | 8.3 | 7.6 | 10.5 | 7.0 | 1.9 | |
| 2 あまり当てはまらない | 44.1 | 43.5 | 41.4 | 47.3 | 37.5 | 46.5 | 39.4 | 44.7 | 47.5 | 40.4 | 39.6 | |
| 3 ある程度当てはまる | 39.4 | 41.8 | 43.0 | 34.7 | 31.3 | 36.5 | 43.0 | 40.6 | 35.4 | 43.9 | 43.4 | |
| 4 よく当てはまる | 8.1 | 7.9 | 8.7 | 7.3 | 12.5 | 8.0 | 9.3 | 7.1 | 6.6 | 8.7 | 15.1 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (4) メーリングリストを積極的に活用した | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) | |
| 1 全く当てはまらない | 21.1 | 15.3 | 19.8 | 26.1 | 31.3 | 27.6 | 17.6 | 14.2 | 25.7 | 17.1 | 11.3 | |
| 2 あまり当てはまらない | 37.3 | 42.4 | 35.7 | 35.9 | 25.0 | 41.7 | 35.2 | 32.0 | 39.0 | 33.4 | 45.3 | |
| 3 ある程度当てはまる | 29.2 | 27.1 | 30.4 | 29.4 | 25.0 | 21.8 | 33.2 | 37.1 | 25.7 | 34.1 | 26.4 | |
| 4 よく当てはまる | 12.5 | 15.3 | 14.1 | 8.4 | 18.8 | 9.0 | 14.0 | 16.8 | 9.7 | 15.3 | 17.0 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (5) 勉強会を積極的に活用した | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) | |
| 1 全く当てはまらない | 35.7 | 31.1 | 35.0 | 40.8 | 25.0 | 46.5 | 32.6 | 21.8 | 43.9 | 27.2 | 26.4 | |
| 2 あまり当てはまらない | 29.4 | 29.4 | 31.9 | 27.8 | 18.8 | 31.7 | 29.5 | 25.9 | 29.8 | 30.0 | 24.5 | |
| 3 ある程度当てはまる | 21.1 | 24.3 | 18.3 | 20.4 | 37.5 | 13.8 | 22.8 | 31.0 | 17.7 | 24.7 | 24.5 | |
| 4 よく当てはまる | 13.8 | 15.3 | 14.8 | 11.0 | 18.8 | 8.0 | 15.0 | 21.3 | 8.6 | 18.1 | 24.5 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (6) ○○○の提供する各種セミナーに参加した | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) | |
| 1 全く当てはまらない | 52.8 | 50.8 | 52.1 | 55.1 | 50.0 | 63.1 | 48.2 | 40.6 | 64.4 | 38.3 | 50.9 | |
| 2 あまり当てはまらない | 30.2 | 29.9 | 29.7 | 32.7 | - | 27.2 | 33.2 | 32.0 | 29.0 | 32.1 | 28.3 | |
| 3 ある程度当てはまる | 14.4 | 17.5 | 14.8 | 11.0 | 25.0 | 9.0 | 14.0 | 23.4 | 6.1 | 24.4 | 17.0 | |
| 4 よく当てはまる | 2.7 | 1.7 | 3.4 | 1.2 | 25.0 | 0.6 | 4.7 | 4.1 | 0.6 | 5.2 | 3.8 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (7) テキスト以外の関連書物も学習した | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) | |
| 1 全く当てはまらない | 8.1 | 8.5 | 6.1 | 10.6 | - | 11.5 | 6.7 | 4.1 | 10.8 | 5.2 | 5.7 | |
| 2 あまり当てはまらない | 20.8 | 24.3 | 18.3 | 21.2 | 12.5 | 21.8 | 21.8 | 17.7 | 21.8 | 18.5 | 24.5 | |
| 3 ある程度当てはまる | 50.6 | 48.0 | 51.3 | 52.2 | 43.8 | 50.3 | 51.3 | 50.8 | 52.2 | 49.8 | 45.3 | |
| 4 よく当てはまる | 20.5 | 19.2 | 24.3 | 15.9 | 43.8 | 16.3 | 20.2 | 27.4 | 15.2 | 26.5 | 24.5 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| (8) 学習したことを職場ですぐに実践した | (703) | (177) | (263) | (245) | (16) | (312) | (193) | (197) | (362) | (287) | (53) | |
| 1 全く当てはまらない | 4.7 | 6.2 | 3.4 | 4.1 | 18.8 | 5.8 | 2.6 | 5.1 | 4.4 | 5.6 | 1.9 | |
| 2 あまり当てはまらない | 25.9 | 36.2 | 22.4 | 22.4 | 25.0 | 26.9 | 28.0 | 22.3 | 28.2 | 23.0 | 26.4 | |
| 3 ある程度当てはまる | 52.1 | 37.3 | 55.9 | 60.4 | 25.0 | 51.3 | 56.5 | 49.2 | 53.6 | 51.9 | 43.4 | |
| 4 よく当てはまる | 17.4 | 20.3 | 18.3 | 13.1 | 31.3 | 16.0 | 13.0 | 23.4 | 13.8 | 19.5 | 28.3 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |

問28 あなたは今後どのような手段で職業能力を身に付けていきたいと考えていますか。当てはまるものを全て選んでください。

| | (N) | 受講前の職階 | | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | |
|--------------------------------|------|--------|------|-------|------|------|-------|------|------|------------|------|----|
| | | 総計 | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 |
| 1 ○○○で別の科目を受講したい | 49.4 | 50.3 | 55.5 | 43.4 | 31.3 | 51.0 | 56.0 | 40.6 | 51.1 | 47.7 | 47.2 | |
| 2 ○○○以外の民間学習機関で学びたい | 27.3 | 24.3 | 27.8 | 27.8 | 43.8 | 26.6 | 32.6 | 23.4 | 29.6 | 24.4 | 28.3 | |
| 3 大学院で勉強したい どの大学院？ どの分野？ | 25.0 | 34.5 | 22.8 | 20.0 | 37.5 | 19.6 | 22.8 | 36.0 | 18.8 | 32.8 | 26.4 | |
| 国内 | (32) | (37) | (28) | (2) | (31) | (30) | (38) | (41) | (49) | (9) | (9) | |
| 国外 | (29) | (23) | (21) | (4) | (30) | (14) | (33) | (27) | (45) | (5) | (5) | |
| 経営 | (51) | (54) | (42) | (5) | (51) | (41) | (60) | (59) | (81) | (12) | (12) | |
| その他 | (10) | (6) | (7) | (1) | (10) | (3) | (11) | (9) | (13) | (2) | (2) | |
| 4 その他 | 27.5 | 22.0 | 28.1 | 29.8 | 37.5 | 26.6 | 24.9 | 31.0 | 24.0 | 31.0 | 30.2 | |

あなたご自身について伺います

問29 あなたの性別・年齢をお答えください。

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|----------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| (1)性別 | (N) | (704) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 男 | | 84.8 | 66.3 | 87.1 | 95.9 | 87.5 | 86.9 | 83.4 | 82.7 | 89.0 | 81.2 | 75.5 |
| 2 女 | | 15.2 | 33.7 | 12.9 | 4.1 | 12.5 | 13.1 | 16.6 | 17.3 | 11.0 | 18.8 | 24.5 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (2)年齢 | (N) | (704) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 ～29才 | | 7.2 | 23.0 | 1.9 | 0.8 | 18.8 | 8.9 | 8.3 | 3.6 | 5.5 | 9.8 | 5.7 |
| 2 30～34才 | | 23.6 | 50.6 | 24.7 | 3.3 | 18.8 | 23.6 | 26.4 | 20.8 | 19.8 | 28.2 | 24.5 |
| 3 35～39才 | | 29.1 | 20.2 | 46.8 | 17.1 | 25.0 | 28.1 | 29.0 | 31.0 | 28.1 | 30.7 | 28.3 |
| 4 40～44才 | | 24.3 | 5.1 | 22.1 | 39.6 | 37.5 | 21.4 | 25.4 | 27.4 | 25.9 | 21.6 | 26.4 |
| 5 45～49才 | | 11.1 | 0.6 | 4.2 | 26.5 | - | 12.5 | 9.3 | 10.7 | 15.2 | 5.9 | 11.3 |
| 6 50～才 | | 4.7 | 0.6 | 0.4 | 12.7 | - | 5.4 | 1.6 | 6.6 | 5.5 | 3.8 | 3.8 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

問30 ○○○を受講する以前の最終学歴について伺います。

| | 総計 | 受講前の職階 | | | | 受講科目数 | | | 会社派遣か個人受講か | | | |
|---------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| | | 役員無し | 主任・係長 | 課長以上 | その他 | 1 | 2～3 | 4以上 | 会社派遣 | 個人受講 | 両方 | |
| (1)最終学歴 | (N) | (704) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 高専・専門学校・短期大学 | | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 2.9 | 6.3 | 2.9 | 3.6 | 4.1 | 1.9 | 4.9 | 5.7 |
| 2 大学 | | 76.3 | 79.2 | 75.7 | 75.5 | 68.8 | 75.7 | 76.2 | 77.2 | 76.0 | 77.0 | 73.6 |
| 3 大学院修士課程 | | 15.9 | 15.7 | 15.2 | 17.1 | 12.5 | 16.0 | 16.1 | 15.7 | 16.0 | 15.7 | 17.0 |
| 4 大学院博士課程 | | 1.0 | - | 1.1 | 1.2 | 6.3 | 1.6 | 0.5 | 0.5 | 1.4 | 0.7 | - |
| 5 その他 | | 3.4 | 1.7 | 4.6 | 3.3 | 6.3 | 3.8 | 3.6 | 2.5 | 4.7 | 1.7 | 3.8 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (2)修了年 | (N) | (704) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 1980～1984年 | | 26.4 | 4.5 | 11.8 | 58.0 | 25.0 | 28.1 | 24.4 | 25.9 | 33.1 | 19.2 | 20.8 |
| 2 1985～1989年 | | 24.4 | 10.1 | 30.4 | 28.6 | 18.8 | 21.1 | 22.3 | 31.5 | 23.4 | 25.1 | 26.4 |
| 3 1990～1994年 | | 25.9 | 27.0 | 41.8 | 9.0 | 12.5 | 26.5 | 26.9 | 23.9 | 24.8 | 26.1 | 32.1 |
| 4 1995～2000年 | | 19.3 | 53.4 | 11.4 | 2.9 | 25.0 | 21.7 | 20.7 | 14.2 | 17.6 | 22.0 | 17.0 |
| 5 2001～年 | | 4.0 | 5.1 | 4.6 | 1.6 | 18.8 | 2.6 | 5.7 | 4.6 | 1.1 | 7.7 | 3.8 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| (3)専攻分野 (重複あり) | (N) | (704) | (178) | (263) | (245) | (16) | (313) | (193) | (197) | (363) | (287) | (53) |
| 1 経営学・商学 | | 14.8 | 18.0 | 12.9 | 13.1 | 37.5 | 14.1 | 18.7 | 12.2 | 15.4 | 13.2 | 18.9 |
| 2 経済学 | | 14.5 | 10.1 | 19.8 | 11.8 | 18.8 | 16.0 | 10.9 | 15.7 | 14.0 | 15.7 | 11.3 |
| 3 法学 | | 11.5 | 8.4 | 12.5 | 12.2 | 12.5 | 11.5 | 10.9 | 11.7 | 11.0 | 12.9 | 5.7 |
| 4 政治学・政策科学 | | 3.7 | 6.2 | 3.4 | 2.4 | - | 3.5 | 2.6 | 5.1 | 3.9 | 3.8 | 1.9 |
| 5 社会学 | | 3.8 | 8.4 | 1.5 | 2.9 | 6.3 | 3.5 | 4.7 | 3.6 | 3.9 | 3.1 | 7.5 |
| 6 心理学 | | 1.4 | 2.8 | 1.1 | 0.8 | - | 1.0 | 1.6 | 2.0 | 1.4 | 1.7 | - |
| 7 文学・外国語学・哲学・歴史学・美学 | | 7.2 | 10.7 | 7.2 | 4.5 | 6.3 | 5.1 | 8.8 | 9.1 | 2.8 | 12.5 | 9.4 |
| 8 教育学 | | 2.6 | 3.9 | 2.7 | 0.8 | 12.5 | 2.9 | 2.1 | 2.5 | 2.5 | 3.1 | - |
| 9 理学 | | 5.7 | 5.1 | 3.8 | 8.6 | - | 6.7 | 5.2 | 4.6 | 7.2 | 4.2 | 3.8 |
| 10 工学 | | 25.4 | 19.1 | 24.0 | 33.1 | 6.3 | 27.2 | 24.4 | 23.9 | 30.0 | 20.2 | 18.9 |
| 11 農学 | | 2.7 | 3.9 | 3.0 | 1.6 | - | 2.2 | 3.1 | 3.0 | 2.5 | 3.1 | 1.9 |
| 12 医学・歯学・薬学・看護学 | | 3.7 | 1.1 | 4.6 | 4.9 | - | 2.9 | 3.6 | 5.1 | 3.3 | 2.4 | 13.2 |
| 13 芸術 | | 0.7 | 1.1 | 0.8 | - | 6.3 | 1.0 | 0.5 | 0.5 | 1.1 | 0.3 | - |
| 14 その他 | | 5.3 | 6.7 | 4.9 | 3.7 | 18.8 | 4.2 | 5.7 | 6.6 | 3.9 | 6.6 | 7.5 |

資料 B 自由記述

- ※ 「〇〇〇」は固有名詞、「△△△」は科目名を示す。
- ※ 原文には訂正を加えていないが、誤記と思われる部分については〔 〕で補足している。

●現会社に入社時から営業をやっております。消費財メーカーで社員教育に力を入れており社内研修・昇格の為の集合研修と言った人事研修は一通り終了してます。今回〇〇〇を受講したのは会社での研修で学んだ知識の深堀と現役割を果たす上で欠落している知識を再度棚卸したいと言う思いからでした。学習する中でかねてから感じていたファイナンスの知識が無い事を痛切しました。役割拡大に伴い求められるスキルが変化する中、自己啓発にどれだけ時間・費用が費やせるかだと思います。

●〇〇〇での学習は居間〔今〕まで経験したことがない方式（講義式でない）であったので、最初は戸惑うこともあったが、事前学習の大切さを教えられ、自ら積極的に学ぶということで、研修内容その都度身についていくことがわかりました。また、様々な企業、分野の受講生と交流することで、非常に啓発、刺激されました。他の講座を受講するつもりでしたが、月月火水木金金の状態になり断念しましたが、たった1回の受講でも非常に勉強になりました。願わくばもっと早い時期（40歳まで）に受講できれば自分のキャリア形成や業務の専門性追及のためには良かったと感じています。

●〇〇〇には再度、行きたいと考えています。体調的な問題で本意ながら、リタイアしたので別の科目からでも行き直そうと考えているところです。就職活動中ですが、『就職』ばかりがキャリア形成の常道ではないのではないかと、今現在思っています。

●〇〇〇のカリキュラム等の運営に、非常に真摯な努力をされており、今後益々この方向をすすめていただきたいと思います。

●〇〇〇受講によって身についたことは、仕事を遂行するにあたって常に「理由付け」を考えるようになったことです。直面した問題に対して短絡的に対策や結論を出さずに、一度出した結論に対しても、論理的な理由付け、説明が出来るかを考えるようになったことだと思います。

●ケーススタディを中心としたカリキュラム、あるいは仕事を持ちながらも受講できるような開講スケジュールなど、非常に良いシステムだと感心した。受講生のレベルも総じて高く（私の経験したクラスのみ印象だが）、特に自身のキャリア形成に向けての意欲が高いことに、良い刺激を受けた。一方で、〇〇〇の職員の中には、受講生に対してのサービス精神を欠く方も散見し、急成長企業？のひずみを感じる場面もあった。どちらかと言えば、若手のできる人間をより伸ばすという、リーダー育成系のビジネススクールという印象で、〇〇〇代表の理念も、ビジネスの世界で日本を担う人材を育てたいというところにあるのかもしれないと、勝手に解釈している。逆に、意欲はあるが機会の少ない、Cクラス人材への教育機会を提供するようなビジネススクールでは、経営が難しいのかも勘ぐった。私自身は既に後進育成の年代と思うが、自身のキャリアをさらに積み上げて行く上でも、このようなビジネススクールが更に増え、個々に特徴をだしながら、色々な層の方に経営学を学ぶ機会が提供されるようになることが、望ましいことだと考えている。

●基礎講座の1科目のみ受講しただけなので、他の科目の講座も受講したいと思っている。

●仕事に対する考え方は時とともに変化する。よく「20代半ばには自分の生きていく分野を決めて仕事しろ」などと言われるが、柔軟に対処することが必要。最近では早く自分の組織を持って仕事がしたいと感じる。将来は自分たちの会社を立ち上げたい。

●現在大学院に進学中です。最初に受講した△△△は、視野がひろがりましたがスキルアップにはつながらなかったように思います。2つ目の△△△は、自分の思考の癖がわかったのでとても役に立ちましたが、継続性が必要でもあるため、きっかけで終わった人もいます。「高等教育」という観点で一定のスキルを身につけるのであれば、3ヶ月間という短期集中ではなく一定期間の学習が必要だと思います。4科目1年間通学した方にとってはどうでしょうか？個人的には継続勉強するのであれば、大学院（但し夜間）

の方が有益と思います。

●「△△△」科目の内容が非常に良かった。受講しやすさで選んだが、期待以上に成果があった。キャリアの中断なく、ペースに合わせて受講できるのが最大の魅力。最近を受講生のコミュニティもいろいろ出来ているようで、自分はそういうものが苦手なので少し速さかかってしまったが、熱心な人には意味のあるものと思う。このようにスタンスを自分次第にできるところも良い。意義深いご研究に敬意を表します。

●「自分が変わる」「自立的に動く」ことの必要性を、強く感じる。残念ながら、今の日本では「自立型人間」の必要性の掛け声ばかりで、そうなるための具体的なメソッドや、サポート体制が確立されていない。その中で、○○○は先を行っていると思う。また、自身にとっては経営者の目＝大局的な見方を養うという意味で非常に役に立った。ただ、受講中少々残念な気がしたのが、「○○○に通学すること」自体が目的化しているのでは…と思われる方が何名かいらした。論理的やフレームワークを学ぶことは大切であるが、それを具体的な形としてアウトプットしていかなければ意味がない。これは、自分自身に対しても思うことである。常に現場と論理を行き来し、強さを持ったビジネスパーソンにならなければ…と思う。

●<○○○><良い点>学校側のご注意を守れば、ある分野について、整理して学び・考える力を付けるというコンセプトに沿ったものは、得られます。<良くない点>しかし、クラス運営上、学習効果に疑問を感じます。(例)人数が多すぎる。受講者の態度や知識に差が大きい(たとえば「費用負担」や「受講のきっかけ」の違いによると感じます)。講師の方々と受講生のコミュニケーションにズレがある。ケースが古くても役立つとはいえ、そこから汲み取るべき基本や原則などが充分伝わり切れていない→その結果、費用とかける時間の割に満足度が低くなります。また、クラスにより、受講回による差も感じます。いろいろな効用はありますが、学習上の効果がはじめにあつて他の要素はそれ以降と考えますが、そうでないと感じました。その点についてのスタッフの方の問題意識も疑問です。<その他>良くも悪しくも、職業上の環境が違つと、他の受講生の方と考えが合わないことも多々ありました。会社勤務の時は、会社規模などの違い、今は会社勤務か個人事業の違いがあります。仕方ないことですが、仕事上に役立つだけでなく、お話しして参考になる、興味深いという意味では、個人でやっている人や小規模企業でも経営者の方とお会いする方に惹かれます。<自身のキャリア>求めることが多々ありますので、公私、仕事・学習・休養のバランスを取ることに気をつけて今後も向上を心がけたいと考えています。まずは、現在の仕事で良い結果、成功体験を得ることが一番です。

●■○○○について〔;〕前回受講時は会社からの派遣であり、費用面に関心はなかったが、いざ個人受講を考える段階になると費用面で躊躇してしまう。■自身の職業キャリアについて〔;〕是までの経験から営業が自分自身のキャリアカテゴリーと思うが、自身では他のキャリアを希望している。しかし、勤務経験15年目では変更は無理か、とあきらめている。

●■会社ビジョンの共有化が社員間で容易になる取引先、社員との会話やプレゼンテーションの際にビジネススクールで得られる知識を持って業務を遂行しているか否か分かるようになります。また、相手が何を言おうとしているのか良く理解でき短時間で結論を導き出すことも可能です。より多くの社員が、これら共通の言語や知識を持つことで無駄と思われる説明や調整が少なくなり会社ビジョンの共有化が社員間で容易くなるのでは思われます。■日本企業での職業キャリアや資格は認知されていない〔。〕自己投資を行い、MBAやPhd〔Ph. D〕等の資格を得れば最低年収がある程度保証されている米国とは違い日本の企業では就職や転職に若干有利な程度でしかなく、キャリアや資格が年収や高いポストに直結することは稀であり日本企業ではまだ認知されていないと思われます。

●■職業キャリアについて〔;〕自分だけのための目先の能力・技術ではなく、社会にも貢献できる仕事

をする上での能力・技術を習得できるようにキャリアを積んでいきたいと思う。そうすれば、職業キャリアだけでなく、社会人として、人間としての幅広い意味でのキャリアを積むことができ、楽しく充実した人生を送ることができると思う。

●・〇〇〇について〔;〕〇〇〇、及び他のMBAも然りだが、もはやそういったところで勉強したからといって高い給与や待遇を保障されるものではないし、人事考課でさほど大きな影響力を持つとは思えない。(会社派遣の方は別だと思うが)私の場合、何度か転職をしたが、特に〇〇〇での受講歴が有利に働いたということはない。しかし、ビジネスをバランスよく考えていく上での基礎知識を蓄える上では非常に役に立ったし、何人かの講師の方や友人からは非常に大きな影響を受けた。・キャリアについて〔;〕私は半年前からフリーランスで仕事をしているが、日本はフリーや独立開業者には税制面などを除けば極めて厳しい社会だと思う。最近では日本でもMBAブームだが、所詮会社での役職アップのために留まっている気がする。アメリカのように起業しやすい環境が伴ってはじめて、MBA教育の意味が出てくるのではないかと思う。

●・〇〇〇について〔;〕私が〇〇〇で得た最大のものは友人です。クラスメイトに限らず講師もいまや親しい友人です。そういう意味では、〇〇〇で学習したことで△△△以外はあまり活用できていないかもしれないといえます。・職業キャリアについて〔;〕もともと出世や高収入を目指してはいないので、仕事は今のままでよいと思っています。

●・〇〇〇について〔;〕社費派遣の受講生のモチベーションが低い。レポートの採点結果さえよければそれでいいという感じが否めない。クラス・ディスカッションやプレゼンテーションへの貢献度は低いにも関わらず、レポートのときはそれなりにいいので、成績がいいという点が納得できなかった。・職業キャリアについて〔;〕外資系の企業に勤めているからかもしれないが、英語をツールとして使いこなせるようにならないとビジネスをしていく上では非常に不利。英語力の向上を図りながら、その上でビジネス・スキルを学ぶために海外の経営大学院に進学することを検討している。

●1 科目しか受講していないが、かなりのインパクトがあった。その後、会社の関連教育機関で別な講習を受けているが、〇〇〇で習得した考え方は、非常に役立っている。1 科目ごとに受講できることは大きなメリットなので、今後も、必要な部分を補足する形で受講してみたい。

●1 科目だけの受講だったので、ものの見方や考え方、ビジネスで必要とされるスキルについて反復する機会が十分得られなかったため、能力的には中途半端な獲得で終わってしまった。なお、本当に力が身につけば、どんな題材でも同じように力が発揮できるのかも知れないが、職業がビジネスの世界とは異なっているので、企業を題材とした内容に少しとまどった。その領域に関する知識の有無が、ものの見方や考え方もかなり規定しているような気がする。

●1 科目だけの受講なので、明確には言えないが、体系的な学習をしてからのの方が意味があったような気がします。基礎知識がなかったのは私だけかもしれませんが。

●41歳という年にあせりを感じています。職場の人員も少なく、事務作業量が多いため、仕事の大半は事務処理に追われています。担当課長という肩書きで課長職でないため、マネジメント経験もできていません。今は我慢時と思い、自己啓発は欠かさないようにしています。

●〇〇〇では、大学でも企業でも学ぶことができなかったこと、つまり「記憶」するスタイルの勉強ではなく、論理的に考え抜くことを勉強することができた。それによって、強い論理で効果的な提案ができるようになり、ビジネスに対して自信がもてるようになった。

●〇〇〇：レポート等かなりハードで、仕事をしながらの継続は無理がありましたが、“我先に発言する”

という環境は新鮮に感じました。現在思うのは若いうちに海外へ出て英語で考える力をものにしてあげばよかったと感じています。

●○○○・・・限られた時間の制約ゆえ止むを得ないことは分かるが、議論がやや表層的と思う。職場あてに本アンケートをいただきましたが、自宅から回答させていただきました。

●○○○がどれだけ仕事に役立つかに関して。結果だけ言えば、役立てるかどうかは本人次第。私は、『考え方を考える』貴重な時間だったと思ってます。それを考える材料がマーケティングであったりアカウントマーケティングであったりしただけだと感じています。

●○○○が実際すぐ仕事に役立てられる人はあまり多くはないのではないかと思います。というのはオペレーションをしている担当の方が多いので、○○○で勉強している内容までの権限がない事や、実際の職種と合う講義が少ないのではないかと思います。もっと職種向けに細分化した授業が必要ではないでしょうか？私自身はすぐに職場で役立てることはできました。多少の仕事の自由度はありましたので。それと、受講生が趣味の世界に走っている人が多かったです。勉強することが好きだからという人・自己の能力を実務とは関係なく伸ばしたいと思う人が多かったように感じます。それはそれで良いのですが、仕事の生々しいものが感じられない感じを受けました。仕事の忙しい方は平日夕方これないので、土曜に来ている方たちとは仕事の生々しさを感じる人が多かったように感じています。

●○○○が発信するテーマや情報は、フレッシュで生きているものが多く、啓発されます。特に小生自身が現在外国で仕事をしていることもあり、日本人としてどのように仕事に取り組み、またどういメッセージを日本人以外の人達に発信して行くべきなのか、グローバリゼーションが益々加速する中、強く問題意識を持っていますが、○○○経営陣のメール・メッセージには色々なヒントがちりばめられており、今後も役立てたいと思います。

●○○○で○○○を取得しましたが、将来的には○○○取得者がある程度ビジネス社会で評価および認知されることを期待します。現在は静岡に在住していることから、○○○の経営管理者〔経営管理者〕育成プログラムを履修していますが、○○○時代の経験は自己を確立する上で非常に貴重であったと考えています。

●○○○でお世話になりましたが、現在○○○にて学習をしております。より新しい資料を使い、より実践的な内容でのプログラムだと考えるからです。○○○の後は、○○○大学因〔院〕の○○○を受講予定です。これらにプログラムが提供し、貴校が提供されないものが私の不満点です。(1) 企業派遣受講生のレベルの低さ (2) それに合わせた授業内容 (落ちこぼれはこぼれれば良い) (3) プログラムのビジョンが見えない

●○○○でのマーケティング学習を通して自らの業務で考える視野の広さや深さを学ぶことができた。また、より深くマーケティングをはじめとした業務に生かせる分野の学習をしたいという欲求が出てきた。去年(2003年)も会社の制度で○○○による当社用の特別教育プログラムに7~12月の間、参加させていただき、経営戦略、マーケティング、人的資源管理(リーダーシップ論)、アカウントティング、ファイナンス等の基本的な勉強とケースによる学習をすることができた。これにより、さらに仕事で考える上でのフレームワークが増え、今もマーケティングの仕事で活かしている。また、会社の推薦で○○○大学の社会人MBAプログラムに受験することになり、今年の4月から通う予定である。一連の学習を経て、将来的には今の会社で経営サイドで手腕をふるえる人間に成長したい。

●○○○での一番の収穫は、前向きに学習に取り組む多くの方から刺激を受け、また人的ネットワークを築くことができたことです。○○○の授業の進め方には、受講生により、向き、不向きがあると思います。

- での仮想的な経験を、今後も積んでいきたい。
- での学習が自己のモチベーションを高めることは確かであると感じます。私は海外で通信教育を受けておりましたが、カリキュラムを充実し、MBA 取得へのプロセスをもう少し具体的に示してもらえれば、継続的に教育を受けることが可能かと考えます。
- での学習と、職業キャリアとは切り離して考えるべきだと思う。世の中の変化は凄まじく、○○○での学習と職業キャリアとをリンクさせて考えてしまうと、自分自身を枠にはめ込んでしまい、人の成功例をコピーしてなぞるだけの人生になってしまう。○○○での学習は、実際関係する実務をしなければならなくなったときに参考になる程度、もしくは、自分と違う分野の人と話ができて、自分自身の仕事との関係を大まかに掴めるようになる程度で良いと思う。(要は、ポテンシャルを上げることができればそれで十分) ○○○ (大学院) での学習と、職業キャリア、年収 UP を関連付けてそれに囚われてしまうと、本当に人生がつまらなくなってしまう。知らず知らずの内に自分自身を家畜にしてしまう。(ここに、キャリアの罠が潜んでいると思っている。) 因みに、私の場合は、○○○受講前は、大手電気メーカ IT コンサル (年収 700 万) 受講後は希望退職制度に応募して 1 年間無職。その後、外資戦略系コンサルティング会社 (年収 900 万)、そして現職の IT ベンチャー (年収 300 万円)。仕事の難しさ、面白さは、高給であった前職よりも現職の IT ベンチャーの方が何倍も高度であり、生きているという実感がある。(生活レベルを落としても、現職の方がずっとやりがいを感じる。)
- での経験は自分の生涯で得た学習機会として最も有意義なものであった。その理由は熱意のある講師、モチベーションの高い参加者から [から] 刺激を得たことである。
- での講義は、ある意味で非常に刺激になりました。ただ、私の場合受講年齢が高かった為もっと早くこのような講義を受ければよかったと感じています。受講中は仕事との併用は非常にタイトでしたが受講生の皆さんの熱意を感じながら充実した時間を過ごせたと思っています。このアンケートを機に再度学んだ事を振り返り、実務に活かして見たいと考えています。
- での講義は、知らなかったことを知るという意味ではとても役に立ち、未知の領域が身近に存在していることを実感する絶好の機会だったと思います。しかし、実際は「一日体験」的要素が強く、本格的に克服するには3ヶ月はあまりにも短すぎました。個人的には学習したことを応用しようと思うのですが、やはりケーススタディが少なすぎたといわざるをえません。特に私が勉強した「△△△」はもっと時間をかけて自分のものになるまでフォローして欲しいと思いました。
- での受講科目が「△△△」であったため、業務にすぐに直結する内容ではないが、頭の整理に非常に役に立った。社会人となってから大学院にも行ったが、ここでもアカデミックな内容であり、日頃経験できないことができた。日本人はすぐに現場に役立つことを求めがちであると思うが、○○○や大学院での学習を通じ考える力をつけることの大事さを非常に痛感することができてよかった。
- では、問題の課題を発見する方法、解決する方法について、非常に緻密に考えることができました。また、他企業の方とも切磋琢磨することで、自分の実力を客観的に捉えることができたのも良かったです。続けて他科目もやれば非常に有意義だと思うのですが、1 科目あたりの負担が大きくて、なかなか次の科目を取るまでいきません。
- ではマーケティングを基本に学んだが、そこでの経験は素晴らしいものだった。講義内容は満足のいくものだった。講師も丁寧に質問に対し回答してくれていたし、時には受講者の参加を促すような進め方もされたが、基本は受講者からの積極参加だった。このような運営は自然にされていたと思う。終了後も私は転勤で東京を離れてしまったが、年に1回は同窓会のようなものに参加している。そこではそれ

ぞれが抱えている仕事上の問題点や経験した事などを交換できる場となっている。社内の人間からもらう意見とは違う考え方に接することが出来、かつ自分からも意見を述べる場となっている。〇〇〇については1コース当たり3万円台で3日間(3回)くらいのショートプログラムのようなものがあればまた参加してみたいと思う。

●〇〇〇では基礎コースを受講させていただきました。普段の業務をこなしているだけでは得られない視点を持つことができよかったです。また、受講をきっかけに更に経営について勉強してみたいと思うようになり、現在、大学院かより〔に通い〕経営に近い仕事に就きたいと考えています。そう言う意味で視野を広げてくれたのが、〇〇〇であったと思います。受講した科目のなかで一番為になったかなと思うのは△△△です。成績はあまりよくなかったですが、インタラクティブな授業であったこと、様々な場で生かすことができたことと実感できたことがその理由ではないかと思っています。知人にも機会があれば△△△の受講を勧めています。

●〇〇〇では短期間であったが、非常に濃い内容を学習することができ、派生する影響は少なくなかったように思います。

●〇〇〇では魅力的なクラスがあり、様々なクラスを受講しようと考えておりました。しかしながら、会社の都合で現在、米国に滞在中です。そんな中で感じたこと(あるいは現在も感じていること)といえば、研究開発マネジメントに関するクラスがあれば尚良いということでしょうか。そのクラスでは、技術志向だけではなく、研究に関しても理解があるような人材、あるいは研究開発関連のマネジメント経験の豊富な若手人材がfacilitatorと成ってもらいたいです。もちろんいわゆる電気・自動車・通信などの業界だけではなく、最近発展が期待されているバイオテクノロジー関連あるいは製薬業界、あるいは部分的ではあるものの、食品業界などにまで守備範囲を広げたようなクラスを期待します。帰国後にこのようなクラスが存在したら、ただちに受講を希望します。

●〇〇〇でマーケティングをかじった程度なので、実践で生かす為には他の科目を含め、もっと経営を体系的に理解する必要があると思っております。しかし、実務に追われ学習時間を確保するのが難しいというのが実情です。

●〇〇〇で学ぶことよりも〇〇〇で学んだことを仕事上で実践的に活用するほうが重要であると思う。

●〇〇〇で学んだことで、自分自身のもの見方が大きく変わり将来のキャリア設計に対し、強く意識するようになった。

●〇〇〇で学んだことは、大変有意義であった。ただ、残念ながら、折角重要な内容を学んだのに、担当を任された仕事が、直接的に関連せず、間接的に役立つことしか出来ていない。自分のキャリア・ディベロップメント・プランを考えると、現在は、いろいろな職務経験を積み重ねつつ、将来に備える時かと思う。転職にチャレンジするのも良いことだとは思いますが、現在の会社に23年奉職している中で、ベンチャー企業へ出向した経験もあり、その企業のその後を評価すると、安定した大企業の中で可能な限りチャレンジしていくことが大切かと思う。

●〇〇〇で学んだことは現在の業務に非常に役立った。経営学の基本を体系的かつ実践的に学習できたので他の職務についても役立つと思う。自分の場合は約10年の実務経験を積んだ上での受講であったのでより実践的に理解を深められたと思う。実務経験が未熟な場合には、頭でっかちになってしまうのではとも感じる。

●〇〇〇で学んだことは今の自分の武器になっていると感じている。しかし、会社におけるキャリアが現在のキャリア市場と結びついておらず、苦戦している。だが、〇〇〇で学んだことが役に立つと確信を持

っている。これを武器になんとか這い上がりたいと思う。

●○○○で学んだことは仕事に活かすことが十分にできる内容であったと思う。現在活かさきれていない理由は、その内容が自分で明確に整理できていないためであると思う。終了して1年以上経過しているが、きちんとその内容を復習して仕事のなかで試してみたいと思う。実践することが、一番よいと思うので。

●○○○で学んだことは役にたった。他の民間のマーケティングスクールにも通学していましたが、受講生のレベルは○○○は非常に高いと思います。これは、授業の講義内容よりもディスカッションを中心にした内容や予習を仕向けるカリキュラムなどの運営体制がしっかりしているからだだと思います。自分の思考能力は確実にアップしたと思います。自身のキャリアに関しては体力勝負だったのが知力勝負に転換できたと思います。但し、受講したからといって給料が上がるわけではないので、マメに通学することが出来ません。(お金と時間に余裕があれば別ですが) また、私は大学を出ていないので、転職する際の敷居は高いです。学歴〔学歴〕がネックになっていて、転職の機会を逸してしまいました。ですので、学士号などの資格がいない○○○などの民間スクールにはアカデミックな権威よりも、実務的な権威を高めていき、依然として残る学歴社会を打破してもらいたです。(ちょっと負け惜しみほいですが、、、) ちなみに、今は闇雲に通うのではなく、自分の仕事レベルに行き詰まりを感じた時や新たな知識を必要とした時に民間スクールに通うようにしています。

●○○○で学んだことは理論的な思考のアプローチ方法のヴァリエーションでした。学んだことは日々の仕事に反映するようにしています。状況分析や問題解決のツールはクラスの課題によって変わりますが、基本的に学ぶことは一貫していると思いました。教師はコスト感覚も高くプロフェッショナルでいらっしやると評価しています。時間とのトレードオフで受講者の満足度は一律ではないでしょうが、私個人としては学んだことは仕事上に限らず個人的な価値判断の点で価値が高かったと思っています。転職は一回ですが、これから転職する意向はありません。現在の仕事を大切に自己向上して私を必要とする組織により高いプロフェッショナルな貢献をしてゆきたいと思っています。

●○○○で学習したことが仕事に役立っているのはもちろんですが、それ以上に講師、受講生から受けた刺激(ポジティブシンキング、頑張っている姿勢等)がいまだに自分をエンカレッジしてくれています。

●○○○で学習したことにより、課題を整理して分析し、戦略を導き出す手法を身に付けることができた。このことが自分自身の自信につながり、昇進試験に非常に役に立った。

●○○○で感じた事は、一つの会社でキャリアを積んで行こうと考えている人よりも、転職や独立をする事でキャリアを積んで行く事を考えている人が多かった事です。会社派遣で参加した事もあり、少し驚きでした。自分自身としては、今の会社でキャリアと勉強を進めながら、将来の転職や独立を視野に入れている状況です。

●○○○で教わった講師には非常に影響を受けました。今までの人生で一番と言っても良いくらいです。○○○の講師全てがBESTとは思いませんがBESTの講師が存在したことは事実であり、その講師を提供できる○○○には魅力を感じています。機会をつかってまた○○○を受講したいと思っています。○○○受講がキャリアアップに直接寄与するかは現在結論が出ていませんが今後の生き方に強く影響を持ち続けることは確かだと思います。

●○○○で資格を取ることで人生は変わらない。こういう場所で自分を磨こうとする姿勢が人生を変えるのだと思う(50歳の独り言)。

●○○○で受講したのは1科目だけであるが、内容、質ともに満足している。私は技術系のコンサルタントであるので、マネジメント全般について全て同時期に学ぶ必要はないと考えている。その点、○○○の

ように科目を個別にチョイスして受講できる形式は私にとって便利な方式である。

- で知り合った仲間が自分にとっての財産だと思っています。
- という場合は、若い人が会社以外の場所で実力を試せる場所としても、意義があると思います。
- に1年半通ったことは非常に役立っており、今の自分のキャリアは○○○での学習なくしては成り立っていないと思います。そこには2つの柱があります。1つは海外（アメリカ、ヨーロッパ、アジア）と仕事を行う上での **Logical** な組み立てとビジネスの基礎知識。もう1つは○○○で知り合った友人たちが与えてくれた困難にチャレンジする勇氣。
- について、これからの若い世代の人達に、質の良い学習の場を提供して頂きたい。
- について。通信教育でしたが○○○の教材の内容にはかなり満足しております。いまでも受講内容をときどき見返すこともあり、私に大きな影響を与えてくれていると思います。キャリアについて。会社都合の退職後なにをするべきか迷ってしまいました。もともと在職中から将来のキャリアの方向を決めたいと思っていたのですが、なかなか思いつかず、そうしている間に退職することになってしまいました。とりあえず一時期興味があった翻訳業に転じましたが、やはり組織で働いたほうが面白いのではと感じ始め、就職活動を始めています。
- については、規模が拡大するにつれて、受講生のレベル、意欲が落ちてきたような気がします。具体的には、以前に比べて、自分から学ぶというよりも、与えられるのを待つタイプの方が増えてきたように思います。そこが、最近は何も足りません。
- については、個人でももっと気軽に受講できる価格帯になって欲しい。現状の職場ではマーケティング能力がそれほど高い評価を受けていないが、今後も引き続き学習していきたいと思う。もし現在の職場環境上許されるのなら、**MBA** を取得したいと思う。
- については、最近ベンチャー企業家育成の印象が強いが、仕事を止めずに自由に時間を選んで講座を選ぶことができ、現在の職務の幅を広げてマネジメント能力を高めることができる素晴らしい教育機関だと感じている。職業キャリアについては、勤務先を変えるつもりはないので、現在の職務を通じて自分のキャリア（専門性、マネジメント能力）を高めていくことに気をつけている。所属している会社（勤務先）によって置かれた環境・状況が特有（固有）であり、いかに会社（勤務先）の状況を良い方向に変化させていくか、いかに変化に対応していくか、またその時にどのような理念のもとに行動するか各々の事情に応じて分析、判断、行動することが重要だと考えており、学んだことを生かしながら成果を出していくことが常に求められていると思う。また組織の中での自分の役割とそれを達成するために必要な能力を自分自身で把握しておくことが大切である。
- について〔;〕通信しか経験していないので、講義クラスを経験してみたいです。（しかし、たちまちは通学が難しいです。）キャリアについて40歳までに、起業するなら何を、というのをもっと明確にしたいと考えています。（今までの仕事とはあまり関係ない分野で。）
- にはモチベーションの高い人ばかりでよかったが全体的に実践的な方がいないように感じる。特にサラリーマンが多いためか優秀ではあるが・・・知識はあるが知恵が無い人を感じた。そのため何も具体性の無い話に集まり、仲良しクラブ的な集まりになっていた面はあった。
- には知識よりも上位概念から考える訓練をしたいと考えて入学しました。ある程度はできるようになったかなと思います。また、クラスでの討議は新鮮な刺激で、楽しく勉強できたと共に、頑張ろうと言う気持ちが湧きました。○○○での「頭の訓練」をもとに、教育職としてキャリアを伸ばしていきたいと考えています。

●○○○には比較的若い人（社会人3〔、〕4年の20代半ば？）が多かったように思う。年齢的に生徒の間には少し馴染みにくさを感じた。でも授業の内容は、会社の新人研修などの座学とは異なって興味深く、視野を広げて情報を分析するという経験ができたと思う。子供がいることや仕事の調整などを考えると受講することは難しいが、機会があれば別のコースを受講したいと思っている。

●○○○によって自分の弱みと強みが整理された。また、様々な業種の人と出会い刺激されたことがいまの自分に役立っている。

●○○○に関して：金銭的負担が予想以上に大きい。講師陣の入れ替わりが激しいので、これはと思う講師の受講が出来ない状況にある。また、ここ最近○○○の露出が多過ぎて商業主義的なイメージがついてきたように感じる。別の勉強グループを探している。公共機関が安価で主催してくれないものかとも思う。キャリアについて：現在の職種が必ずしも自分にとって意義のあるものではない部分もある。社内・社外・国内・外資に関わらず様々な選択肢を模索したい。自分をもっと高めたい。そのための武器＝知識・経験・語学をもっと身につけたいと考える。但し、現実の日常生活を見れば、会社の傘に守られている事実は無視できない。常に葛藤している。

●○○○に関しては、本当の？エリートになれなかった人たちの敗者復活戦の集まりの側面があるように感じられる。とはいえ、頭でっかちな理想屋が多い反面、少数のすぐれた人材も集まっている。ただ、ご他聞にもれず、○○○の収入を支えているのは8割の前者の人たちであろう。キャリアについてというより、自分が好きで疲れない経験あるいは、心地よい疲れが残る仕事の経験を重ねていきたい。

●○○○に継続的に通うわけにはいかないが、○○○が掲げられているリーダーズベースキャンプとして、節目において、自身の置かれている状況を再確認し、必要な知識やスキルを得ることができる場として活用できればと考えている。

●○○○に行くことが一つのきっかけとなり、結論から言うと、前職の営業職からスタッフ職への移動がなかった。それによって、今は充実した仕事が行えている。しかし、それまでのプロセスの中には、保有している能力が生きれないジレンマにずいぶん苦勞させられたし、決して理想的な移動では無かったのは残念だった。つまり、企業という組織の中で個人がアンバランスな能力を有し行使しようとするれば、それなりのリスクを伴うことになると思う。あとは、それを許容する企業文化を有しているかどうかと、個人がそれに耐えられるかどうかである。自分自身は、興味の向くままに自己の能力を身につけて行ったら、まったく異なる職種に移動がなかったという意味では、計画された偶然性理論を地で行くキャリア開発だったと思う。

●○○○に在学中、知識と知恵（考えること）は違うと分かっている、知識の習得を主眼にしていた行動をとっていた。最近気づいたことは、ビジネスとは意思決定とコミュニケーションでありそのため何に学ぶか（科目）を明確にもたないと学習することが目的になってしまうということです。おそらく○○○に通学しなければ気づかなかったことと思う。現在、自分の仕事自体営業（販売）という職種についているが、その経験を生かしてもっと高いレベルでの仕事をしていきたいと考えている。そして自分自身に自分が自信をもたるときに起業をしたいと考えている。

●○○○に通い、物事をロジカルに考えることの重要性を知りました。テクニカルな知識より、こうしたツールを使えることになる方が仕事をやっていく上では重要だと思います。

●○○○に通ってビジネススキルを向上させることは、良い事だと思うが、相当なストレスと負荷を負い、日常生活を犠牲にすることを考えると、そこまでしてやることなのか、疑問を持ってしまうことがある。明確な活用目的があって、参加する分には良いと思うが、漠然とした向上心で受講しても、勉強のための

勉強になってしまう。また、当然のことながら、「どうすれば良いか」を導き出すスキルは向上するが、「どうしたいか」は、勉強して引き出すものではないと思う。「と〔ど〕うしたいか」のないスキルはパワーを発揮しないし良い結果は生まないと思う。

●○○○に来ている人は、守りの勉強をしている人が多かったのも、その点が非常に不満であった。また、そういう人を顧客の中心として選んでいるので、今後行こうとは思わなかった。「自分で独立するぜ」という意識を持った人がいない。そういう人を育てるのじゃないの？と正直思った。頭は言い〔良い〕人が多かったけれど、めっちゃくちゃすごいわけでもない。自分で進むしかないとする意味思い知らされたのは良かった。

●○○○のおかげで物事を前向き、積極的に考え実践することの大切さを改めて実感することができました。

●○○○のケース・スタディを通して、経営の定石はもとより、会社の理念とそれを実践する戦略の重要性をあらためて認識しました。理念なき戦略は実行に移りません。個人的にも理念がしっかりした会社にし、それを実現できるポジションで仕事をしていきたいと感じています。

●○○○のように、アフター5で勉強することが、現在では必須である。理由は、現在のような早い経済環境では、商品サイクルが短く、また、競争は常に世界を見ていなければなりません。そのために、会社以外の人的交流が、必要である。広い視野を身につけるために、他の人の考え方を聞くことが重要であり、情報網を広く持つことが必要である。また、自分で考えることが大切である。ビジネスでは、正解はなく、自分で切り開くことが必要である。結果として、人生が楽しいものになると考えております。

●○○○の講師の先生からは、授業の専門性以外についても、人生観や、職業観を多岐にわたり学ぶことができ有用でした。ただ、塾生の中には、講師の個性の強さに影響を受けすぎる人もいたように思います。たぶん、今の自分・自分の環境に不満を持って、「何か変わるはず」と漠然とした目的意識が多くの参加者にはあったように感じました。私が、一番印象に残っている言葉は、「自分で本当にやりたいことを見つけるにはかなり苦労しないと見つけられない。いい加減な気持ちで、適当に仕事をしている（いやなこと、無理やりやっている）、40代で病気になる」

●○○○の受講が直接仕事に活かすことが出来ているわけではありませんが、視野が広がり、考え方を使うことができ役に立っていると思います。今後のキャリアアップについては専門的な学習も必要だと感じています。その場合は○○○ではまかないきれないと思います。

●○○○の受講生は、意欲は高いが、能力がついていってないと感じる。実際には出来ないことを求めている感じを受けた。○○○が自身の職業キャリアに与えた影響は、無いとは言えない、という表現が適切か。今まで持っていなかった視点を与えてくれたことは確か。

●○○○の受講料が半額であれば、自費で継続的に受講したいと思う（楽しく有意義であるが、料金が高い）。MBAなどの資格が有効活用（評価）されるケースは少なく、資格（知識）＝キャリア構築には直接的に繋がらない現状と感じている（詳細説明は省略）。自分のキャリアというよりも、何がやりたいのか？という究極の問題にぶつかっている。やりたい事を積み重ねる事がキャリアであろうが、私の現業である管理系業務ではグレーゾーンの多さが面白さと難しさの要因であると感じている（性格の問題かもしれない）。

●○○○の授業は本当に素晴らしく、刺激を受け、非常にためになったと思いますが、少々仰々しくて、やや自己啓発セミナーに近い感じがしてしまい、その後は足が遠のいている状況です。コース中はクラスメイトと今後の企業や日本の在り方についてよく語り合いましたが、コースが終わってみる

と、何も変わらない自分が勤める企業や日本の社会があり、空虚な感じがしました。私の周りでも〇〇〇等大学院に通う人が珍しくないですが、それが実践や真の変革にはなかなかつながっていないような感じですか。残念ながら、修士を取得することによる他人との差別化を自己満足的に実現する程度なのかもしれません。そのような状況に陥る理由の一つとして、労働市場が硬直的なためかと思われます。小生の場合、相当の能力を身につけたとしても、現在よりも高い給与を支払ってくれる企業は存在しないと考えられます。高い社会コストと硬直的な労働市場を踏まえると、キャリアパスの選択肢が少ない状況です。

●〇〇〇の授業は予習が大変だったが、面白かった。

●〇〇〇の出会いが、物事の見方を根本的に変えた。

●〇〇〇の理念は素晴らしいと思いますし、実際にそれを行動に移し、軌道に乗せ、実績を出し、今の地位を築き上げたことは驚くべきことだと思います。個人的にも応援しています。またこれも良いところなのですが、〇〇〇も生徒（客）を選ぶし、合う人／合わない人がハッキリするところも魅力です。僕が受講した2科目については、周りの人には恵まれたと思います。△△△は講師にも受講生にも恵まれましたが、私が薦めて受講した人はハズレだったらしく、講師／受講生の質を維持するのは大変だろうと思います。△△△には若干不満があって、レベルや内容としても生なましが不足していた感があります。（実際の現場のHRをやっている私からすると）△△△の続編が出来れば、また参加してみたいと思います。自分のキャリアについて述べると、〇〇〇が前面に出しているキャリアばかりがキャリアじゃないとあえて言いたいかな、と（笑）。副業でキャリアコンサルをやっている私からすれば、〇〇〇に通学する人は多彩なのに、あれに染まってしまうのは勿体無い気がします。

●〇〇〇の良さは、学習中にはあまりわからなかったけれども、学習を終えて半年ぐらいして、職場での自分の態度が変わっていることに気が付いてびっくりしました。もう少し長期間にわたって勉強したかったと思います。

●〇〇〇は、私自身の仕事の質を高めるのに非常に訳〔役〕に立ちました。又、そこで、得た人的ネットワークは今でも活用しており、非常に大事なものです。

●〇〇〇は、実践重視のよいスクールと感じています。そして、〇〇〇大学院は、学問重視のよいスクールと感じており、〇〇〇+〇〇〇で、ものごとの仕組みを体系的にはじめて理解できたように思います。実践→理論体系化→実践→理論体系化→、、、のスパイラルが得られる環境が今後も続くことを期待しています。

●〇〇〇は、優秀な講師陣・講義を実践し魅力のある教育機関である。しかし、少し受講費用が高く自主受講の地方の受講生にとっては交通費もかかることなどから負担が大きい。もう少し、負担が減らないとなかなか参加は難しい。以前はゴールデンウィークなどの集中講義があり、負担も少なく参加出来たが、今はなく不便である。通信教育も一時期中断されていたので、活用はできなかった。セミナーも平日の夜なので、まず参加は出来ない。又、期待して参加した割には受講生の事前準備が少なかったり、メールリストでの良書推薦の提案に対しても反応がなかったりであまりお互いに高めていくという感じではなかった。もう少し事前準備して講義に臨んで欲しい。

●〇〇〇は、様々な人たちと知り合うことができた点で大変貴重だったが、学んだ内容を生かせるかは、今後にかかっていると思う。

●〇〇〇はとても役立つと認識しています。それは、ビジネスという実利であり、他の参加者から刺激という形のパワーをいただくことができるからです。

●〇〇〇はビジネスでよりよい成果をだそうとする意欲ある者にとって、非常に刺激を与えてくれる場所

だと思います。

●○○○は何より「自律性」を養うのに最適なスクールであると思います。用意された答えに辿り着くのではなく、あくまでもロジカルに自分なりの回答を導き出す、という点に○○○の特長があり、だからこそ終了後の達成感は非常に大きなものがあるのだと思います。

●○○○は会社からの指示で受講しましたが、非常によかったと思っています。あるクラスの方々とは今も交流があり刺激を受けています。受講時期としては、個人差あると思いますが、30代で受けるのが効果的だと思います。若手の社員には、積極的に受講するよう（費用の負担はありますが）勧めています。

●○○○は起業・転職を前提とした受講生に対する情報提供や刺激が多く、現在の会社の中でキャリアを形成したいと思っている者にはジャストフィットしない雰囲気があった（学ぶことは大変多かったが）。社外のビジネススクールや書物による知識の取得と社内での配置がうまく結びつくと自分自身の成長が早まるような気がする。

●○○○は経営者（意思決定者）の視点から考えるという点で、非常に難しく、また重い内容と感じました。正解がない中でどれだけ脳みそ汗かいて OUTPUT するか、ということを経験させていただき自分のステージが確実に一つ上がったと思えました。学んだことをどう実践（職場）で活かすか、、私は金融に携わる仕事でファイナンスを受講しましたのでコーポレートファイナンス理論を業務で活用すべく動きまわりました（形にしました）。が、ほとんどの人は受講してお終いだと思います。結局実践で活用しなければあまり意味がないと思います（こういうアカデミックなことは）。また、○○○で何科目も受講している人がいるが、社会で会社で立派な人か（立派にやっているか）というところでもない感じがした（頭でっかちで自己満足しているだけじゃないか、と）。実際に会社で重要なポジションについて重要なハードな仕事をしている、将来経営の舵取りするような人は何科目終了したかなんてことに意義を覚えて通学してるような暇はないです。むしろセミナーに参加していない人達の方が素晴らしく実践的に働いて成長しているように思えました。結論として、だんだんと○○○も肥大化し、学習の場として「蘊蓄たれ」の集まりと化するのかなと冷めた見方しています。激動の時代、不透明な将来、生き残るのは理論の勉強している人間ではないような気がします。

●○○○は講義内容、講師陣等を含めてマネジメントを学びたい人間にとって非常に良い場所を提供されていると思います。特にビジネスマンにとって実践的なケーススタディを学ぶ場所がまだまだ少ないことから○○○のような場所を社内に設置してもいいのではとまっているくらいです。今後も機会があれば参加させて頂きたいと思います。

●○○○は講師、内容、受講生のやる気・質、いずれも期待通りのものでした。もっとも嬉しかった〔の〕は、現実社会に応用可能な実践的な内容であるということでした。そもそも何故○○○のようなところへ通ったのかという一番の理由は、仕事をやっていて納得できないことが多すぎるということでした。自分が変なのか？回り〔周り〕が変なのか？そもそも根本的に何かが変なのか？何が問題なのか？それを考えたかった。○○○はそれにピタリはまってきました。転職はしましたが、想像していたようにやはり満足できないものがあります。恐らく原因は組織の部分として働くことに対するやる気の限界ではと考えています。何故ならば、自分の人生を豊にするために働いているとはどうもいえないためです。自分自身の目的のために働くこと、その仕事を自分でクリエイトすること、つまり自分自身で経営をしていくこと、を真剣に考えています。

●○○○は講師の質やカリキュラムの内容ともに幼稚なレベルで期待以下だった（特に△△△のクラスは正直何も得れず非常に残念だった）。

●○○○は今までの自分の既成概念を根本から覆し、新鮮な思考を提供してくれた。単に、テクニカル的なビジネス知識や（もちろんこれも重要だが）手法を教育するだけではなく高い視点から物事を俯瞰する訓練ができたことは非常に有意義であった。現在は、仕事の都合で一時休学の状況であるが、また復学することを強く望んでいる。

●○○○は私のキャリアを大きく前進させました。上記には書きませんが、途中、外資系投資銀行へも転職経験があり、そこは「MBA を持っていて当然」という雰囲気がありましたから、きっと選考過程で考慮されたはず。また、○○○の関連会社「○○○」のご紹介で最初の転職にも成功しました。ただ、その後感じるのは、「MBA を持っています」とあまり公言しにくいことです。もし、そう言うところの学校ですか？」と聞かれます。相手はえてして、TOP10 とされる名門校の卒業生だったりするわけです（笑）。OB としては○○○がますますブランディングに成功されて、OB が「鼻が高い」と言えるようにしていただきたいと願っています。

●○○○は私の思考を変えてくれました。会社の後輩にも強く勧めています。

●○○○は自分の仕事や物事の考え方を大きく変えてくれたと感じています。

●○○○は全く講師の質に依存しており、当たり外れがあり均質な教育が受けれない。よい講師に当れば良いが、ひどいものになると実務経験不足で人間的にも少しどうかという人もいます。こちらも教育を受ける側としてそういう事を判断しながら受講態度決めている面も大きい。講師の適正〔適性〕や能力の判定をおろそかにし、受講生の成績をつけたり、資格を与えるのは民間のビジネススクールのあり方として疑問を感じる。その前にもっと受講生の満足度を高める努力をすべきである。

●○○○は大変優秀な講師陣と受講生が多く、ついていくのが大変であった。講座もただ聞くだけではなくディスカッションを中心とし、自分の意見を率直に言わないと前に進まない。ディスカッションして学問を身につけるという世代ではないので大変苦労した。また、これから生き残るためにはこのような学習方法を早くから身につけることが大変重要であると思う。情けないようであるが、今までの学校教育のあり方に自分でつくづく疑問に感じた。自身の職業キャリアについては、今後もチャンスを作り幅広いキャリアを身につけたい。

●○○○は短期で実践的な知識が身につく素晴らしい教育機関と思っています。しかし、受講生の中にはマナー不足の人や内容を把握しないで馬鹿にする人等もいて、やりづらい思いもしました。商売でやっているのだからそういう人々を排除できないのが辛いところでしょうね。職業キャリアに関しては、独立の思いは常にあるのですが、資金・人脈に不足を感じており（言い訳に過ぎませんが）、踏み出せないでいるのが現状です。

●○○○は非常に優秀な方が集まっていられるので、非常に刺激になります。自分自身を振り返る良い機会にもなります。ただ、学習を生かすも殺すも、最終的には本人の取り組み次第だと思っています。明確な目的も無く授業に参加しても、いくら授業が良くてもはっきりいって無意味だと思います。

●○○○へは会社の派遣で参加した。科目も2科目と少なかったが、非常に得るものは多く、現在の仕事にも生きてると感じている。受講後北海道へ1度転勤したが、現在は東京の本社、企画部門に勤務している。○○○で学習することの必要性を強く感じ、受講後もある程度自己啓発に努めてきたが、再度スクールで学びたいという気持ちが芽生えている。現職になれず非常に忙しい日々が続いており、今は語学で精一杯なので、折を見て受講を考えたい。

●○○○を個人で受講するには負担が大き過ぎる。受講料は現在の1/3が限界。私は現在の職場で自己啓発を行い、社内外で通用するキャリアを積み、ステップアップを考えている。

●○○○を受講したり MBA を取得したからといって、突然実務ができるようになるわけではないが、実務をやっていくうえで、○○○で受講して身に付いた知識や論理的思考は役に立つと思う。また、他社の人と仕事以外の面で触れることは、自分自身のレベルや物の考え方を見つめ直す、いいチャンスであったと思う。実際、正直言って、受講前は自分が“井の中の蛙”でしかないような気がして自信がなかったが、意外と卑下することもなかったのかと感じた。転職なんてできないのではないかと思っていたが、その後転職したし、近々再度転職するつもりである（いずれも年収アップ）。機会があれば、MBA もとってみたいと思う。

●○○○を受講して知識を得ると同時に、自分自身を見つめ直す良い機会にもなりました。大きな組織に属するのは向いていないかと思っていましたが、なぜ向いていないのか、自分が何をやりたくて何に向いているのかを具体的に知る事が出来、今年は転職をする予定です。また、○○○を通じて培った人脈は、最後の受講から2年経った今も役に立っており、公私共の場面で貴重なものとなっています。

●○○○受講も当然レベルアップにつながると思うが、一番大切なのはいかに問題意識を持って日々の業務に取り組むかだと思う。

●○○○生徒として、自分に変化を当てて〔与えて〕くれた。無知の知を教えてくれたので感謝！○○○（○○○社長）企業家として尊敬〔、〕自分のキャリア、さらに、能力を向上させ、幅広く対応できる、尊敬される人間になりたい。

●○○○校の受講生サポートが2001年以降極端にわるくなり、顧客満足度は低くなりました。○○○さん、○○○さん、○○○さんといった優秀な方々がいらっしやらなくなってからはあえて、コンタクトをとってアクセスしようという気になりません。また現在、○○○校で開講されている科目に、魅力的な科目がなくなってしまいました。

●○○○で学んだ知識と経験により、業務の効率と質的な向上を図ることが出来たと思われる。加えて、○○○修了時期に受験した社内の海外研修の選抜において、○○○で学んでいたという経験が評価されたであろうと思われること、また米国での活動として、企業評価、ミーティングなどをこなす上で、その背景要因を理解する際に大きく役立ったと言える。一連の経験を通じ、まさに、学んだ知識が経験を通じて見識化されるという好循環が構成され、私にとって、○○○で学んだことは、得るものが大きい経験であった。自身のキャリア形成において、大きな変化とインパクトをもたらしたものととともに、今後も生かされていくであろうと思われる。

●○○○は1科目から学習したい分野だけを選択できるのが良いと思う。また、自分の業務都合にあわせて、4期の中で受講可能な時期を選択できるし、とびとびに受講できる場所が良い。職業キャリアとしてではなく、キャリア形成のための自己啓発の手段として考えている。

●MBA を持っている人が社内にもいますが、本当に役に立つ職場にいるのか疑問です。

●MBA 教育についての理解が受講まではほとんど無かったが、○○○受講により一端を知ることができたと思っている。物事を体系的に学ぶことがこれまであまりにも不足しており、自分自身に足らないことがよく理解できたと感じている。本来なら、MBA コースを本格的に学びたい意欲があるが、時間と費用の面でどうしても踏み切れず、自習レベルで細々と続けている。学んだ内容は、少なからず仕事に影響をしておりさらに勉強を続けたいというように感じる。

●△△△では、それまでの考え方、アプローチの仕方とは異なる方法を学べたという点でよかったと思います。当初目的では人脈形成もある程度期待していたのですが、この面ではちょっと・・・。証券会社に勤めていますが、企画部門、特に規制緩和～新規ビジネスを次々に立ち上げるという仕事をしており、幅

広い対応力が求められる反面、特定の業務に関する深みに欠けることに。

●Most important and valuable things for my career development that I leaned [learned] at ○○○ are how we should think and act in business world. ○○○ provide very dense programs and good opportunities to learn them. But as the programs are not easy the output we can take from the school completely depends on the attitude and the effort done by us. I believe the person who can survive this tough environment in ○○○ can survive tough business world as well.

●OJT では限られた範囲の能力しか身につかない。また仕事だけでは自転車操業状態に陥り、自己の能力が枯渇・硬直化するように思う。より広く、より強力な能力・実力を補填する必要性を感じる。○○○での受講は、論理的な思考能力や、視野を広げるのに役立った。また社外の受講者とのディスカッションがとても面白かった。今後より面白い仕事をする為には、自分の能力・実力を高める必要があり、MOT にトライして行きたいと考えている。しかし、○○○での1科目だけの受講でもものすごくきつかった。仕事をしながら学ぶのは、時間的・体力的・経済的に負担が大きい。仕事、勉強、家庭の3立が果たして可能なのか、熟考中である。

●ある人間が一つの会社で働いてきたことや培った商品知識というものは、その会社にとっては core competence であろう。然し、core competence というものが、そもそもまねしにくいもので、且つその組織にあって初めてその威力を発揮するとした場合、その人間のビジネスマンとしての価値は社外ではどの程度評価されるのであろうか。たとえば、汎用性のある法務、経理、財務などは、一つの会社で得たもの、あるいは会社に与えたものは、他の業種でもある程度すんなりと受け入れられるかもしれない。然し、特定の商品に携わり続けた営業マンは定年とカリストラにあつたらどのように自分という人間の商品価値を市場に認めさせるのだろうか。然し営業マンが腹の据わらない（つまり何時でも転職しようと腰掛的に）仕事をするならば、それはそれで会社には真の営業力とか core competence は生じないであろう。従って、終身雇用という制度は実は営業マンを会社の core competence とする為の重要な手段ではなかったと思われる。今後日本の企業と従業員は、自社の core competence 育成と個人の労働市場での価値を高めるという motivation の二つのベクトルを一致させる事が必要になるだろう。そういう意味では、前述した職能部門は比較的ジレンマが少ないと推測されるが（つまり自分の自己啓発が会社のニーズと直結しやすい）、営業職というのはキャリアの向上が社外で通用するとは限らず、会社に尽くせば尽くすほど自分の将来の option を狭めかねない難しい職業だと感じる。この辺をうまく manage できる会社が成長を続けるのだろう。

●いろいろな人との出会いとディスカッションを通じた新たな発見は個人的には刺激になった。

●オリエンテーションの内容が漠然としており、受講初期の心構えが出来ないうちに数回、講義が進んでしまい、せっかくの機会を無駄にしたと思う。出来れば雰囲気や暗黙のルール等をつかめるように体験・見学を実施して欲しかった。（VTR でも可）また、ML の設定が当初出来ておらず全くコミュニケーションが取れなかった為、レスポンスの無い ML と暫くの間間違ってしまった。改善の余地があると考えます。

●キャリアを数多く積むことの重要性を感じているが、前もってそのキャリアがどんなものかを把握することがもっと大切だと感じている。○○○での学習を職場に活かす具体的施策の実行力が問われていると思う。

●△△△、終了できなかったのも、チャンスがあつたらもう一度トライしたい気持ちもあります。○○○のやり方の中で、自分がどのような気持ちになり、どのような行動をとるか、また自分の関心がどこにあ

るのか・・・というのがわかったことが一番の収穫でした。

●△△△。不可でしたが、受講して良かったと思います。仕事、仕事外のあらゆる場面でその考え方が役立っています。

●○○○ではビジネスマインドを学び、他受講生からは起業精神を学んだ。それらは現在自分が所属する会社内で、新しくベンチャーユニットを形成し、ビジネスの新規立ち上げを行っていることに大いに役に立っている。開講科目については、クラス数が多く、回数もこなしている△△△の、△△△を除く△△△の科目については、教材、講師、講義内容など、満足度は高い。一方、クラス数が少なく回数もこなれていない△△△や、△△△の科目については、教材、講師、講義内容のいずれについても不安がある。実際、私自身が受講した組織行動学は、まったくその例に当てはまる一例であり、単なる時間とお金のムダであったという認識を持っている。その経験が、他の上位科目に対する不安の源泉となっている。△△△については、△△△を受講する必要条件となっていた（いまは違うかも知れません）が、最近では本の類も多く、また私のような技術系の人間にとっては、常識のような内容である上、仮想のケースが多いため、ケーススタディーとしても未熟であったという印象を持っている。最後に、○○○などの資格や、修了に対するある種「学校的」な厳しさには、正直価値を見いだせない。資格を言い始めたら、学校としてのビジネススクールに対する差別化が難しいのではないかと、どれほどの受講生が、終了することの意義を感じているか疑問に思う。以上、多少厳しいことを申しましたが、○○○を受講できたことは自分の人生にとってきわめて価値の高い経験であったと思っているだけに、○○○がさらに成長されることを期待しての苦言ということでご容赦下さい。

●○○○に通ってよかったのは、・他の会社で働く人達のレベルを知ることができた点。・ビジネススクールのエッセンスを感じることができた点。以上の2点である。後者においては講師陣がMBA取得者だったことが貢献していると思う。また、小論文作成の面でテクニカルな学びがあったこと、受講中、様々な形で学習を奨励されたことは、利益があったと感じている。本当は、他に何科目かを受講したり、他の受講生ともっと親しくしたかったが、同じクラスの男性生徒からセクシュアルハラスメントを受けたことで断念した。あまりに不愉快で、非常に残念だった。○○○には今後このような訴えを受ける窓口を設けていただきたいと節に希望している。以上

●○○○の「遠隔学習によるMBA取得」は、働きながら、マネジメント力を身につけたいと思う人に最適。しかもそのMBAは英国国立大学しかもしかるべき認定を受けたMBAコースなので、就職や転職進学（博士課程）に有利。日本で宣伝されている海外MBAコースの大半は、実は「認定」が無く、国際的には役立たないものが多い。しかるべき大学（博士課程）や、国際企業は、認定されているMBAコースなのかどうかを必ずチェックします。MBA取得後、○○○大学の勧めもあり、○○○大学の経営学博士課程に進学し、昨年博士号を取得しました（遠隔学習）。現在は、経営は一段落したので、○○○大学の法学部で学んでいます。○○○での学習中、会社は変りましたが、基本仕事を中断してはいません。仕事の中断無く（大きなポイント）、資格をとりしかもそれを仕事に生かすスタイルは今後さらにポピュラーになると思っています。遠隔MBA学習については、ベアーという米国人が「まともなコース100」を詳細に紹介する書物を出しており、○○○MBAももちろん入っています。学習（インプット）と仕事（アウトプット）を同時に行う、そういう時代だと思っています（言い方を変えると、学習のために仕事を中断する余裕はもうありません）。

●これまでのアンケート内容と整合しないかもしれませんがご容赦いただきたいですが、○○○に通学後、自分のキャリアに関して深く考えるようになってきました。受講終了後2年が経過しており、長い期間

をかけても結論が出ていません。アクションをおこなっていませんので、現状の職場に満足しているかもしれませんが、自己分析ができていないのかもしれないしと、モヤモヤとした状況が続いているのが今の状況です。

●これまで営業職 7年、営業所開設 1ヶ所、営業所長職 2ヶ所 11年、本社営業本部 営業企画 1年・プロダクトマネージャー2年、を歴任し、マーケティング部新規開設の一役を担い、その時点で基礎知識の勉強を受講した。1年間のマーケティング部在籍の上、現在に至っている。マーケティング部へ異動になるまでは基本的なマーケティング理論の勉強は書物による独学でのみ勉強していたが、〇〇〇受講により他の受講者のやる気に刺激を受け、彼らの思考(現代の若者の考え方・ジェネレーションギャップ)についても良い勉強になり、顧客満足度向上プロジェクトを担当しており、参考になった。経営会議報告など各種会議へのプレゼンテーションにマーケティング手法を用いた組み立てにより自身もよく理解できる資料作りと論理的説明に貢献できたと思える。現在、部長職で 40名ほどの部下のマネジメントを行なっているが、意識せずにその手法を使っている。どんな職種であってもマーケティングは生活する上でも基本であるように思っています。

●コンサルティング会社で3年間働いた後に受講したので〇〇〇の戦略のクラスで教わった問題解決の手法などは特に目新しいものではありませんでした。仕事が大変忙しい時期に受講したため課題も提出できず、受講費に見合った効果を得ることはできず、ちょっともったいなかったと思います。しかし、それでも受講して良かったと思います。良かった理由は：(1) 教材がオーソドックスな経営課題を扱うものでかなり良くできていて面白かった、(2) クライアント企業で日々接するような人(大企業のマネージャークラス)と「コンサルタントとクライアント」ではない関係を持つことができた、の2点です。特〔に〕(1)は私にとっては重要で、討議の参加者の間で問題解決のフレームワークが統一されておらず会話が散漫になりがちな場面においてフレームワークを使って会話をまとめる非常に良い練習になりました(教わった内容よりこの練習が仕事には役立ちました)。また、事業会社で働く方と知り合うことができたのは大変楽しく、転職を考える上でのよい参考になりました。

●スクールで学ぶということ自体が最初で最後(現時点では)の経験だったので、ケースに対する課題が設定され、それについての議論をするにつけて、実際に自分が所属する組織の内部から何らかの変革していくことの重要性/面白さを痛感しました。理論(ルール)を知って生かしていく重要性は大切だと思いますが、逆に、当時、「勝ち組」としてケーススタディーで取り上げられていたマクドナルドやユニクロのその後を見るにつけて、それとはまた違った感慨も持たざるを得ません。受講生の裾野の広さは魅力でもあります。反面、焦点もぼやけがちになるので、講師/受講生の選定には検討の余地があると思います(〇〇〇に限らず、ビジネススクールやその他の大学院全般に言えることなのではないかと思いますが、理論を徹底的に学ばせる場と実践に役立つ理論を教える場は同じにはなり得ないと考えています)。

●たまたま初めて受講したのが「△△△」だったことから、仕事上のスキルを伸ばすだけでなく、個人(人間)としての成長にも繋がっていると強く感じる。

●どんな分野においても思考をめぐらせるときには抜け、漏れがあってはいけない。受講前の自分自身にはかなり偏った思考であることが受講期間中に強く感じられ現在の自分にはとても役立っております。

●バーチャルな会社経営の疑似体験ができる?そんな場でした。

●〇〇〇のケース教材はとてもよかったが、アメリカ企業のケースや戦略の考え方が日本企業と異なるため考え方が仕事に直結しない。厳選された6つのケースはとても良いものだったが、1科目6ケースで十分かと考えると、物足りなさを感じた。

●ビジネスにおける混沌とした状況を分析する基本的な枠組みと、その実践的な利用方法／限界について理解をする手がかりを得た。また、その後の自分自身での勉強の方法と方向についての強い示唆を得た。これらが、その後の職業観・キャリア形成に関する考え方に強く影響を及ぼしていると感じている。その点、受講の意義は極めて大きかった。

●ビジネスの基本として習得すべきものを概括できたことはとてもよかったと思う。受講した分野については、抑えるべきポイントや基本的用語がわかった。そのため、今は詳しくは知らないことでも、どのへんの何にあたって調べればよいかわかる。そういう点ではとても役にたったと思う。受講に関していえば、相当努力しないと、会社勤めの身で自分の資金で、というのはかなり厳しいと思う。受講時は比較的時間的にも資金的にも相当努力した。残念ながら、最後の方では課題をこなす時間がなくなり、結果として修了の認定に至らなかった。今後もより詳しく勉強したいが、予習や課題をこなすための時間を取るのはまず難しい。また、無試験で受講できるというのは、間口が広い反面、受講生のレベルがまちまちで、かなりつらいものがあった。授業では「積極的な授業への参加」を求められたが、(失礼な言い方だが)レベルの決して高くない方が積極的に発言・質問されると「時間の無駄」と感じることも多かった。

●プロジェクトマネジメントによる課題解決型業務を主に担当した事により、組織にとらわれない業務手法をマスターした。この場合、評価してくれる上司があいまいになり、結果的にモチベーションが上がらない人が多い。小職は、その壁を、Pj 成功確率を上げる事で乗り越えた(独学で、経営実践手法を学んで早く確実に成果に結びつける、という形で)。その中で、〇〇〇の通信教育は、おおいに役立った。

●マーケティングに関しては、B2B の市場での実践的な学習も盛り込んで欲しかった。

●マーケティング戦略というものが重要度を増してくる環境で、いかに自分の専門性を高め、キャリアステップできるかを考えて、仕事に取り組んでいます。自分のキャリアプランとしては、このマーケティングにかかわる仕事を続けていきたいと考えています。現在の職場で専門性を高める〔こ〕とを基本に据えています。その職場よりもキャリアステップ(給料や仕事内容)ができる企業とめぐり合えたら、転職も視野に入れています。

●もう少しわかりやすく、懇切丁寧な講師に恵まれたかった。

●もっと早い段階で、このような経験を持ちたかった。出身が工学系なので MBA ではなかったかもしれないが、受講したことによって海外留学にチャレンジし、その後の人生を変えてしまうような転機となった可能性がある。そういう意味では若いうちには是非この種の機会を持つことを奨めたい。現在、会社の中でのキャリアアップのために、MBA にチャレンジするというようなことは考えていない。しかしながら、今までのキャリアをベースとして発展させられる分野において、難関といわれる資格取得を通して、会社という枠にはまらない、かつ社会的に貢献度が高く、自らのやりがいをもっと実感できる生き方を実現するため、専門的な学校で勉強中です。

●より論理的に考え、柔軟かつスピーディーに行動することが必要と強く感じている。論理思考のトレーニングはまた〇〇〇受講で久しぶりにやりたいと思う。

●〇〇〇大学への進学が目標でしたが、この2月に無事修了できることとなり、〇〇〇へは深く感謝しています。今後は学んだことを活かして、楽しい社会人生活を送りたいと感じています。

●ワーキングマザーにとってキャリアを維持するだけでも大変です。夫の協力もあり、〇〇〇に3ヶ月でも通って勉強できたことは非常に良い経験でした。子供達が大きくなるのを待って、また勉強し、キャリアアップできたらと思っています。(育児休職後、キャリアダウンしてしまったので。。。)

●意識・行動・対外接触が早いほどいい。

●育児休職後、どういうキャリアを積んで生きたいか自分でまだイメージがつかめていない状態で、育児はもちろん大事ですが、それだけでなく仕事でも成長していくにはどうしたらいいのか他の先輩の話をいろいろ聞きたいと思っているところです。チャンスがあれば、また〇〇〇で学びに行きたいし、そこで似たような状況でがんばっている女性とも知り合うチャンスがあればという期待もあります。

●営業部門しか経験がないため、〇〇〇での学習は視野を広げる点では役に立ったと思うが、実際の業務に直結しているという実感はない。

●仮に職務への志向をゼネラリスト志向とスペシャリスト志向に分けるとしたら、〇〇〇での経験はゼネラリスト志向の人に向いているのではないかと思う。もちろんスペシャリスト志向の人にとっても利用法によっては有益なものになると思われる。特にクリティカルに考える思考法は、通常の学校教育では学ばないので、ほとんどの人に有益なものと思われる。ただ、さまざまな機能を有する大きな組織（企業等）を全体としてマネジメントできる人材が不足しているため、個々の機能（技術力等）が一流でも全体として二流・三流の状態の組織が多い今日においてゼネラリスト（組織全体をマネジメントできるという意味で）の人材育成は重要ではないかと考えます。今後〇〇〇のような教育機関がさらに普及することを期待しております。

●会社で経験を積んだり社内教育を受けても、会社が変わった際にその力量を定量的に測定できない。よって、それらを定量的に測定できる資格や認定制度が必要と考える。そして企業や個人は共通業務の能力向上にあたってはそれらの取得することを目指し、評価の基準としていくべきと考える。そして共通業務以外の専門分野に対してのみ、企業で独自の教育をさせればよいと考える。それが日本全体において教育に対する経費を軽減でき、グローバルな競争に勝つための1つの手段になると考える。

●会社の意向・業績等により、なかなか自分のキャリアを十分に生かせる、業務・ポジション等に付けない。

●会社派遣ではあるが、〇〇〇受講により職務に対する意識・姿勢は格段に高くなったものと思う。今後もチャンスがあれば、自費でも受講をしたいと考えている。一方、受講者の多くは既婚者や子供のいる方が多く、受講期間中は余暇のほとんどを勉強に費やすため家庭不和です、といっている方も多かった。私自身も新婚の年に〇〇〇受講が重なったため、結婚前の方が楽しかったとさえ伴侶にいわれた。自身のキャリアを伸ばすためとはいえ、代償も大きかった。

●海外の中でコミュニケーションスキルや経営知識とともに、異文化を十分に理解できる日本以外の国での経営者に磨きをかけたい。

●外回り中心の営業職から内勤業務中心の営業サポート部門へ転勤になり、時間に余裕が出来た時、私に〇〇〇を紹介してくれた先輩に感謝すると共に、このような場を提供して頂いている〇〇〇に感謝しております。弊社には、さまざまな考え方をしておりますので、くれぐれも下記アドレスが外部に漏れないようよろしくお願い申し上げます。

●学ぶ（インプット）だけなら簡単かも知れませんが、実践する事（アウトプット）が大変です。△△△、△△△は私生活でも役に立ちます。

●学位とは元来私塾が与えた認定であり、たとえば同上主が与える免許皆伝のようなモノでした。学士・修士の学位は元来民間教育機関が認定するモノです。〇〇〇のあり方こそ、欧州中世に育った現代の大学のありように誓い〔近い〕モノです。〇〇〇を奇異な目で見て従来型の大学院を通常のモノと見ることは大学を帝国が作るモノとして私学を正規の大学と認定しなかった明治時代の観念と変わらないと考えます。世界史的に見れば〇〇〇こそが大学院のあるべきフツウの姿ではないでしょうか

●学校（校務）・講師・受講生に熱意が感じられる良い学校だと思います。日本の大学は残念ながらその全てが〇〇〇よりはるかに劣るように思われます。ただし「米国大学人の真似」「そのまま」という流儀は、もう少し日本人とその社会にあわせたものに変更が必要ではないかと感じる場合があります。自身のキャリアに関しては、従来の終身雇用前提の考えが成立し得ないことは理解していますが、一方で短期的な業績と成果を売り物に会社を渡り歩くような働き方にも疑問を感じています。ただビジネスパーソンとして共通基盤となる知識／思考技術を身に付けておくことは、自分に取って重要であると考え、〇〇〇を受講しています。

●学習障壁が低いのに、その実奥深く、奥深い世界に引きずられる教育機関は〇〇〇ぐらいでは。

●学生時代には「学位」というものの重要性を感じず大学を中退したが、残念ながらその必要性を年齢を重ねるごとに、本来とは別の意味で感じている。論理や理論がそこに存在せずとも、学位があるだけで白を黒にされてしまうから。

●企業で仕事をする上では、〇〇〇で学んだことは必要最低限の知識だと思います。

●企業に所属している以上専門性を高めても、その内容を理解してもらえる上司と出会う機会は少ない。またたとえ出会ってもその内容を展開できる機会（当然自己責任が伴うが）を与えてもらえることも少ない。しかし、今企業内では能力的に秀でたものがあるか、もしくは他の人との違いを明確にさせなければ淘汰されることを考慮すると個人努力によるキャリアアップを図る必要性は強く感じている。

●基礎を学びたかったけれど、自分には予想していたよりもややレベルが高かったような気がする。

●既にアメリカの大学院で修士を取得していた私にとって〇〇〇の教授スタイルは違和感のないものだった。また普段民間ビジネスとは無縁の仕事をしているので、使っていない脳細胞を刺激される心地良さがあった。他方成果に関しては、「市場」や「競争」に直面したことがない自分には、マーケティングや経営戦略を真に理解するのは困難であると実感した。受講のきっかけは、現在の職場に限界を感じ、将来自分の力で生きていくための足がかりをつかむためであったが、〇〇〇受講を通して、現在の職場が抱える問題点がより鮮明に見えるようになった。しかし大組織の中で〇〇〇で学んだことを一人で実践することは不可能であることも実感した。幸い現在は海外事務所の所長として、日本人と外国人が混在する職場でのマネジメントに携わる日々であるので、〇〇〇で学んだことを思い出しつつ、自分の思うままに事務所を運営している。しかし今後いつまでも現在の職場にとどまり昇進を続けていくことは、生き方としては良くないと感じている。とは言え、国際経済や政治に関心を持ち、それに関連する職業を続けてきた自分にとって、〇〇〇の教材で扱われているような職種、すなわちコピー機、自動車、デパート等が魅力あるものとは思えないのも事実である。またあまりにも長く公的機関で働いてきたため、〇〇〇で受講したというだけで、民間セクターで起業するという自信が持てないこともあり、迷いの日々である。尚、問 22 に関しては、「必要とされる能力」の多くは、受講前に既に身につけていたという自己評価により、「どちらとも言えない」という回答が多くなっているものであり、〇〇〇の有効性を否定するものではない。

●帰属社会から契約社会への変化をひしひし感じる中、〇〇〇のような存在は、今後更にその重要性が増していくように考える。自社内においても雇用や仕事の流動化が顕在化し始める現在、知識労働者としての成功をおさめるための啓発に加え、キャリアを支援するエージェントを見つけること、しっかりとした履歴書が必要と考えている。

●貴重な人脈を楽しみながら得ることができました。今後も時間があれば、そのような機会を得たいと思います。

●技術職から財務系（事業計画）へ移動があり、〇〇〇で学んだことが直接的に活用する立場になった。

新しい仕事において、違和感無く仕事が出来たのもタイムリーな学習をしていたことによることが大きい。仕事を日常こなしながら、土日に〇〇〇を受け、レポートを作成するのは、かなりつらい体験だった。

●教育についてももっと取り上げてほしい。

●勤務地が地方（長崎、北九州、広島）と転々としているが、通信教育により学べるのが非常にありがたかった。東京にいたころは将来的に大学か大学院にて何かを学びたいという思いがあった。転勤が激しく希望は叶わなくなったところ、ビジネスについて学ぼうと考えた。そうこうしているうちに〇〇〇に出会った。思うように進まないけれどもこつこつと勉強できればと思う。会社での経験が多くなればなるほどケースに描かれていることが体験でき、割と実践的であるとも感じる。

●係長クラスには、△△△より、△△△の方が役に立つのではないか。関係する科目を充実してほしい。

●経営に関し実践する場面が少ないが、経営判断の場面で参考になることが非常に多いことを〇〇〇での学習で学んだ。職業キャリアを意識することは特にないが、企業を取り巻く環境の劇的変化に企業で働く社員が危機感をあまり持っていないことが心配である。社内・外を問わず、知っているが動かない、気づいているが実践しない人がいかに多いか。キャリアは知識と実践だと思うが、資格は知識優先となりすぎてまいいか？中小企業でコンサルを必要とする会社は無数存在するが知的コストに関心が薄い。実践資格を創設し、中小企業の問題点を解明・解消し知識と実践の場を作ることも必要と痛感する。資格が一人歩きをすると恐怖を感じます。財界の長老が戦争を経験し高度成長を経験しバブル崩壊をも経験した強みを持つが、資格はこの経験を引き継げるのか？実践をもっと重視すべきと思います。

●経営戦略と「を」たてる上での情報の整理の仕方、フレームワークを勉強するにはとてもよかったが、自分と仕事とのかわり方は、所詮「勉強でみにつくのも「もの」」ではないなと感じた。経営もいわばセンスと経験、あとは神頼み。成功した理由はあっても、必ず成功する手法はない。〇〇〇の講座を複数受講し、私に受講を強くすすめた前の社長は、結局会社経営から逃げ出してしまった。一緒に受講した仲間には会社「を」辞めて、東京でのステップアップもあきらめ田舎に帰った。アホくさくて人に薦める気にはなれない。

●継続は力なり

●継続的な勉強とそれを業務へ生かすことが大切である。また、〇〇〇のロケーションが自宅、会社から遠く、交流会や勉強会に参加できなかったことは残念。

●研究のマネージメント、研究型のベンチャー起業等について特化したような講義があればいいのでは？

●研究開発職ではあるが、製造業であり商品を持っていることもあり、より顧客視点に立った開発が必要。研究所とマーケティング部門のより一層の結びつきが必要で、お互いの業務内容をオーバーラップしながら仕事「を」する必要性を感じている。〇〇〇はその一助になったと感じている。今後も顧客が商品を通じて喜びを感じ続けてもらうために、さまざまな職場を経験しながらも、いずれは現在の業務に戻り、顧客の喜ぶ姿を直接感じていられたら良いと考えている。

●研究職からいきなり実業的な部門の管理職についた。研究職であっても経営管理的な能力を養成しておかないといけなかったと痛感している。

●研究職からマネジメント部門へ希望して異動したものの、基礎知識が全くなかったため思ったように仕事ができなかった自分にとってまさに〇〇〇はうってつけの学習の場でした。子育て期と重なって学習の時間をつくるのが大変でしたが、レポートをすべて提出でき、受講全科目を修了できたという達成感「やれば自分もできるんだ」という自信につながっています。受講料は個人で支払うには非常に高く苦しかったのですが、費用対効果は十分にあっただと思っています。ただ、結局は学問の域を越えられず、実践に活

かすには距離があると感じました。更に、はまれればまるほど目的と手段が逆転し、閉じた世界へ引きこまれるように感じ、学習成果を仕事に活かすにはあとは自分の努力のみ、と一旦受講をやめることにしました。最終受講から3年近くたっていますが、学んだことをストレートに活かすことはなかなかできていません。今後も会社側にどのようにアプローチするか、模索していきたいと思っています。

●研修で学んだ知識を、現実の事例にいかにか当てはめるかが重要と思う。〇〇〇のカリキュラムは、研修や知識を得るというよりは、訓練、トレーニングに近く、道場のようなものと感じた。

●現在海外で働いている。海外ではおそらく日本以上にMBAなどビジネス関連の学位や研修経験が重要視されていて、数は少なくとも部下を持つマネジメント職につく場合、プロジェクトマネジメントの必要がある場合などに必須の知識だと思う。現在日本円での給料は少なくなりましたが、時間にはゆとりができたため、再びビジネス分野の勉強を再開しようと思っている。滞在国の関係上(中国)、なかなかよい教材・学校がないため、通信制やオンラインによる受講を検討しているが、日本では大学院など高等教育での完全通信教育はまだまだ充実していないのが残念。ひとまず、欧米、とくにイギリスの大学のものを目下第一候補としている。現在は研究職なので、通信制で学位をとり第三国へ転職するか、独立しようと考えている。

●個人的には、平日よりも土日を活用したいのでメニューが増えれば再度受講することも考えたい

●古典的な日本の企業は、〇〇〇やその他で学んだ理論を十分に発揮できるポジションに到達するには、時間がかかりすぎる。〇〇〇の講義内容に日本的な経営手法を付加しなければ、日本人ビジネスマンとして個性が埋没する。

●広い視野を持って、柔軟に対応すること

●講義の内容はすごく業務に役立っております。〇〇〇をキャリアアップに使いたいとは考えていませんが、〇〇〇が自分のレベルアップにどれだけ貢献しているのか、計り知れないものがあります。

●講義内容、事例が現実と余りにもかけ離れているため、実感が湧かない。また、事例が突拍子もない内容でクイズでも遣っているかのような感覚で講義も進められていたのが気になる。もっと役に立つ内容の事例も有るのではないかと思う。残念だった。

●国力を上げるためにこれは、大学で教えるべきことである。厳しく言えば、社会人の常識にしか過ぎない。これを教えない日本の教育制度は本当に間違っている。

●今のビジネスエリートは知識、その記憶に優れることが優秀であると錯覚する傾向が強くビジネス書以前の世間的な常識の無い人、ビジネスやプロジェクトを自ら創造し実践に弱い人も多い。オフィスや会議室で考えたことの域を出ない。同様にビジネススクールにもビジネス書以前の世間的な常識を伴った、実践教育は期待していなかった。考え方、分析のパターンがわかる程度でそこに創造は期待していなかった。教授陣やコンサルタントに対して、ではあなたは実践したのか？なんぼ儲けたのか？と聞きたくなる経験ばかりだからだ。またそれは教育としての限界もあり仕方がないとも考えていた。しかし、〇〇〇氏の△△△は実践的、フレキシブルな考え方があり、単なるパターン学習ではなく予想以上の教育効果があった。自分の会社への提案書作成にあたって非常に役立った。△△△の内容だけではなく、それに対する〇〇〇氏の考え方が実践的だと考える。

●今回〇〇〇は、社会人大学院入学への準備として受講しました。現在〇〇〇修士に在学中です。しかし〇〇〇で知合った方々とは、定期的に交流会を行っている為人的交流の面からすれば大変有意義でした。

●今回の受講は、新たな知識習得になり且つこれまでの知識や体得したものを整理する良い機会となったが、満足できるものでは無かった。その原因は、折角与えられた機会にも拘わらず、十分に心の整理をせ

ぬまま、押されるままに、受身の状態で、受講したことによる。

●今後も、継続的に学習していきたい。〇〇〇は講師の先生から学んだ事が大きかった。仕事にも仕事以外の生活にも良い効果を得たと思う。受講生は、予習不足の人が多く、物足りなかった。

●今後機会があればまた受講したいと思う講座もあるが、今のところ具体的な予定はない。なお、基礎講座を受講した際は、マーケティングの基礎を身につけたくて受講したものの、(仕方ないと思うが)話がジェネラルすぎて、目の前の新しい仕事にどう結びつけていけば良いのかピンと来なかったのが本音。ただ逆にある程度実践の場に身を置いてしまうと、こんどは基礎講座の内容はやはり話がジェネラル過ぎて、わかり切ったことばかりになってしまうと感じたが、最初に受講していたお陰で、のちのち様々な場面で遭遇するマーケティング分析手法が何を意味するのかわかり易くなったとは思っている。

●今後人材マネジメントや組織マネジメントを学びたい。

●今振り返って考えると、自分が〇〇〇から受けた最も大きな影響は「自分の能力に対して謙虚になった」ことではないか。〇〇〇以前は、自分の論理的思考力・プレゼンテーション能力・レポート能力に相当の自信があったが、社外の人材との交流により自分の能力をある程度客観的に位置づける(認識する)ことができた。考え方・行動とも以前ほど自分の能力を過信しなくなり、〇〇〇以前に持っていた「自分の置かれた環境が自分の能力の発揮や伸長には適さない」という強い思い/フラストレーションは、〇〇〇以降相当に弱くなったと思う。しかし逆説的に、自己能力の発揮/向上のためには、よりレベルが高い環境を自ら積極的に求める事が重要であるとの思いを、より冷静に、そして以前よりもむしろ強くしている。

●座学で学べる知識に対する喜びと、実学で感じるギャップは余りに大きいですが、自分自身を変えるきっかけを作ってくれた、この受講機会には非常に感謝している。個人的には、商売人(あきんど)としての気持ちを基本に、これからも大いに稼ぎそして、社会に貢献したいと思っている。

●最後はもう2年以上前なので状況[が]変わっているかもしれませんが、平日クラスと土曜クラスで生徒の熱心度、それから講師にかなりレベルの差があったのは驚きました(土曜の方がいずれも高い)。また△△△から同級生のようにスタートしている人たちが多く、途中から入ると何か転校生のようにちょっとなじみづらかったのを覚えています。

●最初の科目の受講は、選択式の社内研修に組み込まれており、それに対して自ら手を挙げ一部自己負担し参加した。当時の目的は、講義内容が業務上メインでないものの関与する部分もあるようだったので(メーカーの営業企画部門所属で△△△講座は得意先の財務状況を判断するのに必要かと思った)受講したのと、業務終了後に講義を受けるためのスケジュール管理能力があるかどうかを自ら確認したかったという、動機としてはあまり感心するものではない。しかし〇〇〇では他の受講生を含め一線のビジネスマン達と時間を共有し、再度自らの不足する能力・部分を認識できた。

●昨年10月より〇〇〇にも教室が出来ましたが、一足早く4月より経営大学院に自費で働きながら通学いたしております。〇〇〇先生には、大変刺激を与えていただき、感謝いたしております。〇〇〇のこれからのますますのご発展を期待しております。

●昨年末に転職をしましたが、〇〇〇でビジネスの基本的な枠組みや思考トレーニングを経験したお陰で、一つの会社の世界にとらわれない視野と自身で環境や仕事を選択していく自信がついたと感じています。

●仕事に関係なく様々な職種の実例をケーススタディできたのは価値があった。また直接仕事と関係せず、様々な企業の様々な立場の人達とディスカッションできたことには刺激を受けたし、ブラッシュアップされていくことが実感され大きな価値を感じた。受講後、転職したこともあり一緒に学んだ人達とつながり

が消え気味なのはもったいない。起業するにせよしないにせよ、ビジネススクールのような場で自分自身を高めていくことは必ずプラスになると思う。ただ現在の環境に流されて進めない自分がもどかしい点があります。

●仕事の様々なシーンで必要なスキルを全て大学や民間の教育機関に求めている。意識改革する切っ掛け及び全くバックグラウンドの異なる人との創発が目的。

●仕事をしてから必要な知識がなにかをはっきり分かってくる、そのため〇〇〇が仕事をしながらある程度勉強できる場所としてとてもよいと思います。ただし、講義〔講義〕の内容とコース期間により、モチベーションと体力がないと効果的にはよくないかも。自分的に△△△を勉強してとてもよかったです、皮肉なことに仕事より生活においてストレスの対応や自己分析にとっても役やって〔役だって〕いました。△△△は他人におすすめしたい

●仕事を続けながら経営学を勉強できたし、素晴らしい人を知ることが出来た。〇〇〇の提供するプログラムに従って〇〇〇大学に進学し、経営学修士を取得できた。若くて優秀な人が経営の中核に居る必要性には同意するが、高齢になっても、豊富な経験に加えて、情熱と論理性を持っていれば、その人材を重視する企業がもっと増えるべきだ。

●志の高い人また異業種の方と学ぶのは楽しい経験でした。今後とも幅広い勉強を続け、仕事を通じた社会貢献に努め、自己研鑽を図り、充実した人生を送りたいと思っております。

●私（就職以来営業職だけの人間）にとって〇〇〇受講は、非常に刺激的な時間。(1) 社外の、特に業界の違うビジネスマンに会うこと自体が貴重な経験 (2) 経験によって作り上げた自分の営業スタイルを見直す (3) 利害関係の絡まない人間関係 (4) 不得手な分野が明確になる等々。〇〇〇に限らず今後も定期的にビジネススキルアップを目指します。

●私が受講したころの〇〇〇はまだあまり知られていなくてとても活気があった。当時名古屋に住んでいたが、〇〇〇まで交通費も全て自己負担で勉強した。当時の自分はそれを取り戻すために、非常に熱心に勉強していたと思う。その甲斐があって、勤務先の選抜試験に合格して、MBAを取得することができた。今は、新しい部署での仕事に慣れ、余裕ができれば、改めて〇〇〇の門を叩いてみたい。

●私にとっての〇〇〇は飽くまで **Business Person** としてのスタンダードを身につける場でした。今後の自分のキャリアを伸ばすには、専門知識を深めることが重要になるので、〇〇〇に行くことはないと思います。

●私のような低学歴の者は、一般的に言われるキャリアとは無縁ともいえるが、自分自身満足の行く仕事が出来ると（させてもらえる）環境を与えてもらえる（自分でそういう環境を勝ち取る）ことが、自分の中でのキャリアと考える。

●私の勤務している企業では、まだまだ終身雇用・年功序列の意識が強い。このため、多くの社員がビジネススクールで学んでいるものの、それを活かすことも酬られることも乏しい。

●私は損保会社勤務、入社4年目で〇〇〇大学修士課程へ企業派遣されました。同大学院は当時〇〇〇ビジネススクールに続き、国内MBAコースがありましたが、自分は国際関係学のコースに進みました。卒業後、会社に戻り、その後〇〇〇を2科目受講しました。（入社13年目）もっとその他の科目を受講したかったのですが、海外勤務が決まったため、現在中断しています。〇〇〇大学派遣時と〇〇〇受講時では自分自身の成長度が違うため比較できませんが、また、英語で国際関係論を学んだ2年間と、日本語でのケーススタディを2ヶ月週1回×2単位を学んだだけで比較するのは無理がありますが、自分にとっては〇〇〇の方が役に立つ部分大きい気がしています。さらに言えば、現在海外勤務をしている立場で海外

MBA について考えるとよほど英語力があっても、より深く実践的経営を学ぶのであれば母国語で学んだ方が身につくのではと考えています。

●私自身は仕事が当時忙しくそれ程活用できなかったが、米国の MBA に較べても優れたプログラムであると思う。ただ、しょうがないことではあるが、外国でないこと、そして日本語の壁から外国人が参加していないことが現状は最大の壁のような気がする。しかしながら、優れたプログラムと講師陣を提供し続ける限り、さらに日本での存在感を高めていくことは間違いないと思う。

●時間軸でキャリア設計を行う力が今後求められてくると考える。自分も含めて、特に大企業に属する人間は、強く意識して考えないと、人口ピラミッドとの狭間で、「自分のためにならない仕事」に埋没する可能性がある。

●時代は、変化したと思います。40代が会社の中核の時代になっています（いくべき）。我々の世代は、大学卒で充分だったのですが、これからは、大学院なり、ビジネススクールなり専門大学院出身でなければ、グローバル時代のビジネスマンになれないでしょう。20代後半にチャレンジするよう部下には、薦めています。

●自己の知識と視野をもっと広めるため、学習の機会を増やしたいと思っはいますが、日々の残業の多さと家庭の両立だけで精一杯で、なかなか実行に移すことができないというジレンマを抱えています。

●自身の将来について考え目標を立てて仕事や生活を送ることは、人生を豊かにする。〇〇〇は自分自身について考える良いキッカケになった。

●自然科学系の研究開発という限局された領域にいたので、〇〇〇での人との交流や学習したことは非常に新鮮であり、その後の業務の力となっている。〇〇〇での学習中は理論的には理解できると感じられたが、ケーススタディーになると殆ど応用が効かず、成果をあげることが出来なかった。しかしながら、終了後に反復して教材を見直したり、知識や手法を実際の業務に活用することで少しずつ身につけることが出来たと思う。結果としては自分のキャリアに大きなプラスとなった。

●自分で起業するためには学習が必要と考えるが自分で出来ないところを補ってくれるところではないかと思う。

●自分の考え（性格も含め）をあまりに強く押し出してきて、それを論理的な説明が無いままに次へ進む講師がごく稀ですが見受けられた。また、最終レポートの添削が届かぬままになっているのは不満が残る。〇〇〇終了後に役員レベルの研修も経験したが、〇〇〇での学習が非常に役立ち更に実践応用ができるようになった。

●自分の職業キャリアについて：技術系の研究開発職だが、現在の職場にとどまることなく積極的にいろいろな場所で働き、自分の力を試してみたい。

●自分の専門性をつけたい分野が明確になってきたので、ここでまたじっくりと勉強をしていきたいと考えている。〇〇〇では、タフな勉強内容だったのでためになった。やはりクラスメートが良かったので、人とのつながりが今となっては一番の実りになった。

●実際にアメリカで仕事をしていた内容が SCM のビジネスモデルとして CASE STUDY されたが、実態は講師の方が評価した「きれいごと」ではなく、これをモデルとして学習するとすれば、他の CASE STUDY も信頼性に疑問を持たざるを得なかった。色んな成功モデルの中でも NEGATIVE な面は当然あるはずで、それも考慮して、それでもこのモデルが成功例か？という評価をしてこそ、社会的責任のある EXECUTIVE MANAGEMENT ではないでしょうか？

●社会人になってからのの方が、知識欲や学習意欲が高まったと思う。大学に比べ、より掘り下げた実学が

必要になるからだと思う。

●社会人になって以来、1 個の企業しか知らない為〇〇〇で他企業に勤めている方と仕事抜きで話し合えたのは非常に有意義でした。

●社内での評価が不透明で自信が持てなかった時に〇〇〇を受講し、自分の視点の低さや考え方の未熟さを、感じ、アドバイスに素直に耳を傾けることができた。これからは、一つの会社の評価に頼って、一喜一憂し、キャリアを形成していくことは、大変危険な気がしている。会社はあてにならない。

●社内の OJT 教育や知識獲得中心の教育（通信教育など）には限界を感じていた時期に、〇〇〇と出会うことができ、いかに仕事を組み立て、遂行していくかを具体的に考え、身につけることを目的とした講座に非常に魅力を感じました。実際やってみて、身につけるといことはなかなか一筋縄ではいかないと感じ、継続して通学ということも考えましたが、費用面、時間の面で個人としては大きな負担になる為、今はしばらく時間をおいています。逆に、また日常の中で疑問、限界を具体的に感じたときに、それに沿った講座を受講し、職場での実践を伴って学習した方が、私には効果的かとも感じている今日この頃です。現時点では、転職など考えているわけではないので、認定書など資格を証明する書類の必要性を感じていませんが、今後、転職、再就職などすることがあった場合、入社試験で個人の能力を見切れないなら、自分を守るものとして必要なかもしれないと思います。〇〇〇の知名度を上げ、信頼性を高めることを今後も期待しますが、企業側が個人の能力をどの程度に判断できているのか、企業側の評価基準が非常に気になるところです。今後は、企業側と個人のそれぞれが個人に何を求めるか、自分はどうかを発信しあい、お互いに理解できるような環境を作ることが重要なのではないかと考えています。

●受講した感想として、私自信は会社派遣による受講であったが、個人的に志の非常に高い方が多く、驚くと共に大変良い刺激になった。日常の漫然さを反省し、リーダーシップを取ることに魅力の発見と自分自信を省みる機会を与えて頂いた。基礎講義の受講であったが、機会があれば（機会を作って）他のクラスにもトライしてみたい。

●受講する仲間と、徹底的に議論しあった中で、こんなに思考力を鍛えられるような講座に、もっと会社が派遣してくれれば、うちの会社も変わるのではないかと考えられた。派遣組より、自腹組の法が、モチベーションも高く、熱意が違った。

●受講者が 30 代前後の方がほとんどで、刺激になる部分とやりにくい部分があった。

●受講終盤、ケースにより所要の情報を所与のものとして与えられる点に、現実世界との落差を感じ始めた。実務ではケース相当の情報を集め、整理するだけで力尽きている場合が多い。同じく終盤、真に課題を設定し解決を試みるよりも、ある程度予想される正解に沿ってクラスに参加するやり方でも一定の成績を上げられるのではないかと（単に点数だけを目的にするならば）とも感じられた。いずれも不満と言うよりも、予め心して受講すべきポイントではある。

●受講生のターゲット年齢が 20 代後半から 30 代前半にあるように感じている。自分の年齢が高まっていくにつれて、クラスやセミナーの雰囲気や若干の違和感を感じるようになった。〇〇〇のビジネス戦略としてターゲット顧客をこの層に置くのはよいとおもうし、時流に即したものである。欲を言えば、神戸大の金井先生が書かれているような、『節目節目のキャリアデザイン』的な、もう少し幅広い年代をカバーするような企画があってもいいのかな、とおもう。

●受講前は、前職で中途半端な社会人生活を 10 年以上送った後で、今後のキャリアに対して非常に悩み深かった状況でした。現時点で目標が非常にクリアになったとは言えませんが、〇〇〇にトライしたことが、自分の強み、弱みを整理して力を伸ばすための基礎になっていることは間違いないと思います。

●就職ではなく安定を求めて「就社」してしまった私は現在非常に苦しんでいます。〇〇〇で学んだことをいつになったら活かせるだろう・・・と強く思う今日この頃！！

●情報サービス業でプロジェクトマネジメントに携わっています。〇〇〇で受講したのは△△△ですが、物事の見方について深い洞察を得ることができました。プロジェクトマネジメントには、さまざまな観点からの観察、分析、課題解決が求められますが、△△△で学んだことが、これらが求められる実際の職場で活かされていると日々感じています。学校では体験できない訓練を経験でき、非常に満足しています。今後も社会人向けの訓練の場を充実してより強い日本を実現するために貢献していただきたいと思います。

●職場では、自分の時間がなくなるまで仕事が入ってきます。(月 350~400 時間)〇〇〇の分野の学習と、仕事の質や量を両立させるのは難しいです。

●職場で体系的に学習できないことが、〇〇〇で頭の中が整理でき大変有益でした。また、学習内容はその後の仕事を進める上で役に立っており、大変感謝しております。個人的に働きながら勉強する環境は、私の会社だけでなく一般的に大変難しいと思いますが、会社が資金や時間を支援してもらえたことに大変感謝しています。

●職場はどこで働いても結局は自分次第であると思います。入社後 3 年~5 年までは「会社」が悪い、上司がわかってない、など、会社のことがある程度わかり、仕事もこなせるようになったので、人のせいばかりにした時期もありました。しかし、自分なりに悩み、友人と話し、本を読み、〇〇〇などの機会を利用して、自分自身が必死にあがいてみて、「会社」=自分自身、であると気づきました。結局その頃の自分は、会社の悪口を言う=自分自身の悪口を言っていたのです。このことに気づいたのは、やはり自分で考えたからで、〇〇〇をはじめとする社会人のための教育機関は、様々な学習を通じて、自分がどのように働いていくのかを気づく、動機付けであるように感じています。当然、そこで知識や技術として有益な情報もたくさんありました。人脈もできましたが、自分自身の覚悟がすわったのが、一番大きな収穫であると思います。私は、転職を 1 度経験しましたが、自分自身を省みると、普通程度の能力の人間で、転職を繰り返すより、一定の職場でスキルを高める、リーダーシップやマネージメントについて学ぶほうがよいようです。(給与などの待遇面においても)現代社会における会社は、専門性も高く、システムも異なり、よほどの高い能力をお持ちの方、モチベーションの高い方でない限りは、新しい会社に溶け込まず、結局は転職を繰り返す[繰り返す]ことになりかねないと感じています。(これは、現在自分自身が中途・新卒の採用に携わっていると感じることなのですが・・・)転職を否定するわけではありませんが、転職という言葉を隠れ蓑に、覚悟というか、根性というか、働くことの厳しさ受け入れない弱い自分に気づいていないようであれば、それはその人にとってかなりマイナスの要素になるのではないかと思います。今後は、自分ができる範囲で会社の仕事及び個人的に勉強したいことをやっていこうと思います。私自身は、普通の人間ですが、いつかは人のお役にたてるような仕事ができるようになりたいと心から思うようになりました。以上、大変個人的な意見で恐縮ですが、少しでもお役にたてれば幸いです。ご研究の成功を心よりお祈り申し上げます。

●職務上の私の考え方に対して、〇〇〇の与えた影響はかなり大きかったと考えています。かなりの部分で、自分がブラッシュアップされたと感じています。有難うございました。

●色々な事を複合的に考えることを覚える良い機会であった。より深く学びたい分野が自覚でき、〇〇〇は辞め、民間の大学に在学中。一つのきっかけづくりとしては良いと思っています。〇〇〇の講師によって、授業や科目の内容の掘り下げ方に差があり、すべて終了したからといって、それでよいのかという疑問は残ります。

- 人材育成が全てである。
- 積極的に発言することが苦手であれば、損をするのでしょうか。〇〇〇でも職場でも正しい、正しくないに関わらず、声の大きいことが組織に貢献することになるのか疑問です。
多様な教育プログラムがあり、講師のレベルも高く良い。モチベーションアップにつながり、非常に勉強になる。キャリアアップし、社会的に成功したい、認知されたいという欲求がある。そのため的手段として役に立ってくれていると感じている。直接今の仕事(金融系システムエンジニア)には役立ちませんが、2004年4月期には△△△を受講予定です。
- 大きな目標に向け自己啓発を続ける気力を再度持ち直したい。
- 大企業なので(企業内での)キャリア形成をどれだけ自律的に行えるかは非常に疑問である。上記疑問と、大企業ならではのビックプロジェクト実行可能性とを比較して、疑問の方が大きくなったときには別の職業キャリア形成に取りかかるかもしれない。
- 大企業の一従業員としては、〇〇〇は、直接役立つべきビジネススキルを身につけるところというよりは、将来意思決定をする立場になる身として、現在の自分が置かれた状況の把握に役立つための訓練をする所であるように思う。〇〇〇の受講を速やかに役立てられれば理想なのかもしれないが、現実問題として意思決定者としての仕事をしつつ〇〇〇に通うのは難しい。このため、ある程度若い年齢から少しずつ受講して思考訓練を積み重ねて行かざるを得ない。私自身のキャリアとしては、製造業のオペレーションを考えて行く立場になると思われるので、今後そういった方面の受講を考えている。
- 大都市だから、それだけの需要があるのだと思います。東名大以外の都市では、ビジネススクールの成立は、難しいのでは。
- 単純に、実務に役立つ知識と思考を身につけたいのであれば、国内MBAより効率的かもしれない。しかし、基礎クラスだと、あまり積極的に参加していない人も多く、物足りなさも感じる。
- 短い受講期間だったが、得るものは大きく、大変刺激を受けた。現在は業務の関係もあり受講が途絶えているが、近く、是非再開したいと考えている。
- 知識として足らない(または劣っている)と自分自身も感じている。がしかし、業務の繁忙さの中で努力することまでは膨大なストレスを感じ、そこまでしなくてもいいのでは。。かなり甘えた体質が染み込んでいると日々感じており、何とかしなくてはと焦っているところです。
- 通学中や修了直後はかなり意識して学習した内容を実践に生かそうとしていましたが、ある程度時がたつとついお座りになってしまっているのが事実です。完全に身に着けるには、かなり高い意識が必要ですね。自分自身のキャリアについては、色々思うところはありながらもなかなか考えがまとまらない、というのが本音のところですが、サラリーマンである限り恐らくどこに行こうと出来ることに大差は無いだろう、と年を取るごとに変に達観してきているのがいいのか悪いのか・・・。本当に自分の夢を実現するなら、独立するしかないのでは、とは考えています。
- 転職や起業に関心のあるメンバーが比較的多い雰囲気を感じ、それが自分の志向とは必ずしも一致はしないものであったので、当初なじまないかとも思ったが、論理的思考についての基本訓練を繰り返し受けたことにより、職場で日頃やらなくてはならないのにできていないことを学ぶこととなったことは、結果的に大変有益であった。
- 電子工学のバックグラウンドを持ち、商社に勤務しております。いろいろな仕事を一つの会社で経験しておりますが、仕事のやり方を総括し、論理的にする意味では、〇〇〇のプログラムは価値があったと思います。予習する時間が多く必要であり、就業時間中にも勉強をしていた記憶があります。就職して仕事

をしていると、勉強する時間を作ることは大変で、集中的に勉強をする環境を自分自身のために作りました。私にとっては非常に意義があったと考えます。

●当時・・・入社して 10 年が経ち何をやってきたかと考えても、ただなんとなく過ごしてきただけでした。雑誌か何かで「自分の限界を決めてしまっただけでは自分に対して失礼だ」という言葉を見つけ、ちょうど会社でベンチャー制度が始まり、1 期性に申込み自己研鑽できる制度を手に入れました。会社というのは学歴・年功により処遇が決定されている現状を何とか変えてやろう（大卒でなくてもここまでやれる）と思い、スキルアップの道？に入りました。MBA ということがばさえ知りませんでした、〇〇〇を通じて知ることができたり、私にとっては手にしたことの無い高価な本（MBA シリーズ）が面白いことを知りました。通信教育の結果は散々なものでしたが、これからもコツコツと自己研鑽し、「学びつづける組織風土」を実現したいと考えております。

●当社では“マネジメント”が専門職であるという認識が薄いと考えられ、KDD（勘、度胸、出たところ勝負）で経営や現場の判断を行なっていることが多い。また専門職として認識されていないため当然評価方法も確立していない。故にマネジメントは経営者のみのもので、勘やセンスによる企業運営であるという認識がまかり通っている。そのような抽象的なものを全否定するつもりはないが、現状ではあまりにもその部分に偏りすぎている。従ってこのような状況の中であれば、理論の裏付けのある“人と組織の構築運営”や“事業評価及び企業評価の体制確立”とそれらの内容に対する関係者の共通認識が必要であることを痛切に感じる。その為、それらを少しでも表舞台に引っ張り上げ、現在の不安定な環境を企業として乗り切るために、〇〇〇始め各種のセミナー等で知れた知識を実践していきたいと考えている。またそうすることでしか企業の継続性を維持できないと考えており、それが今自分の与えられたミッションであると考えている。従って、今後も知識の吸収を行い、それを現実の企業に反映させていきたいし、マネジメントというエキサイティングな分野の理論をもとに現実企業や組織でトライアルを実践してみたいと考えている。

●特にありませんが、〇〇〇のようなスクールがもっと一般的になるでしょう。それによって勉強する人、そうでない人、出来る奴そうでない奴、違いというか、知り合いが行って〔言って〕いたのは勝ち組み、負け組みの差がはっきりしてくると思います。運だけでは永くは続きません。実力はいつでも求められますが、そこに人間性に欠けた上長、経営者の為につぶされる人材もいたり、経営能力以外に学ぶべき分野もあると感じています。

●内向きな仕事が多いため、他企業の方々や普段考えている課題などを議論できたことは貴重な経験です。他企業の業務のスピード感や競争の激しさなど、世間の基準で自分の仕事の仕方は通用するものかどうか考えるいい機会になった。

●日本では、退職して学業に専念して卒業後に社会人として復帰することが難しい。特に高年齢の場合の対処が難しい。結局若い方がアカデミックに通ったり、会社からの命令で来る方が多いと思います。一方、自費で通っているキャリアのある社会人にはディスカッションした時のレベルの違いを感じるが多いと思います。私の場合〇〇〇受講時が 30 代前半でしたので年齢の近い方がいました。現在通う専門大学院（MOT）については年齢に近い方が多いのですが、MBA 課目〔科目〕との共同授業課目〔科目〕の時に MBA 受講者が 20 代で社会人キャリアが非常に少ない人が多いです。しかもディスカッションのレベルが低いので授業が非常につまらないものとなっています。良く考えて意見を発するという能力が著しく欠けていると感じます。

●日本のビジネススクールは、需要はあるものの供給(主に質の面)が追いついていない印象。

- 複数科目受講者には、次の受講クラスにて、成績Aグループ、Bグループ等の選択権を与えて欲しい。
- 物事の考え方、本質、論理の組み立て方は勉強になりました。また、目的の〔を〕確認することが大切であるとわかりました。ですが論理的な建前が多く大企業向けの講義内容でした。
- 変化が激しい時代に、以下に〔如何に〕差別化した能力、及びリーダーシップを身につけられるか日々試行錯誤している毎日です。
- 勉強したことを活かして転職したいと思うが、この年齢では難しく、絶望的になっている。
- 本来自分がやりたい職に就いて仕事を全うするというのができれば良いのだが、やはり会社の立場や環境というものがあり、全ての希望が叶えられるとは限らない。自分は何のために働いているのかということを見問自答することもあるが、生活のためではなく、結局は自分の存在価値を見出し、そこに喜びを感じることができるからだと思う。自分はちょうど30歳という社会人としてはどのように進むかという岐路にいるわけだが、その道をまだ模索しているところがある。支離滅裂な文章で質問の回答になっていないと思うが、上記が現在感じていることです。
- 問題解決の講義は本当に役に立ち満足度は大変高いです。アカウンティングのほうは本よりスピーディーにわかりやすくということが多かったように思います。
- 理論を学んでも実践に落とし込むことは難しい。職場の環境が恵まれないと学んだことも生かせない。
- 良い講師（〇〇〇さん）に恵まれ、知識よりも考え方、行き方〔生き方〕の面で良かった。その後総合商社への出向、プロジェクトチームへの参画とサラリーマンとして良い舞台に恵まれております。
- 良い授業だが、仕事に負担が大きすぎる。またその割には、実仕事には役に立たない印象であった。
- 論理的に物事を考える重要性をなぜ日本の大学が教えないのか。私は〇〇〇で学び、始めて、その重要性を再認識しました。
- MBSの資格者が同職場にいたので受講の動機となった。これからは、普通の大学卒+ビジネススクールがキャリアとして必要と考える。

執筆者紹介（執筆順）

*所属は本書刊行時点のもの

おがた なおゆき
小方 直幸

広島大学高等教育研究開発センター助教授

ふくどめ ひでと
福留 東土

一橋大学大学教育研究開発センター講師

くしもと たけし
串本 剛

広島大学大学院教育学研究科博士課程後期
教育人間科学専攻



民間ビジネススクールに関する研究
(高等教育研究叢書 82)

2005(平成17)年3月31日 発行

著者 小方直幸・福留東土・串本剛
発行所 広島大学高等教育研究開発センター
〒739-8512 広島県東広島市鏡山1-2-2
電話 (082)424-6240
<http://rihe.hiroshima-u.ac.jp>
印刷所 中本総合印刷株式会社
〒732-0802 広島県広島市南区大洲5-1-1
電話 (082)281-4221

ISBN 4-902808-02-1

A Study of a Commercial Business School